

令和2年度 飛驒市市政世論調査 調査結果報告書

令和2年9月実施

飛驒市

目 次

I	調査概要.....	1
1. 1	調査の目的	1
1. 2	調査項目	1
1. 3	調査の設計	1
1. 4	回収結果	1
1. 5	標本誤差	2
1. 6	報告書の見方.....	2
1. 7	対象者の属性.....	3
II	調査結果.....	7
2. 1	暮らしについて.....	7
問1	暮らしの前年比較	7
問1-2	暮らしが苦しくなったと感じる理由	9
問2	暮らしの満足度	13
問3	生活面での不安	15
問4	今後の暮らしの中で重視していきたいこと.....	22
問5	生活に必要な情報の入手媒体	29
問6	現在住んでいる地域は住みやすいか	37
問6-2	住んでいる地域が住みやすいと感じる点.....	39
問6-3	住んでいる地域が住みにくいと感じる点.....	44
問7	今後も飛騨市に住み続けたいか	49
2. 2	市の取り組み全般について	52
問8	施策や事業についての情報の入手方法.....	52
問9	市事業への関心の有無.....	60
問9-2	市事業に関心がない理由.....	63
問10	市の取り組みでよくやっていると思う分野、 努力が足りないと思う分野、 重点的に進めるべきだと思う分野	67
問11	自由意見.....	88
III	資料.....	93
3. 1	単純集計結果	
3. 2	調査票	

I 調査概要

1. 1 調査の目的

飛騨市民の意識、興味、関心、満足度などを調査し、全体把握することにより、政策の足らざる分野、見直しの必要な分野などを探り、政策立案の基礎資料とする。

1. 2 調査項目

- (1) 暮らしについて
- (2) 市の取り組み全般について

1. 3 調査の設計

- (1) 調査地域 飛騨市全域
- (2) 調査対象 飛騨市内在住の満16歳以上の男女個人（約20,000人）
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 令和2年9月16日～9月30日
- (7) 調査実施機関 株式会社 中部タイム・エージェント

1. 4 回収結果

標本数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B/A)	有効回答率 (C/A)
2,000	1,563	1,562	78.2%	78.1%

1. 5 標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果をみる場合、一定の幅を持たせてみる必要がある。その幅を標本誤差といい、以下の式で表される。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad (\text{ただし、} P: \text{回答比率} \quad n: \text{回答者数})$$

すなわち、標本誤差の幅は①回答者数（ n ）及び②回答比率（ P ）によって異なる。上式を用いた各回答者数、回答比率における標本誤差を以下の表に示す。

		P (回答比率 %)									
		5 又は 95	10 又は 90	15 又は 85	20 又は 80	25 又は 75	30 又は 70	35 又は 65	40 又は 60	45 又は 55	50
総数	1,562	1.1	1.5	1.8	2.0	2.1	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5

(注) 1. 層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。

2. この表の見方は以下のとおりである。

「ある設問の回答者数が 1,562 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.5%である。」

1. 6 報告書の見方

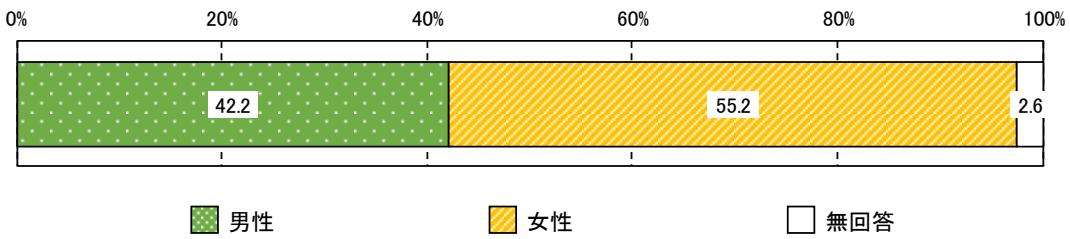
- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「 n 」(件数)として掲載した。したがって比率は、 n を 100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「 N 」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

1. 7 対象者の属性

F-1 性別

図 F-1 性別

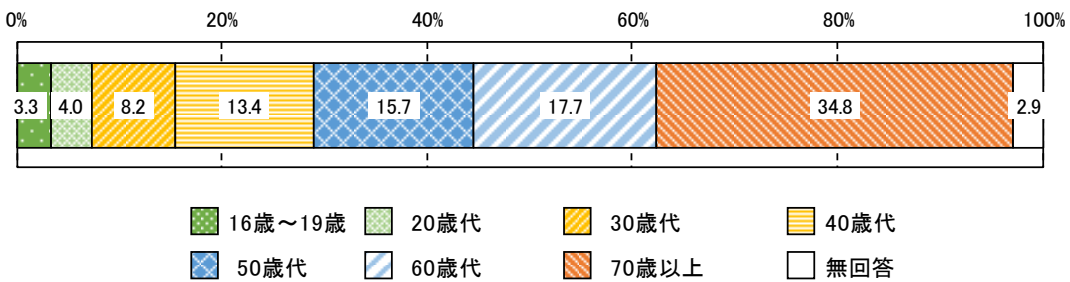
回答者数 (n = 1,562)



F-2 年代

図 F-2 年代

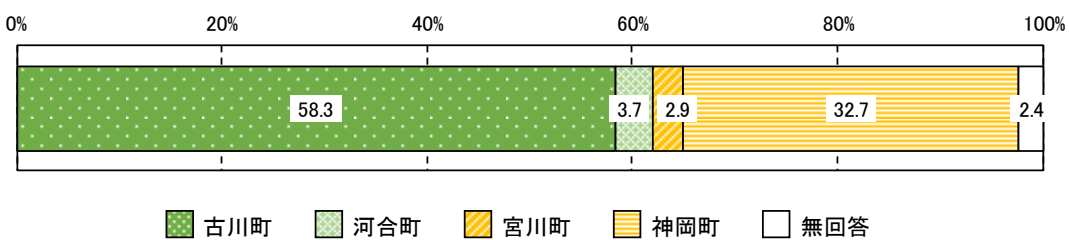
回答者数 (n = 1,562)



F-3 居住地

図 F-3 居住地

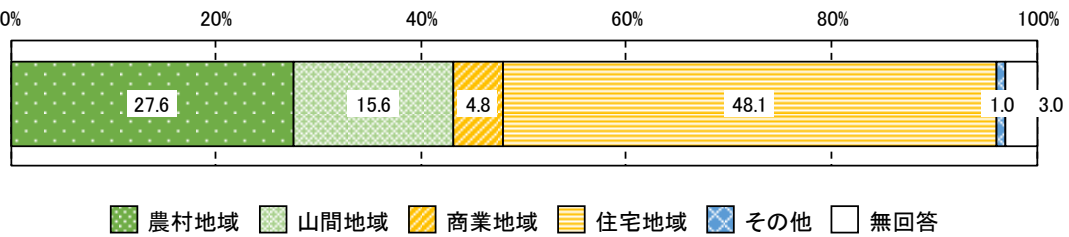
回答者数 (n = 1,562)



F-4 居住地周囲の環境

図 F-4 居住地周囲の環境

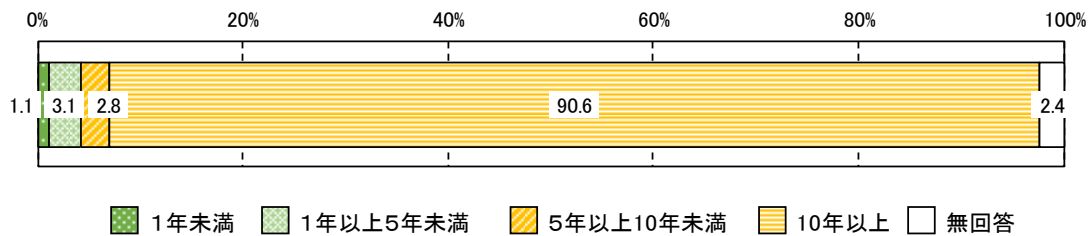
回答者数 (n = 1,562)



F-5 居住年数

図 F-5 居住年数

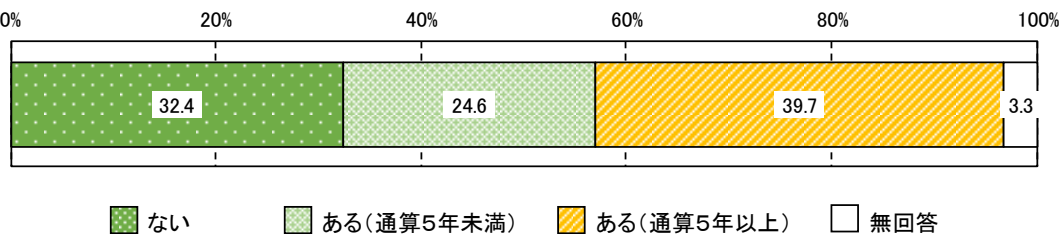
回答者数 (n = 1,562)



F-6 市外居住経験の有無

図 F-6 市外居住経験の有無

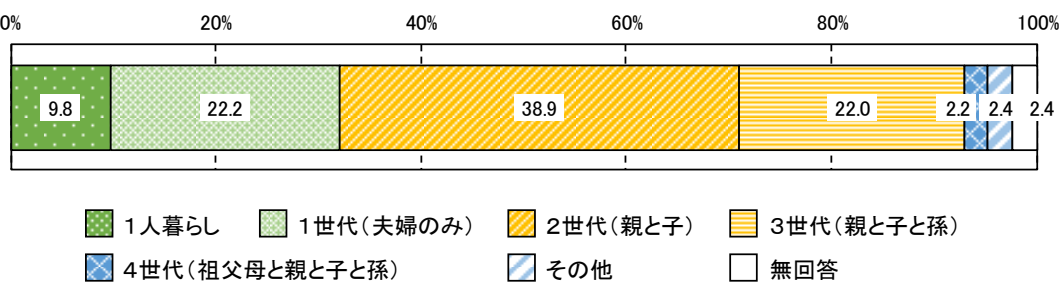
回答者数 (n = 1,562)



F-7 家族形態

図 F-7 家族形態

回答者数 (n = 1,562)

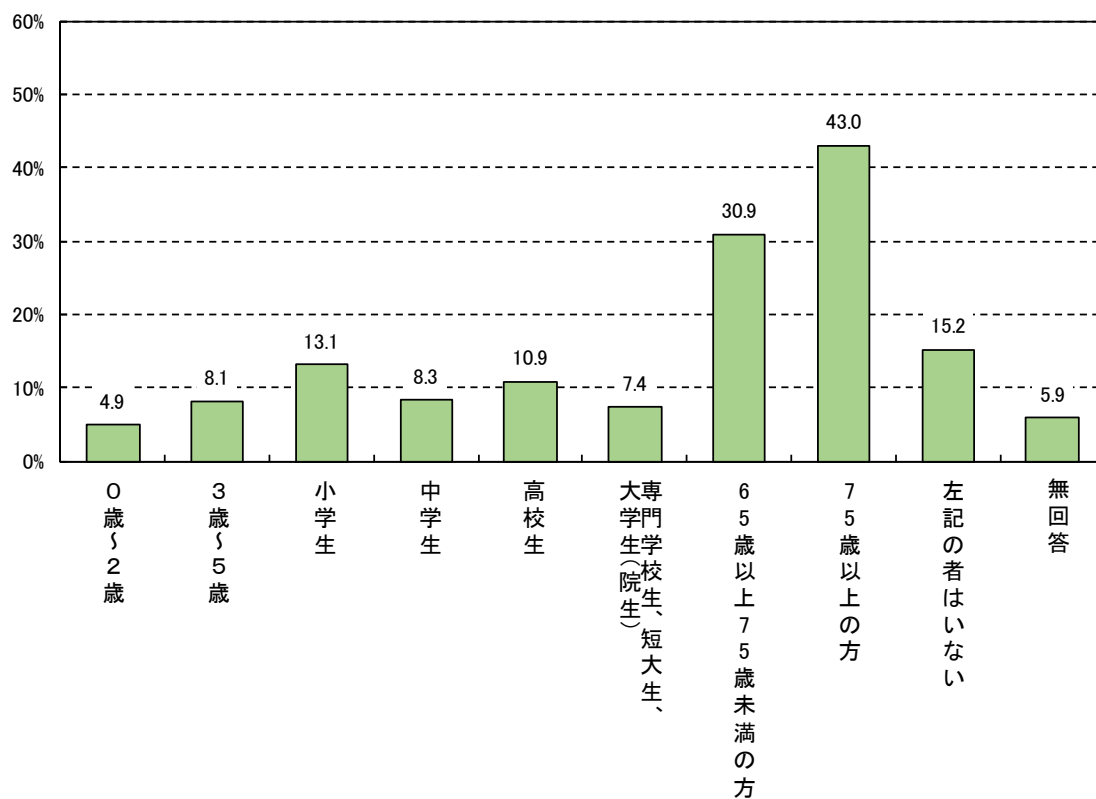


F-8 家族構成

図 F-8 家族構成

回答者数 (n = 1,562)

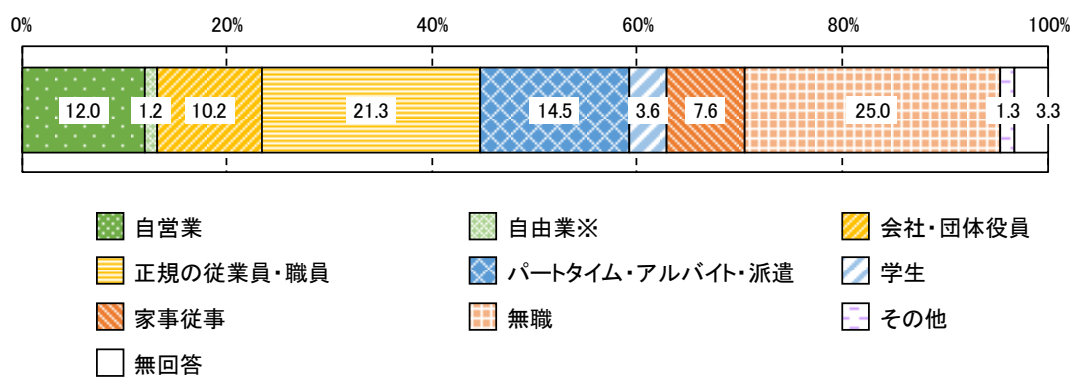
総回答数 (N = 2,306)



F-9 職業

図 F-9 職業

回答者数 (n = 1,562)

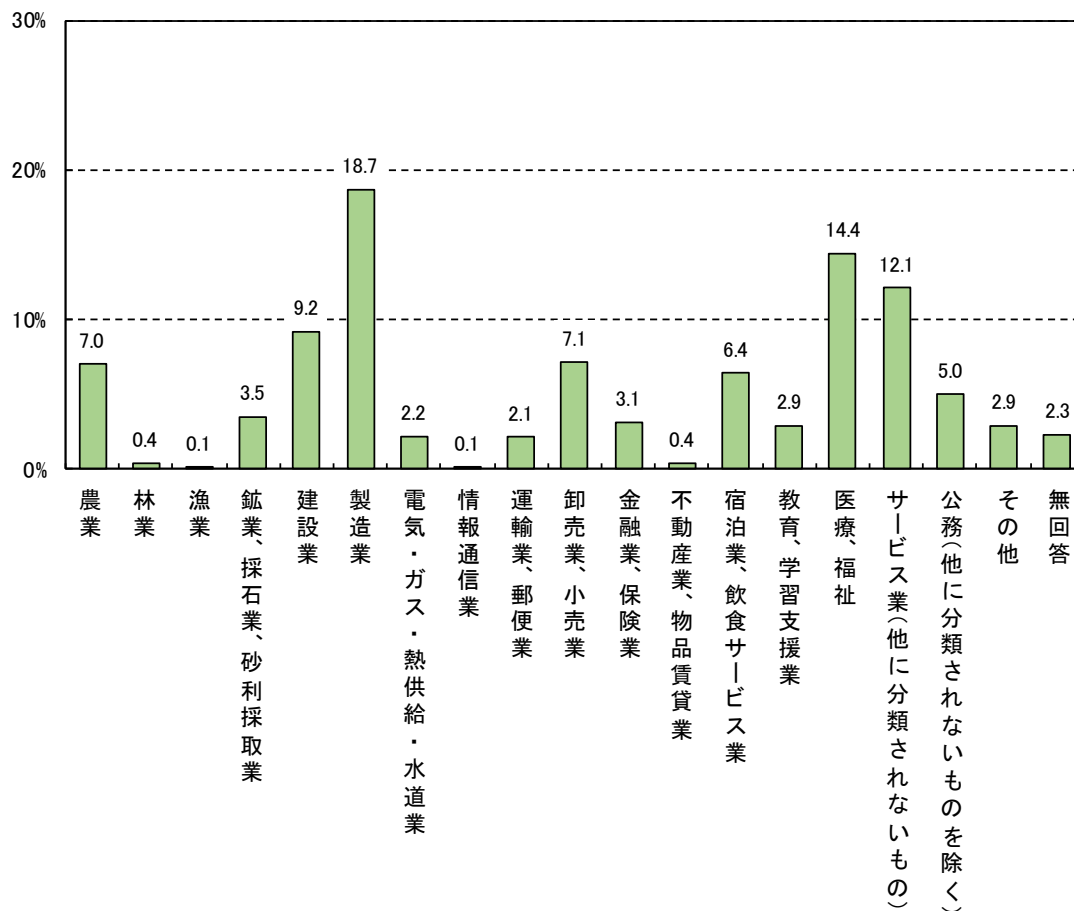


※ 自由業:一定の雇用関係によらず、勤務時間その他の制約を受けない職業。作家、弁護士、医師、会計士、税理士、芸術家など

F-10 業種

図 F-10 業種

回答者数 (n = 924)※

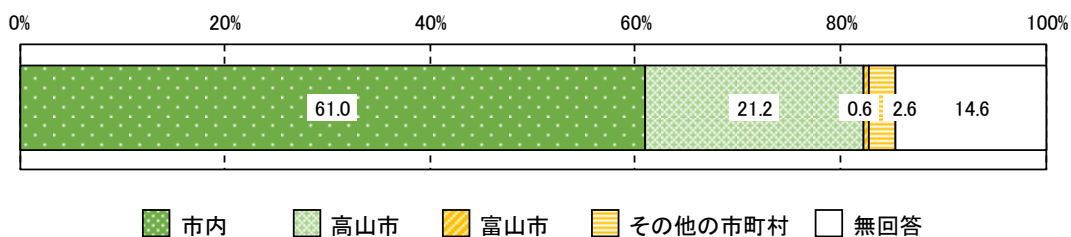


※ 「F-9 職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣と答えた方のみ

F-11 通勤、通学先

図 F-11 通勤、通学先

回答者数 (n = 981)※



※ 「F-9 職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、学生と答えた方のみ

Ⅱ 調査結果

2. 1 暮らしについて

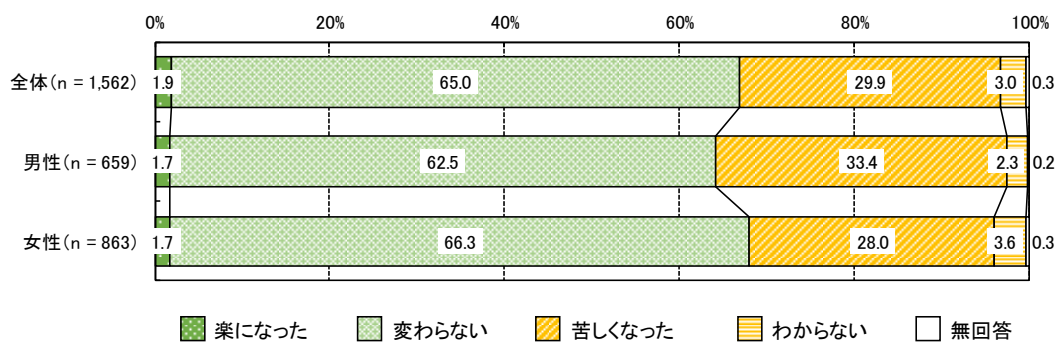
問1 暮らしの前年比較

問1 あなたやあなたの家庭の暮らし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうですか。
（1つだけ）

全体（図 1-1）で見ると、「変わらない」が 65.0%と最も高く、次いで「苦しくなった」（29.9%）、「わからない」（3.0%）の順となっている。

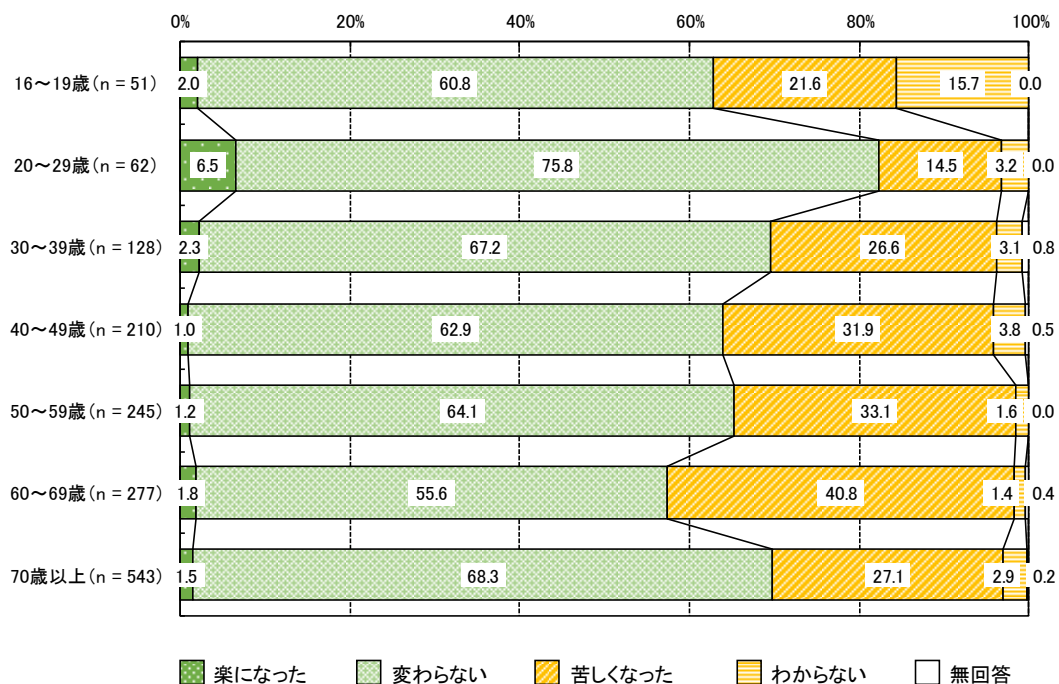
性別（図 1-1）で見ると、男女ともに「変わらない」が最も高く、男性が 62.5%、女性が 66.3%となっており、女性が男性より 3.8 ポイント高くなっている。

図 1-1 【全体・性別】 暮らしの前年比較



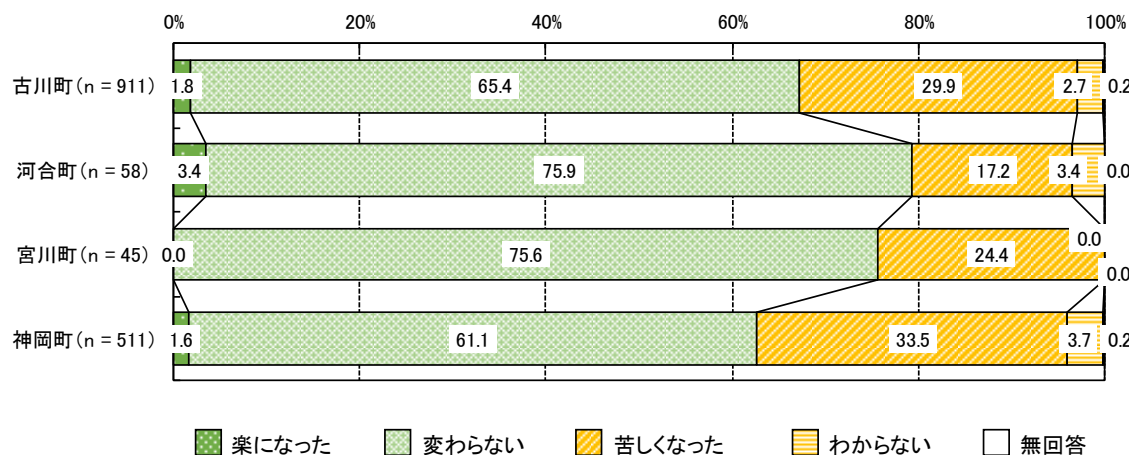
年代別（図 1-2）で見ると、いずれの年代においても「変わらない」が最も高く、そのうち 20 歳代が 75.8%と最も高くなっている。20 歳代では「楽になった」においても 6.5%と他の年代と比べて高くなっている。「苦しくなった」は、60 歳代が 40.8%と最も高くなっている。

図 1-2 【年代別】 暮らしの前年比較



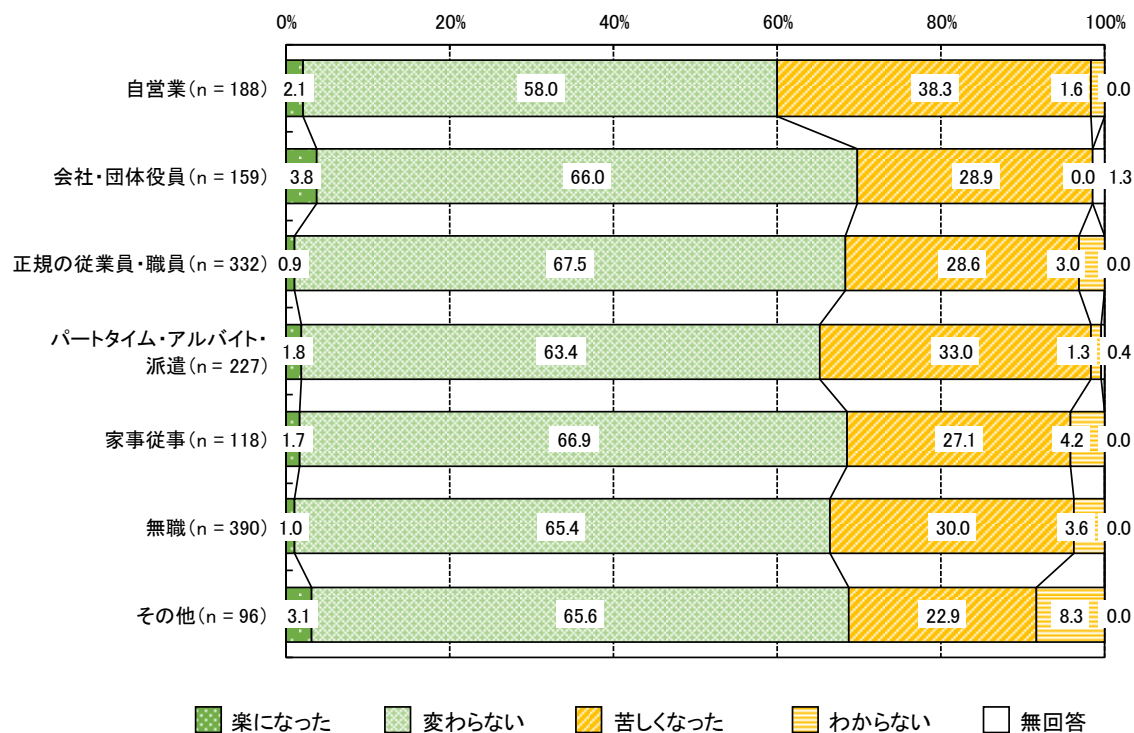
居住地別（図 1-3）でみると、いずれの居住地においても「変わらない」が最も高く、そのうち河合町が 75.9%と最も高くなっている。「苦しくなった」は、神岡町が 33.5%と最も高くなっている。

図 1-3 【居住地別】 暮らしの前年比較



職業別（図 1-4）でみると、いずれの職業においても「変わらない」が最も高く、そのうち正規の従業員・職員が 67.5%と最も高くなっている。「苦しくなった」は、自営業が 38.3%と最も高くなっている。

図 1-4 【職業別】 暮らしの前年比較



※ その他には、自由業、学生を含む。

問1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由

問1-2 「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。

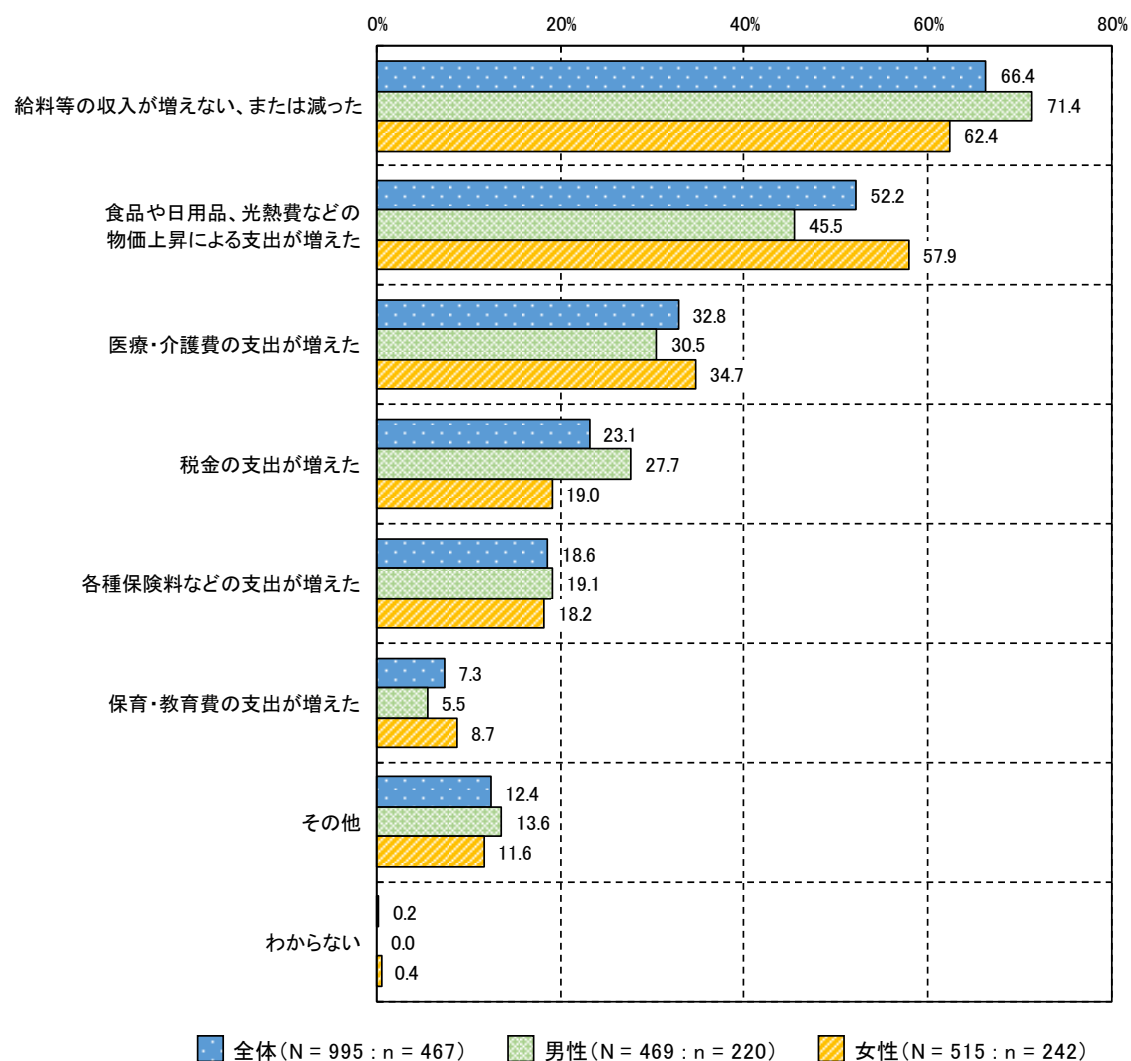
あなたが、暮らしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。

(3つまで)

全体（図1-2-1）でみると、「給料等の収入が増えない、または減った」が66.4%と最も高く、次いで「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」（52.2%）、「医療・介護費の支出が増えた」（32.8%）の順となっている。

性別（図1-2-1）でみると、男女ともに「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、男性が71.4%、女性が62.4%となっている。「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」では女性が男性より12.4ポイント高くなっている。「税金の支出が増えた」では男性が女性より8.7ポイント高くなっている。

図1-2-1 【全体・性別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由

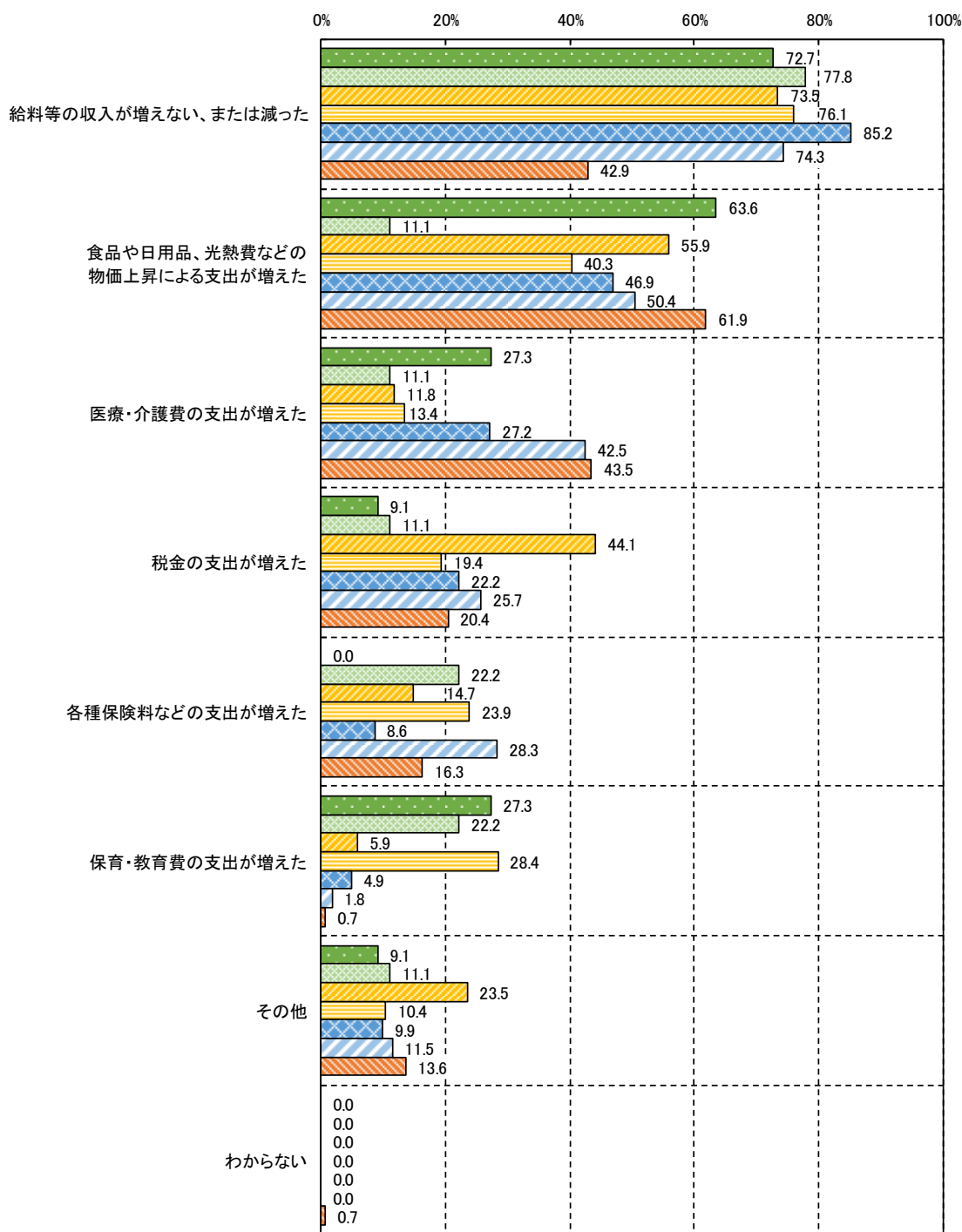


※ 問1で「苦しくなった」と答えた方のみ

※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 1-2-2）でみると、70 歳以上を除くいずれの年代においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうち 50 歳代が 85.2%と最も高くなっている。70 歳以上では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が 61.9%と最も高くなっている。60 歳代、70 歳以上では「医療・介護費の支出が増えた」が、30 歳代では「税金の支出が増えた」が他の年代より高くなっている。

図 1-2-2 【年代別】暮らしが苦しくなったと感じる理由



16～19歳 (N=23 : n=11)

20～29歳 (N=15 : n=9)

30～39歳 (N=78 : n=34)

40～49歳 (N=142 : n=67)

50～59歳 (N=166 : n=81)

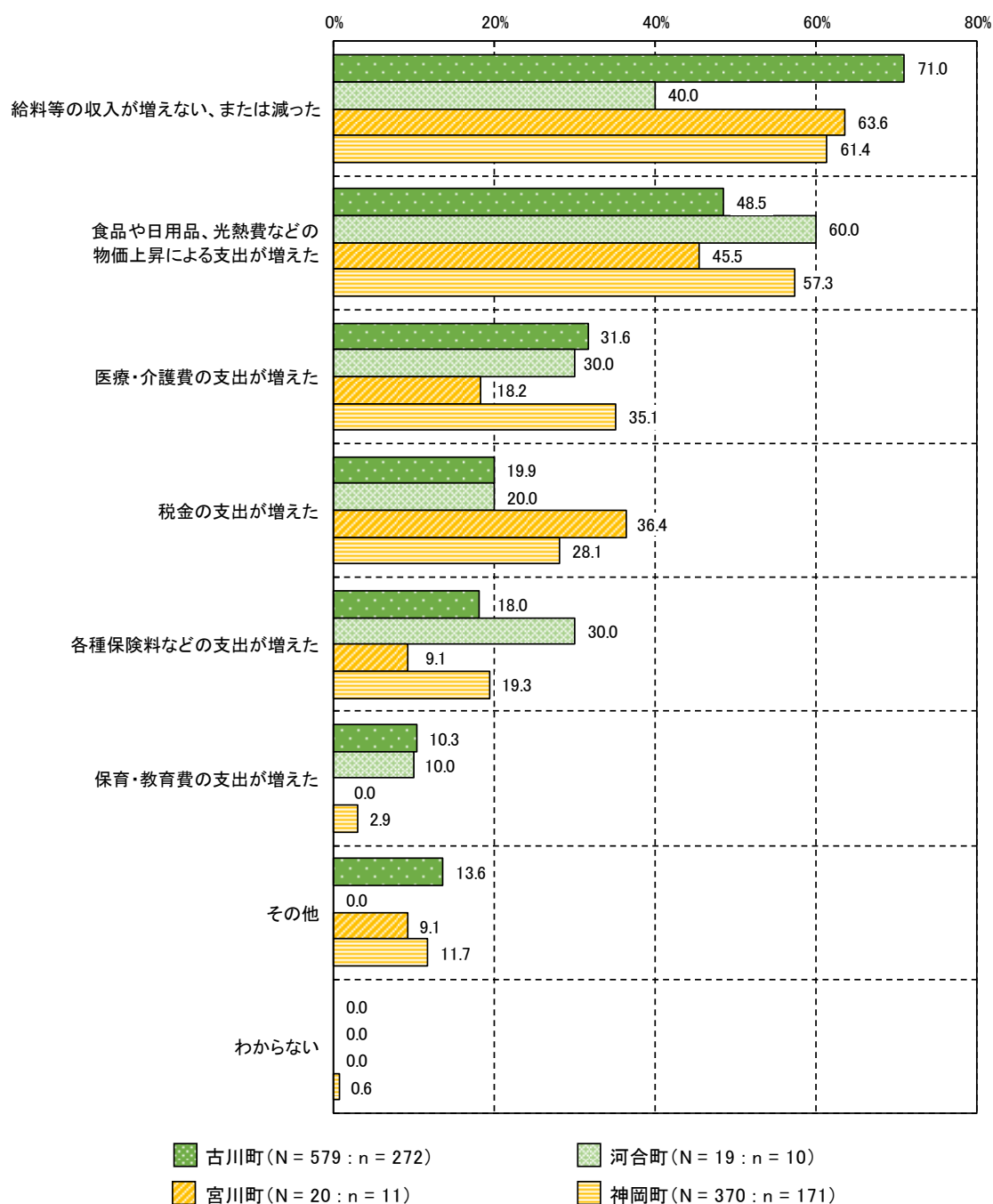
60～69歳 (N=265 : n=113)

70歳以上 (N=294 : n=147)

※ N=総回答数 n=回答者数

居住地別（図 1-2-3）でみると、古川町、宮川町、神岡町では「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、河合町では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高く、河合町では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高くなっている。

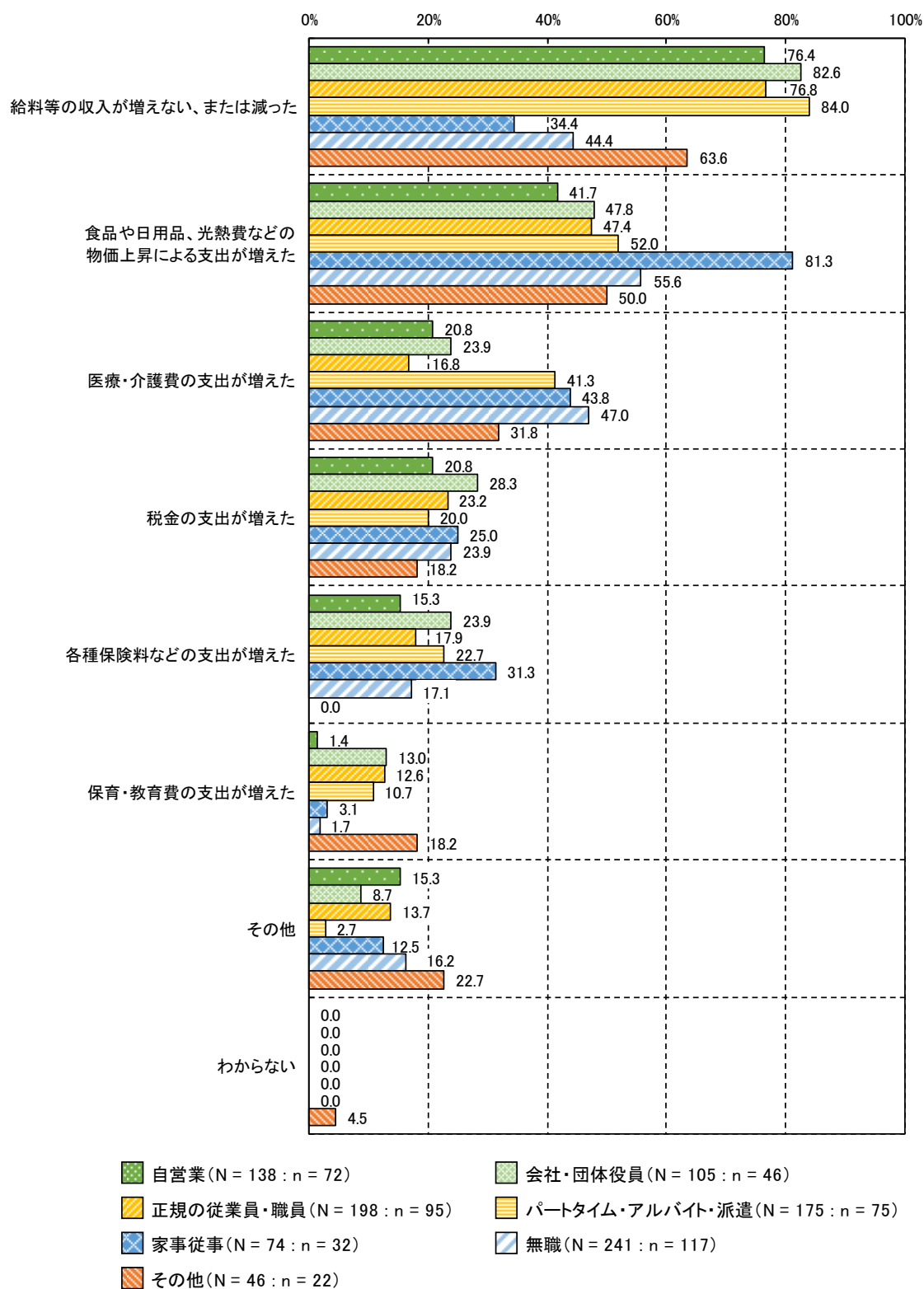
図 1-2-3 【居住地別】暮らしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 1-2-4）でみると、家事従事と無職を除くいずれの職業においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうちパートタイム・アルバイト・派遣が84.0%と最も高くなっている。家事従事と無職では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高くなっている。

図 1-2-4 【職業別】暮らしが苦しくなったと感じる理由



※ その他には、自由業、学生を含む。

※ N＝総回答数 n＝回答者数

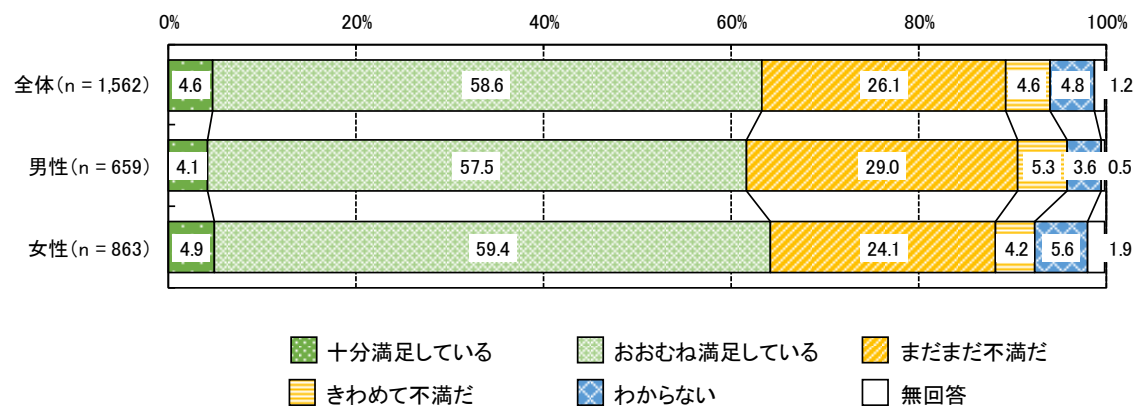
問2 暮らしの満足度

問2 あなたは、現在の暮らし全般（生活環境など）についてどう思いますか。（1つだけ）

全体（図2-1）でみると、「おおむね満足している」が58.6%と最も高く、次いで「まだまだ不満だ」（26.1%）、「わからない」（4.8%）の順となっている。

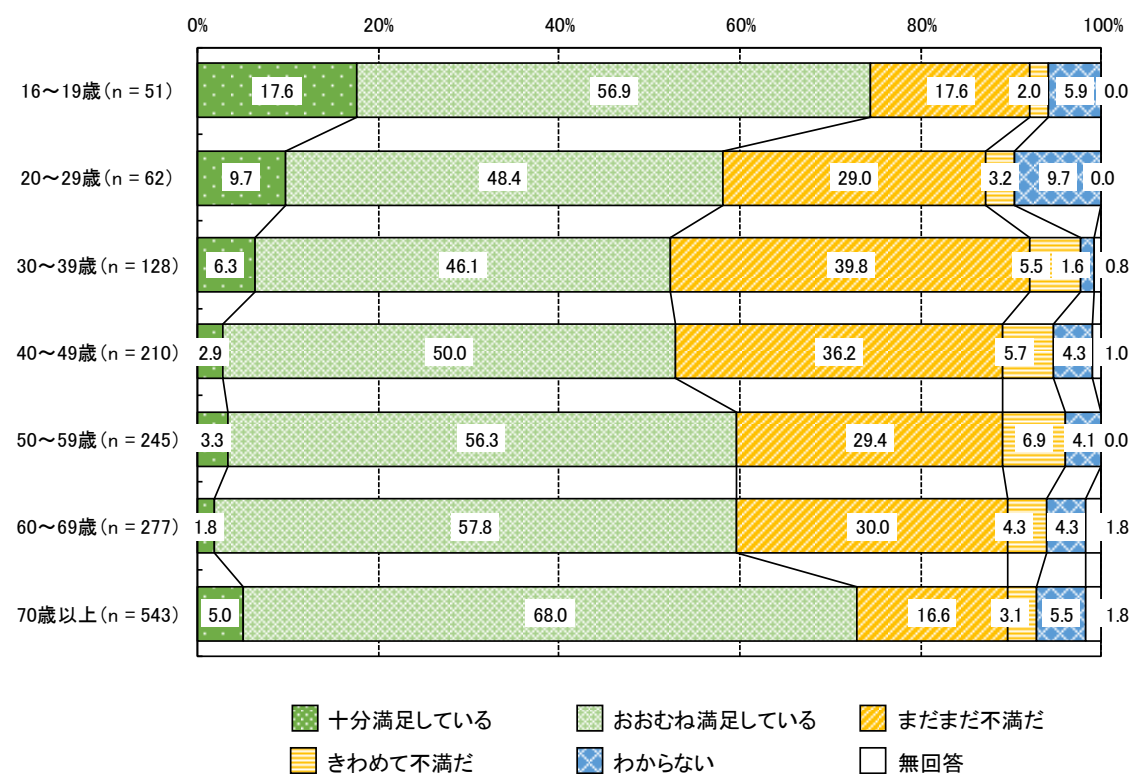
性別（図2-1）でみると、男女ともに「おおむね満足している」が最も高く、男性が57.5%、女性が59.4%となっている。

図2-1 【全体・性別】 暮らしの満足度



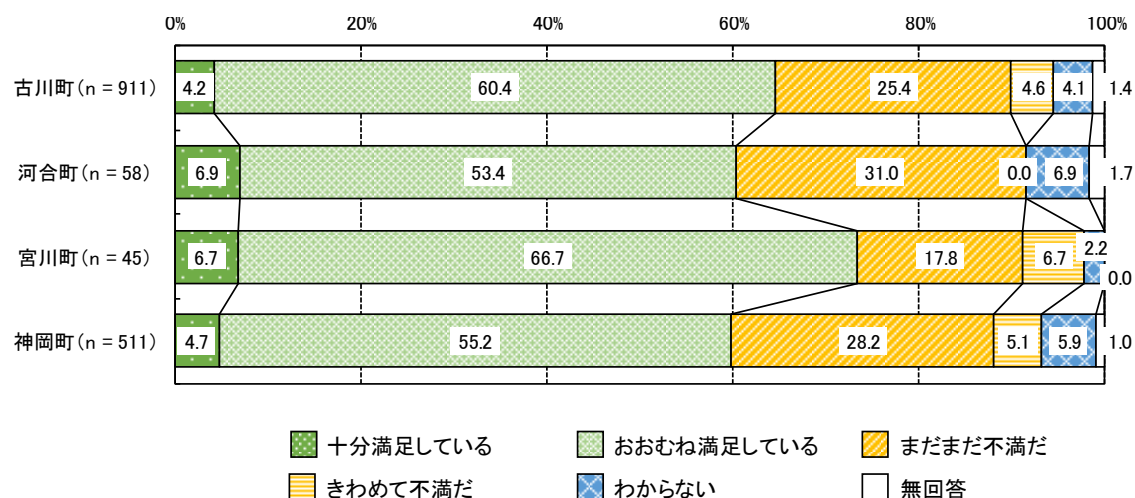
年代別（図2-2）でみると、いずれの年代においても「おおむね満足している」が最も高く、そのうち70歳以上が68.0%と最も高くなっている。「まだまだ不満だ」では30歳代が39.8%と最も高くなっている。

図2-2 【年代別】 暮らしの満足度



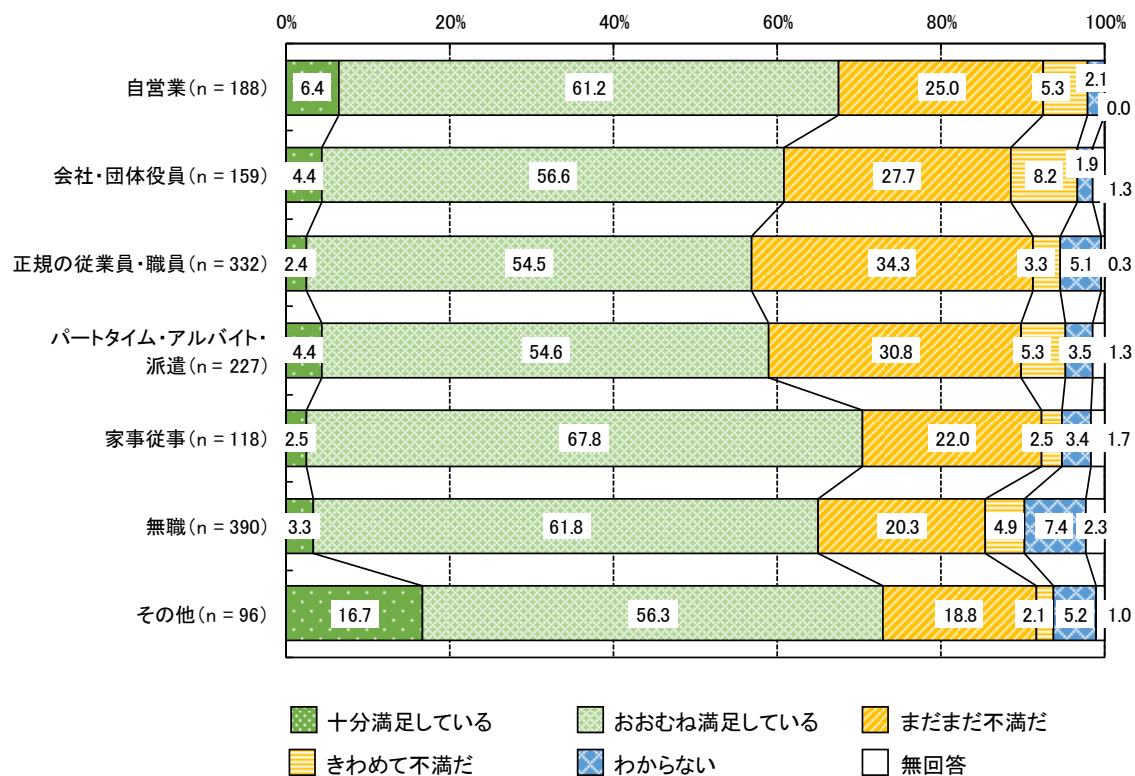
居住地別（図 2-3）でみると、いずれの居住地においても「おおむね満足している」が最も高く、そのうち宮川町が 66.7%と最も高くなっている。「まだまだ不満だ」では河合町が 31.0%と最も高くなっている。

図 2-3 【居住地別】暮らしの満足度



職業別（図 2-4）でみると、いずれの職業においても「おおむね満足している」が最も高く、そのうち家事従事が 67.8%と最も高くなっている。「まだまだ不満だ」では正規の従業員・職員が 34.3%と最も高くなっている。

図 2-4 【職業別】暮らしの満足度



※ その他には、自由業、学生を含む。

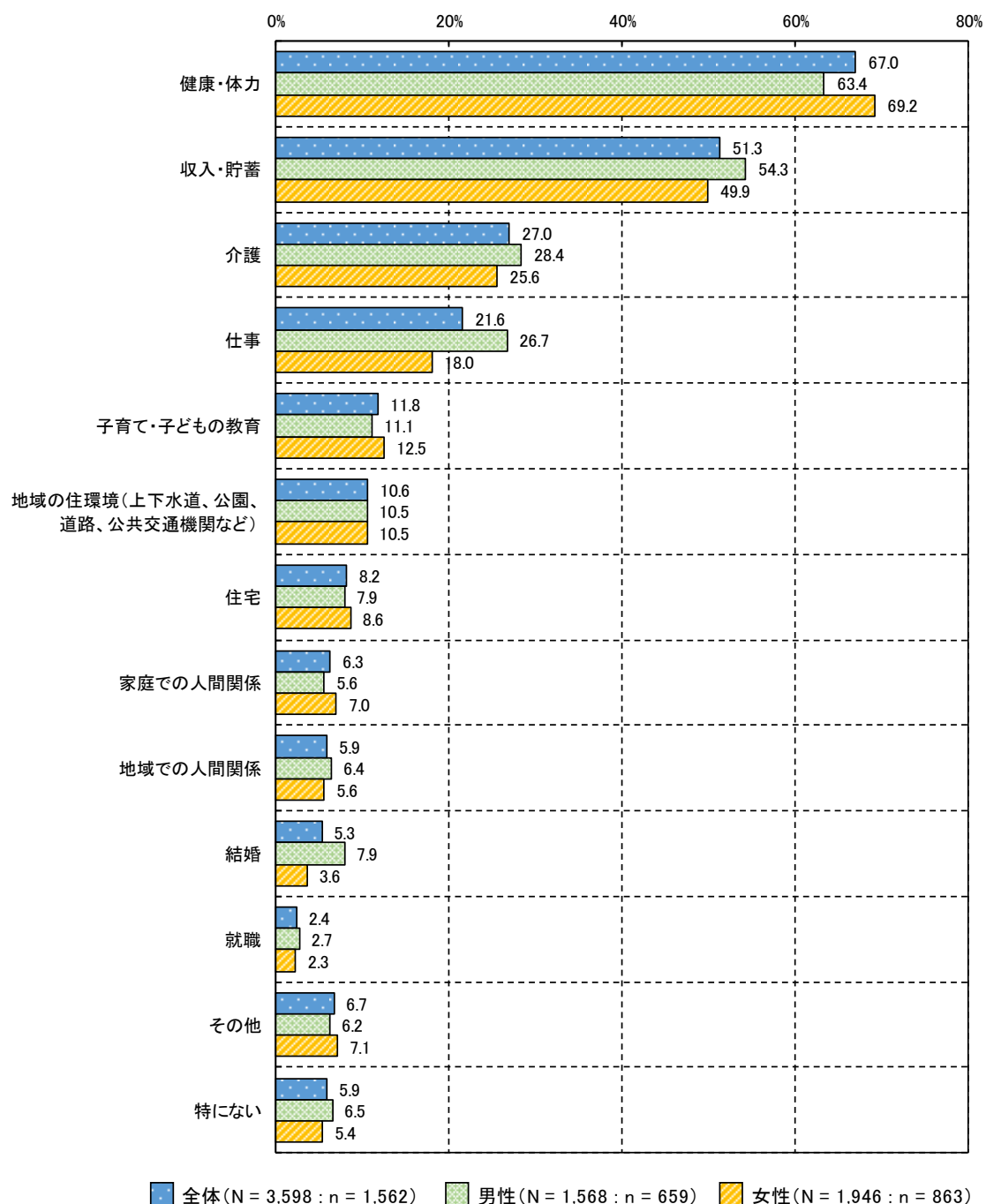
問3 生活面での不安

問3 あなたは、日頃の暮らしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(3つまで)

全体(図3-1)でみると、「健康・体力」が67.0%と最も高く、次いで「収入・貯蓄」(51.3%)、「介護」(27.0%)の順となっている。

性別(図3-1)でみると、男女ともに「健康・体力」が最も高く、男性が63.4%、女性が69.2%となっており、女性が男性より5.8ポイント高くなっている。次いで「収入・貯蓄」が男女ともに高く、「仕事」では男性が女性より8.7ポイント高くなっている。

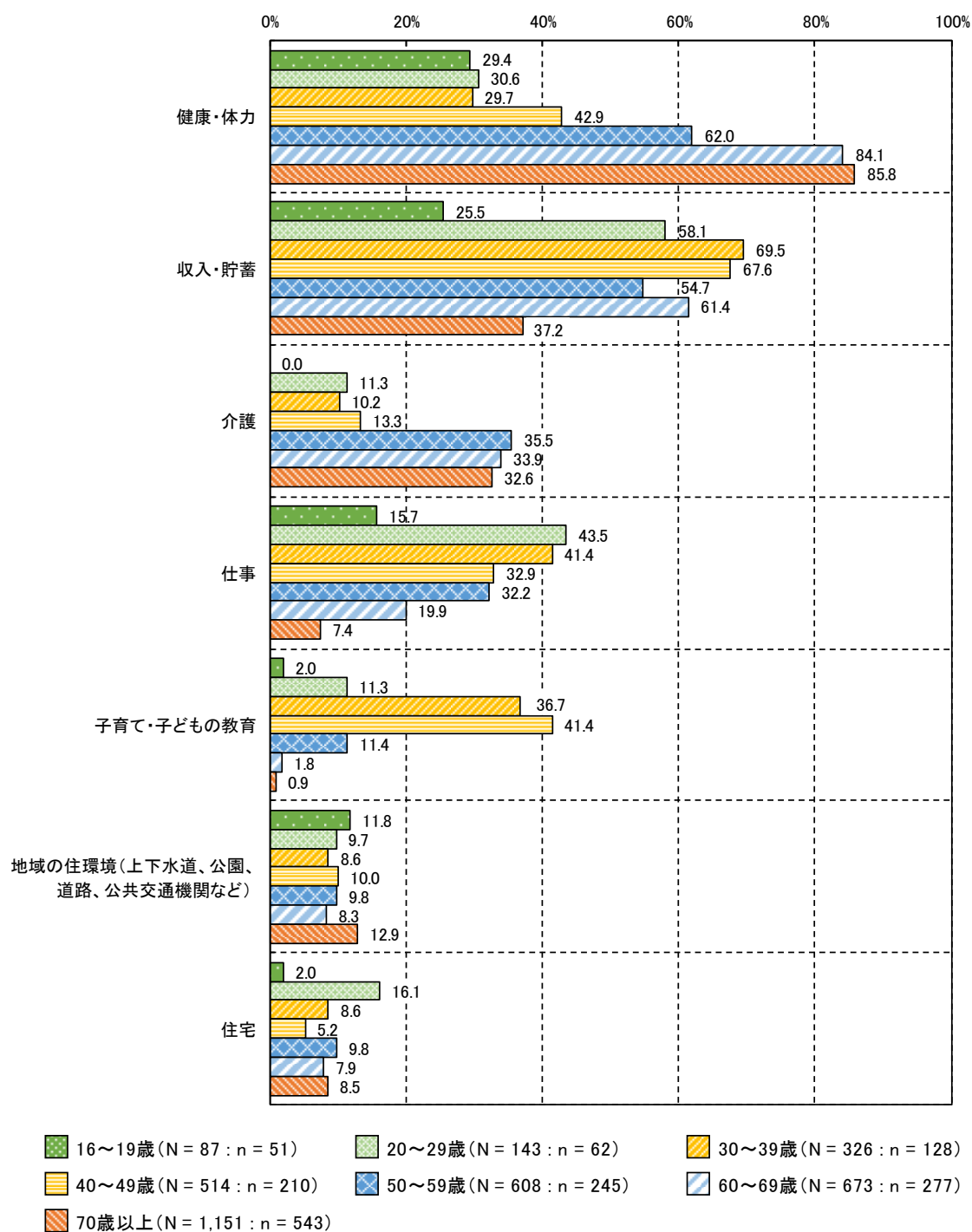
図3-1【全体・性別】生活面での不安



※ N=総回答数 n=回答者数

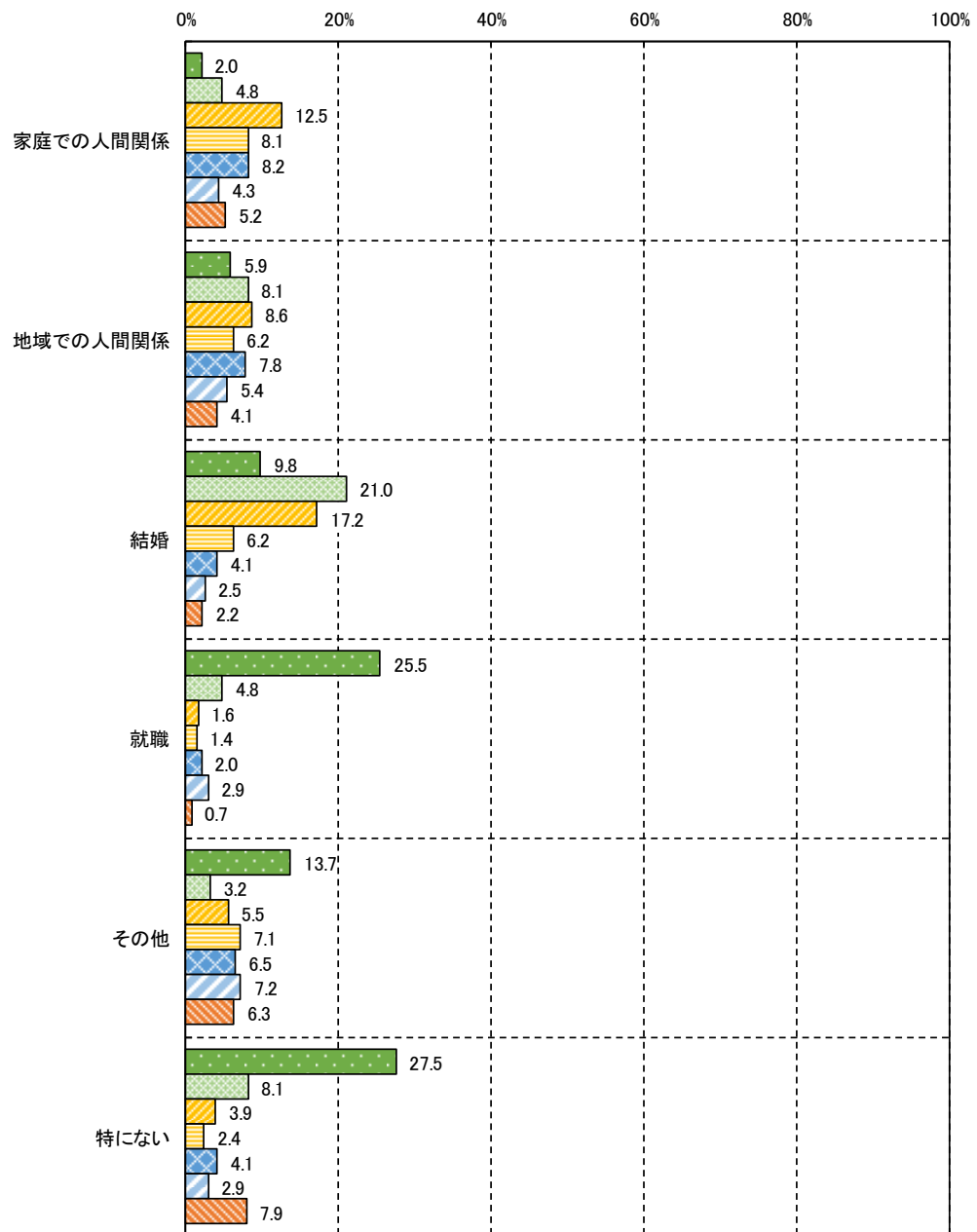
年代別（図 3-2）でみると、20 歳代、30 歳代、40 歳代は「収入・貯蓄」が最も高く、そのうち 30 歳代が 69.5%と最も高くなっている。16～19 歳、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「健康・体力」が最も高く、そのうち 70 歳以上が 85.8%と最も高くなっている。「健康・体力」は年代が高くなる程、割合が高くなっている。「就職」では 16～19 歳が、「仕事」「住宅」「結婚」では 20 歳代が、「子育て・子どもの教育」では 30 歳代、40 歳代が他の年代より高くなっている。

図 3-2 【年代別】生活面での不安



※ N=総回答数 n=回答者数

図 3-2 【年代別】生活面での不安（続き）

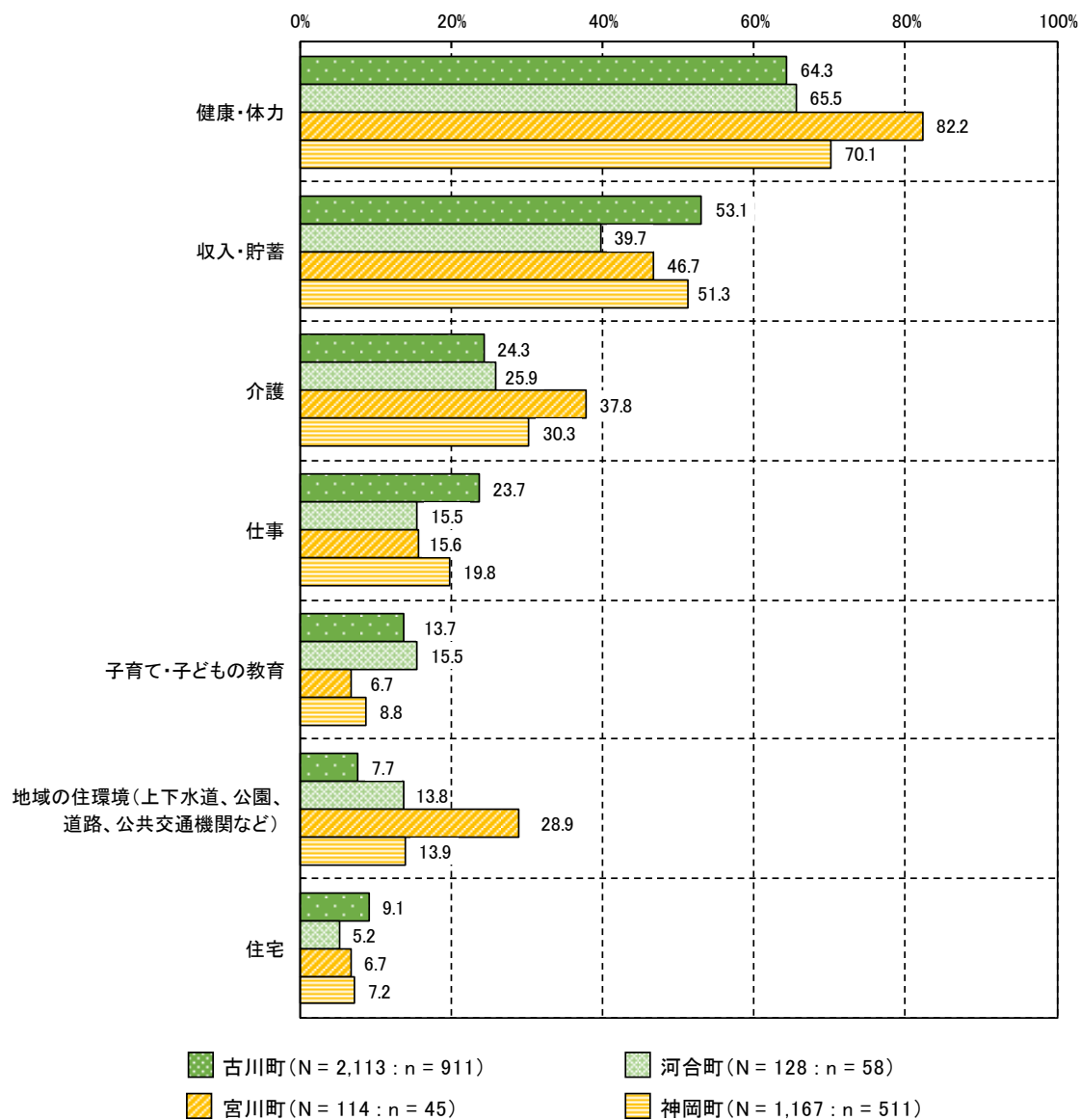


■ 16～19歳 (N = 87 : n = 51) ■ 20～29歳 (N = 143 : n = 62) ■ 30～39歳 (N = 326 : n = 128)
 ■ 40～49歳 (N = 514 : n = 210) ■ 50～59歳 (N = 608 : n = 245) ■ 60～69歳 (N = 673 : n = 277)
 ■ 70歳以上 (N = 1,151 : n = 543)

※ N=総回答数 n=回答者数

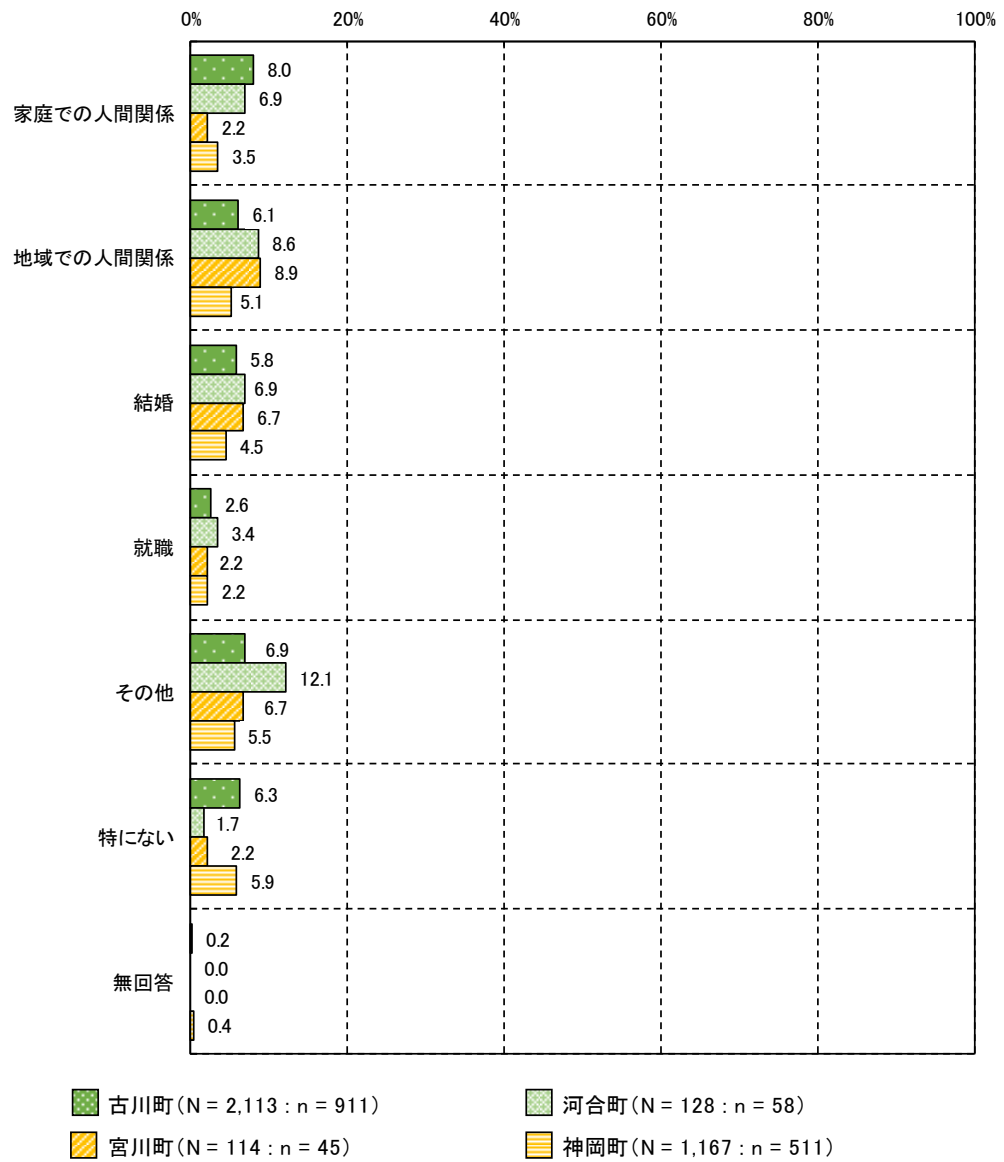
居住地別（図 3-3）でみると、いずれの居住地においても「健康・体力」が最も高く、そのうち宮川町が 82.2%と最も高くなっている。「地域の住環境（上下水道、公園、道路、公共交通機関など）」においても宮川町が 28.9%と他の居住地に比べて高くなっている。

図 3-3 【居住地別】生活面での不安



※ N=総回答数 n=回答者数

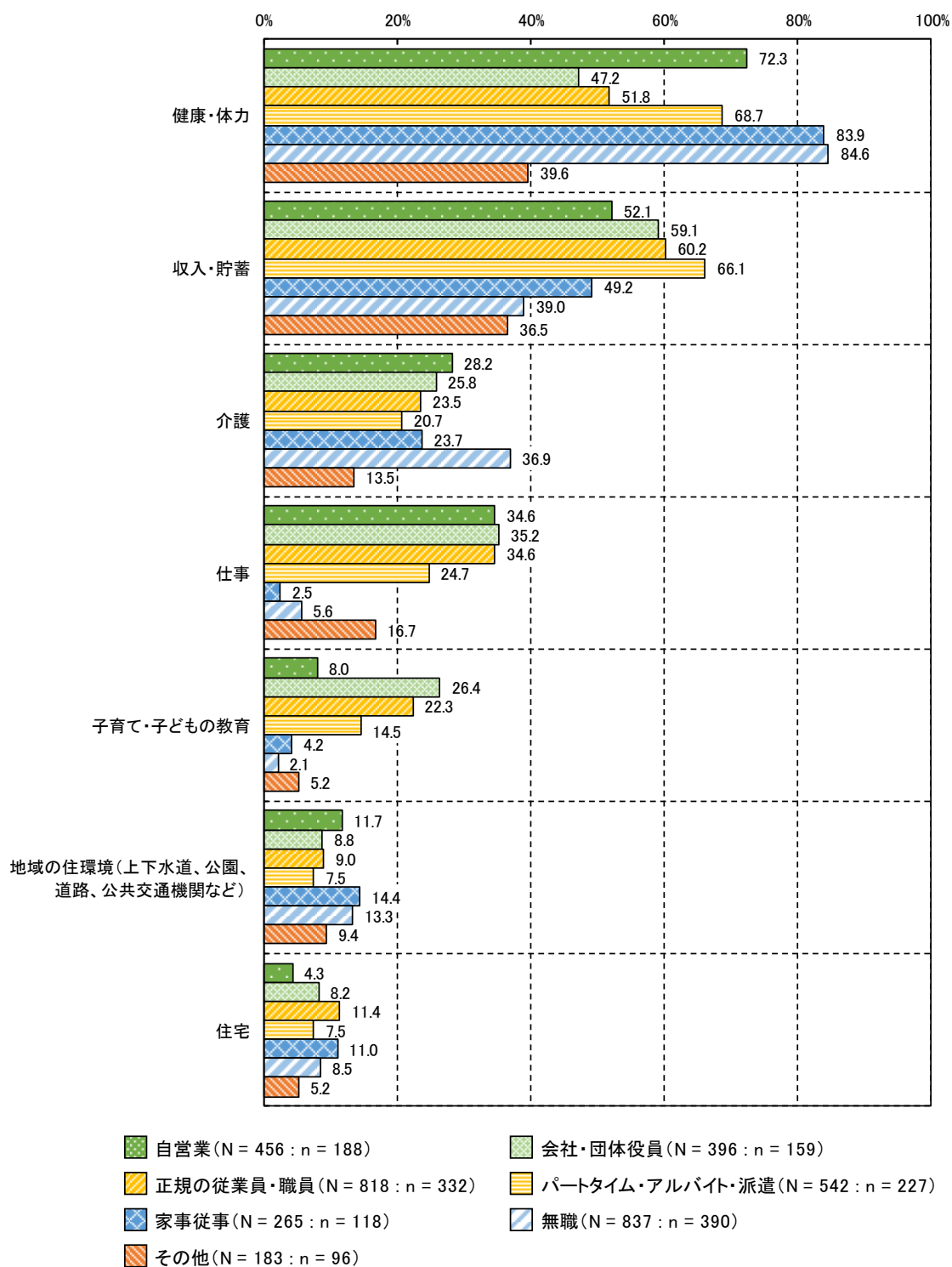
図 3-3 【居住地別】生活面での不安（続き）



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 3-4）でみると、会社・団体役員、正規の従業員・職員を除くいずれの職業においても「健康・体力」が最も高く、そのうち無職が 84.6%と最も高くなっている。会社・団体役員、正規の従業員・職員では「収入・貯蓄」が最も高くなっている。「収入・貯蓄」はパートタイム・アルバイト・派遣が 66.1%と他の職業に比べて高くなっている。

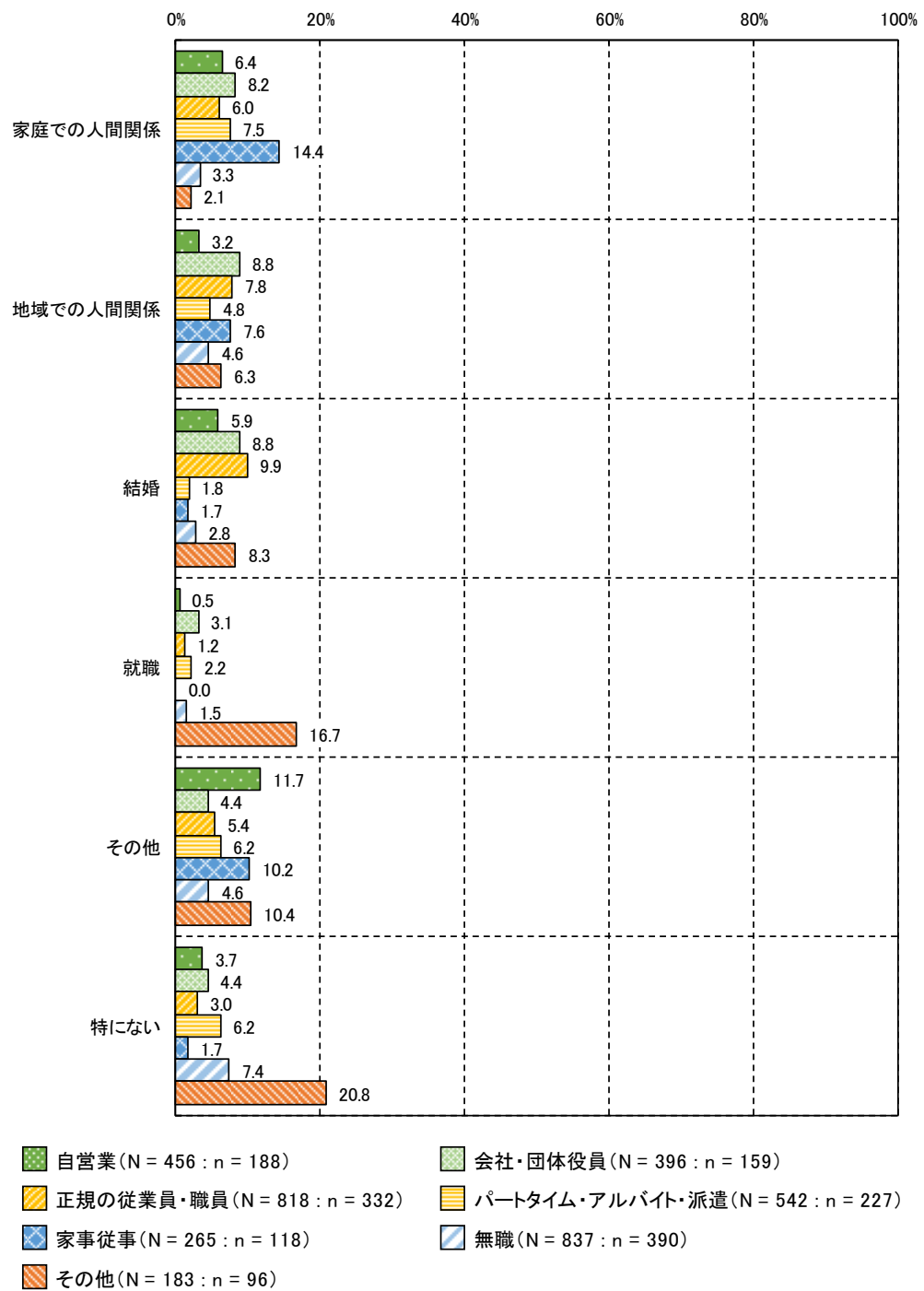
図 3-4 【職業別】 生活面での不安



※ その他には、自由業、学生を含む。

※ N=総回答数 n=回答者数

図 3-4 【職業別】 生活面での不安（続き）



※ その他には、自由業、学生を含む。

※ N=総回答数 n=回答者数

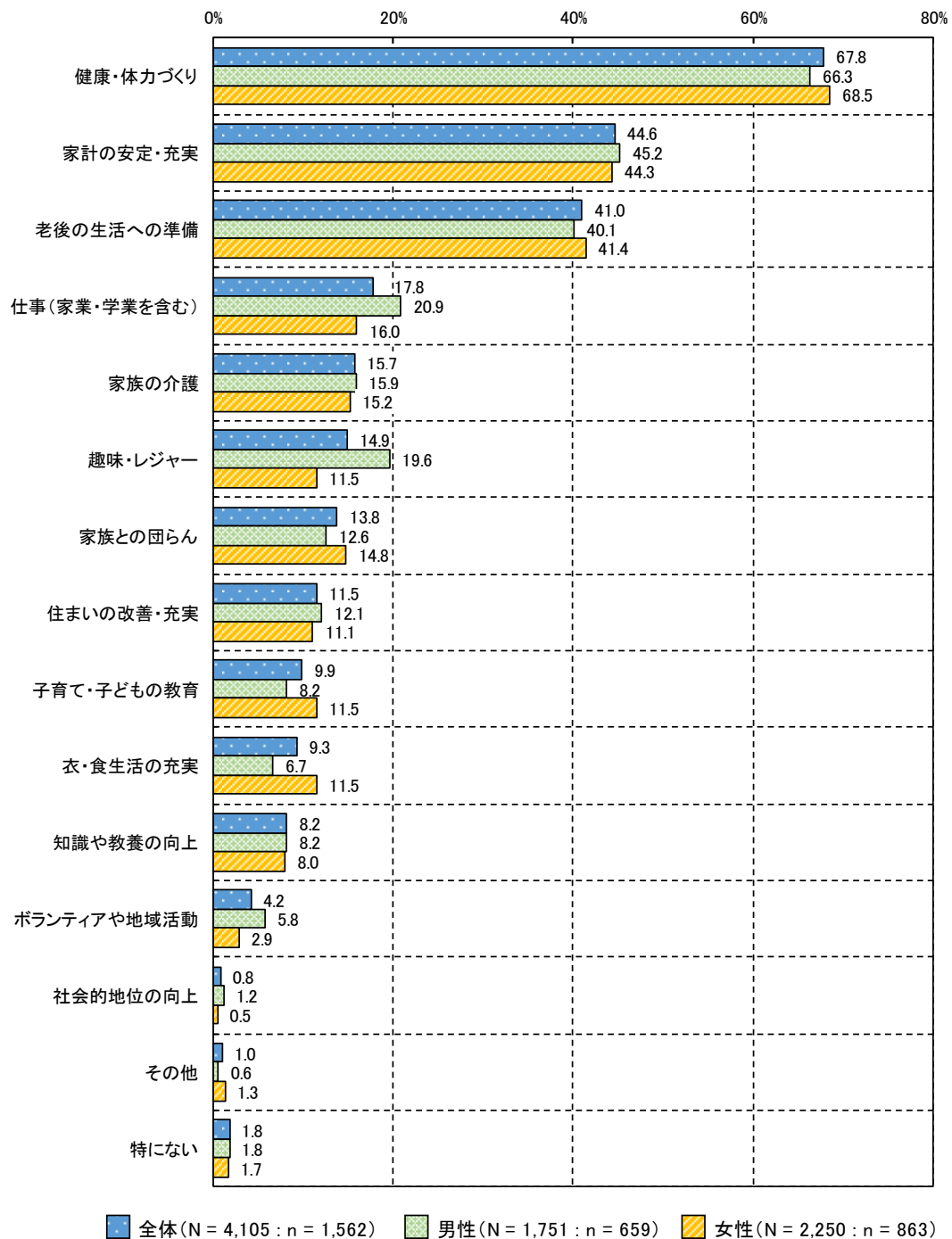
問4 今後の暮らしの中で重視していきたいこと

問4 あなたが、今後の暮らしの中で重視していきたいと思うことは何ですか。（3つまで）

全体（図4-1）でみると、「健康・体力づくり」が67.8%と最も高く、次いで「家計の安定・充実」（44.6%）、「老後の生活への準備」（41.0%）の順となっている。

性別（図4-1）でみると、男女ともに「健康・体力づくり」が最も高く、男性が66.3%、女性が68.5%となっている。「趣味・レジャー」では男性が女性より8.1ポイント高く、「衣・食生活の充実」では女性が男性より4.8ポイント高くなっている。

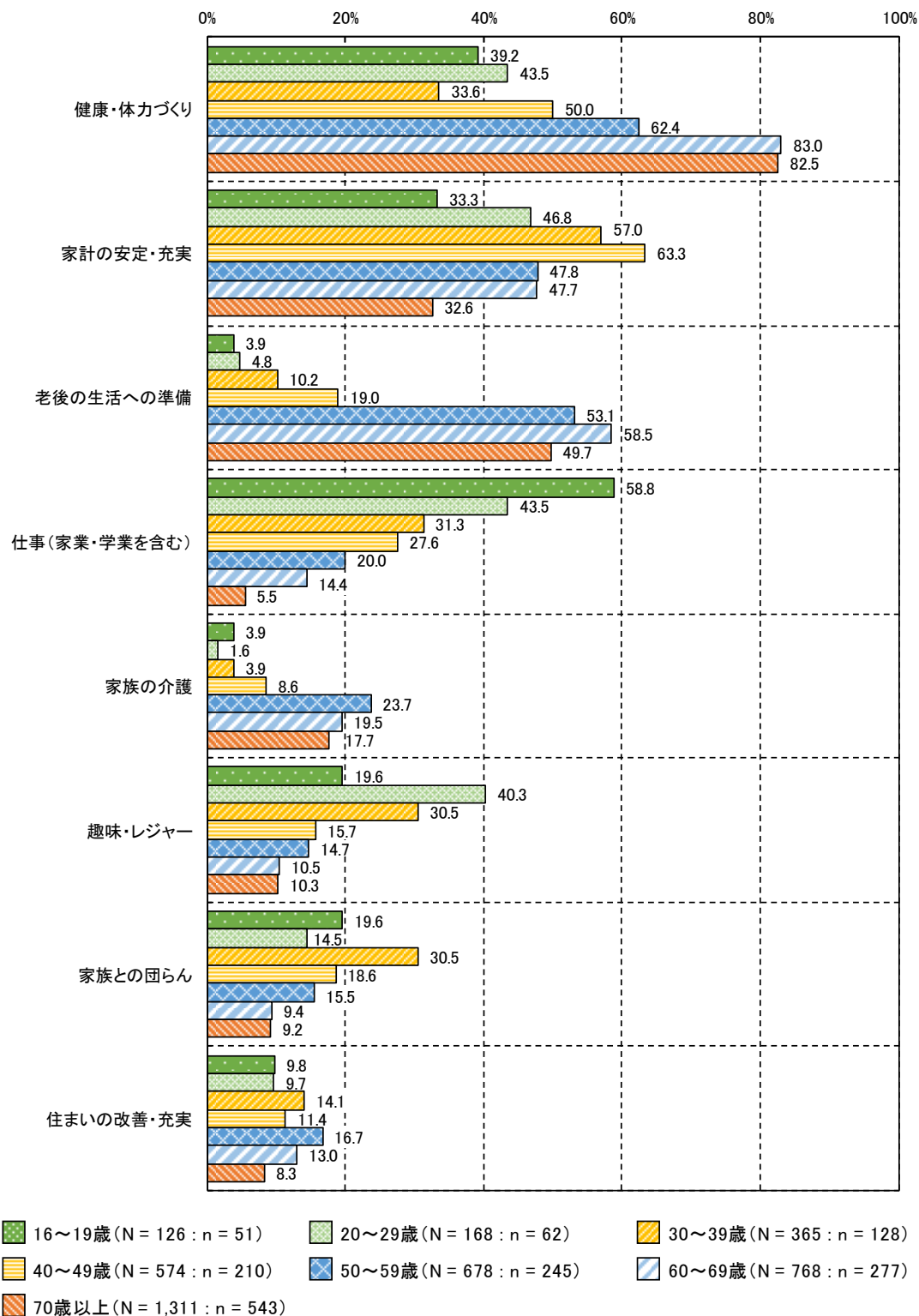
図4-1 【全体・性別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと



※ N=総回答数 n=回答者数

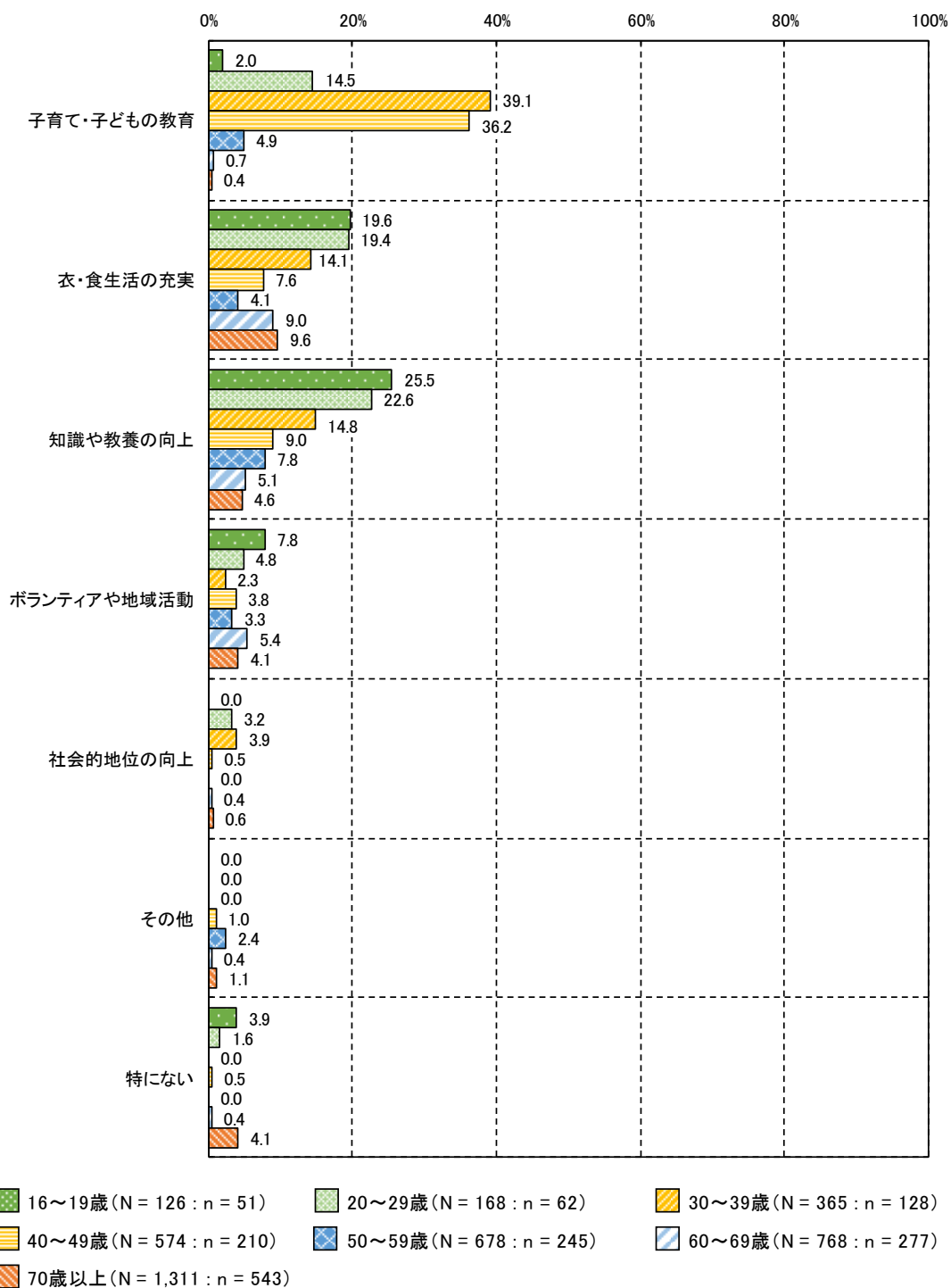
年代別（図 4-2）でみると、16～19 歳では「仕事（家業・学業を含む）」が 58.8%、20 歳代、30 歳代、40 歳代では「家計の安定・充実」が、50 歳代、60 歳代 70 歳以上では「健康・体力づくり」が最も高くなっている。30 歳代、40 歳代では「子育て・子どもの教育」が他の年代に比べて高くなっている。

図 4-2 【年代別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと



※ N＝総回答数 n＝回答者数

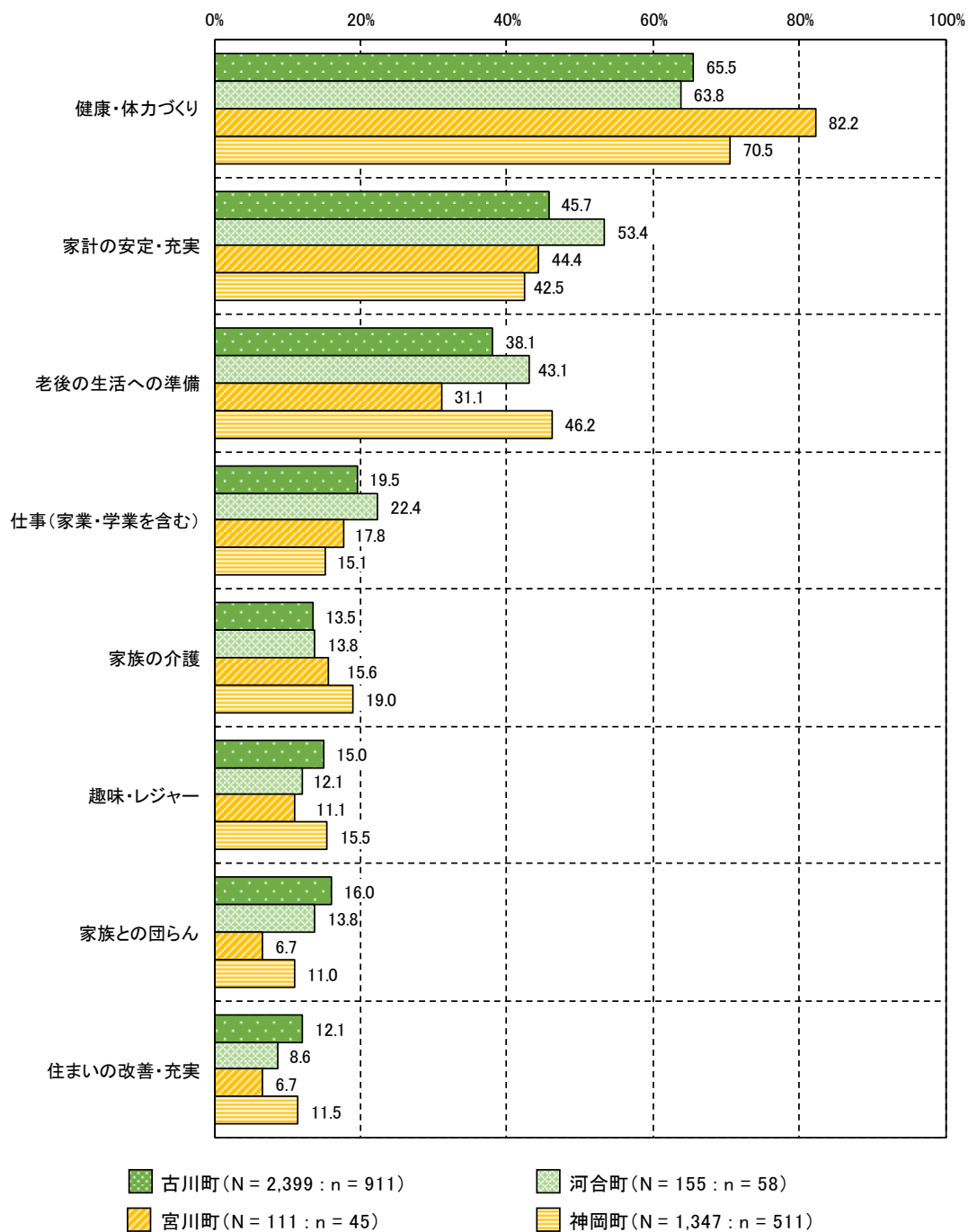
図 4-2 【年代別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと（続き）



※ N=総回答数 n=回答者数

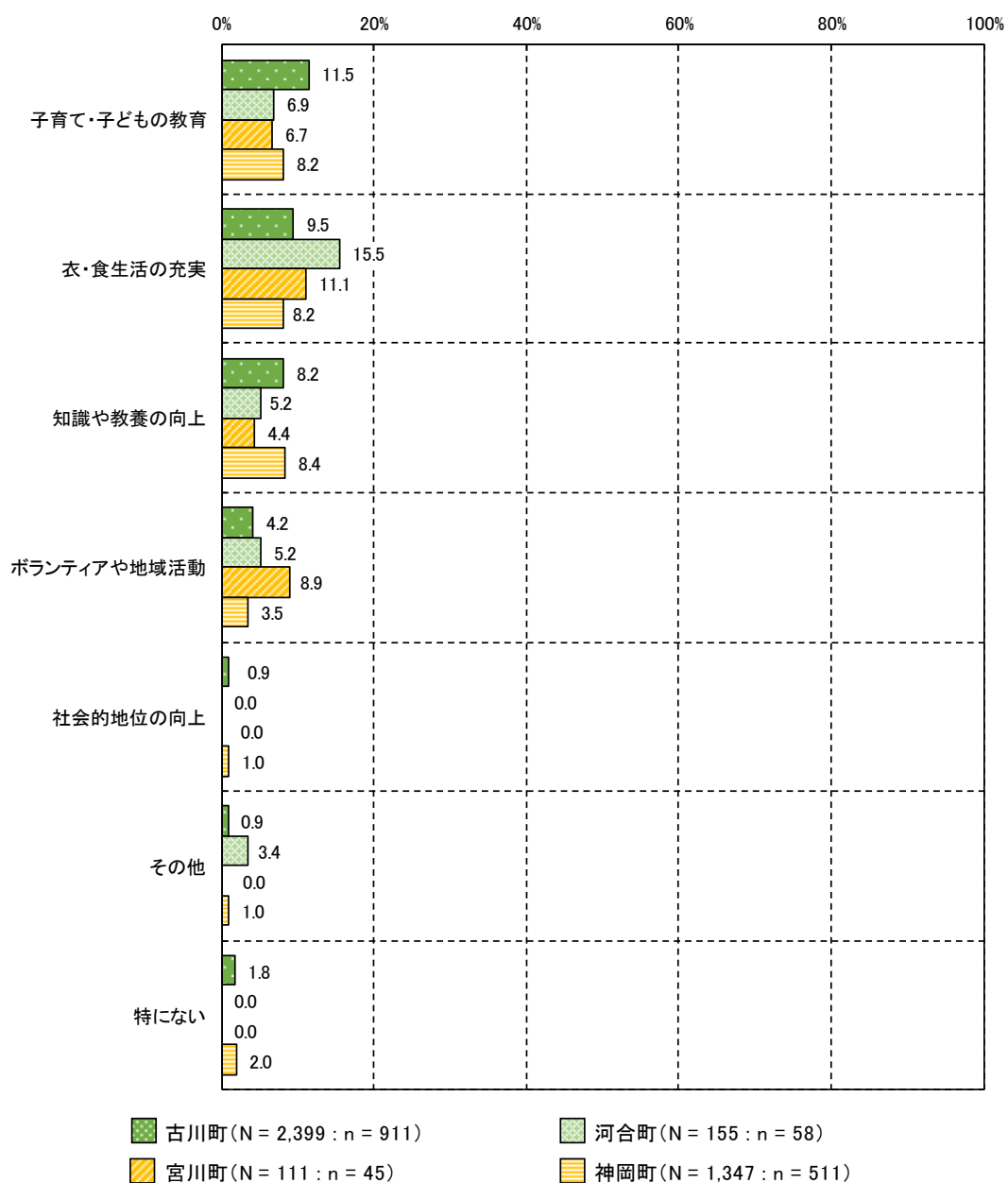
居住地別（図 4-3）でみると、いずれの居住地においても「健康・体力づくり」が最も高く、そのうち宮川町が 82.2%と最も高くなっている。

図 4-3 【居住地別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと



※ N=総回答数 n=回答者数

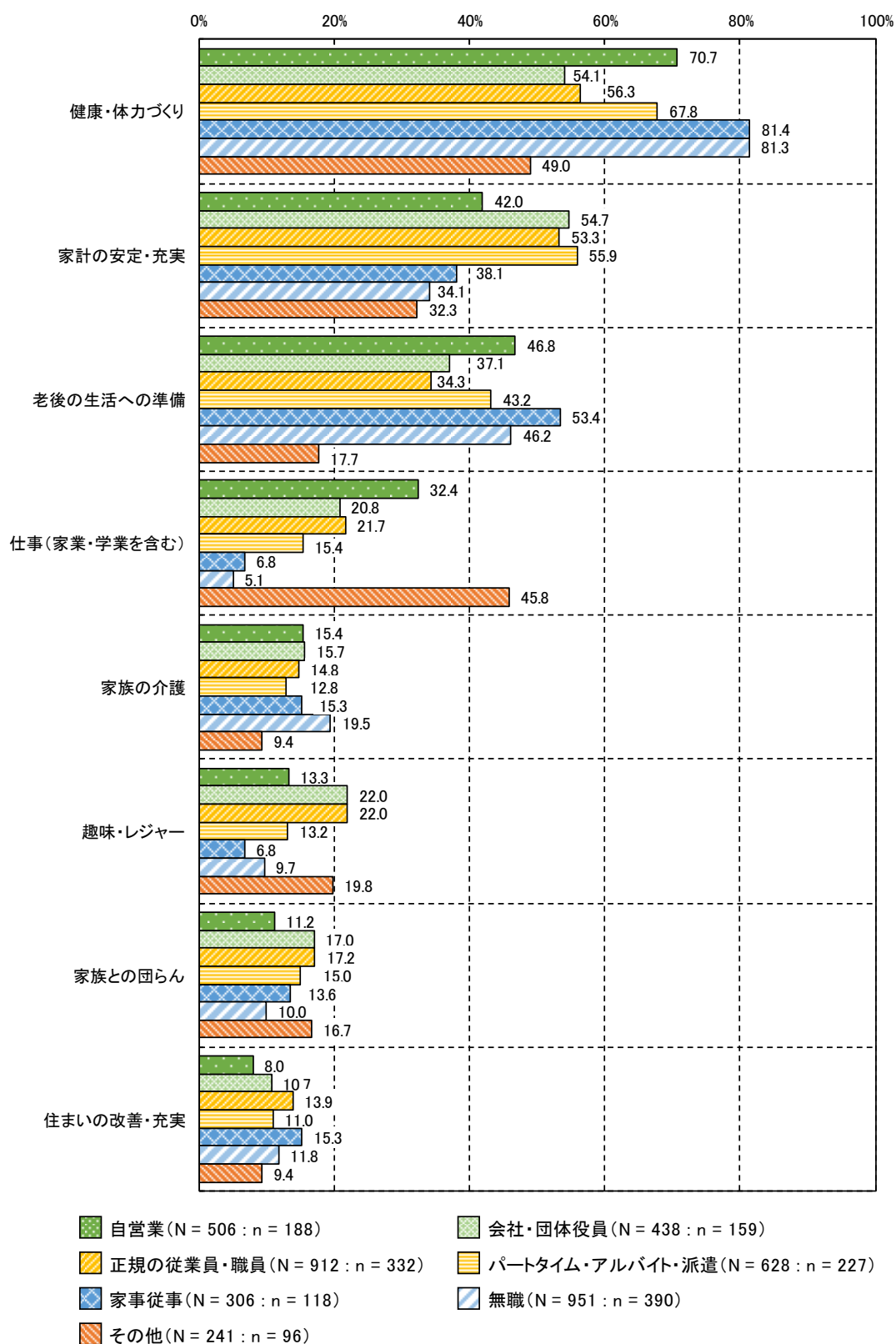
図 4-3 【居住地別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと（続き）



※ N＝総回答数 n＝回答者数

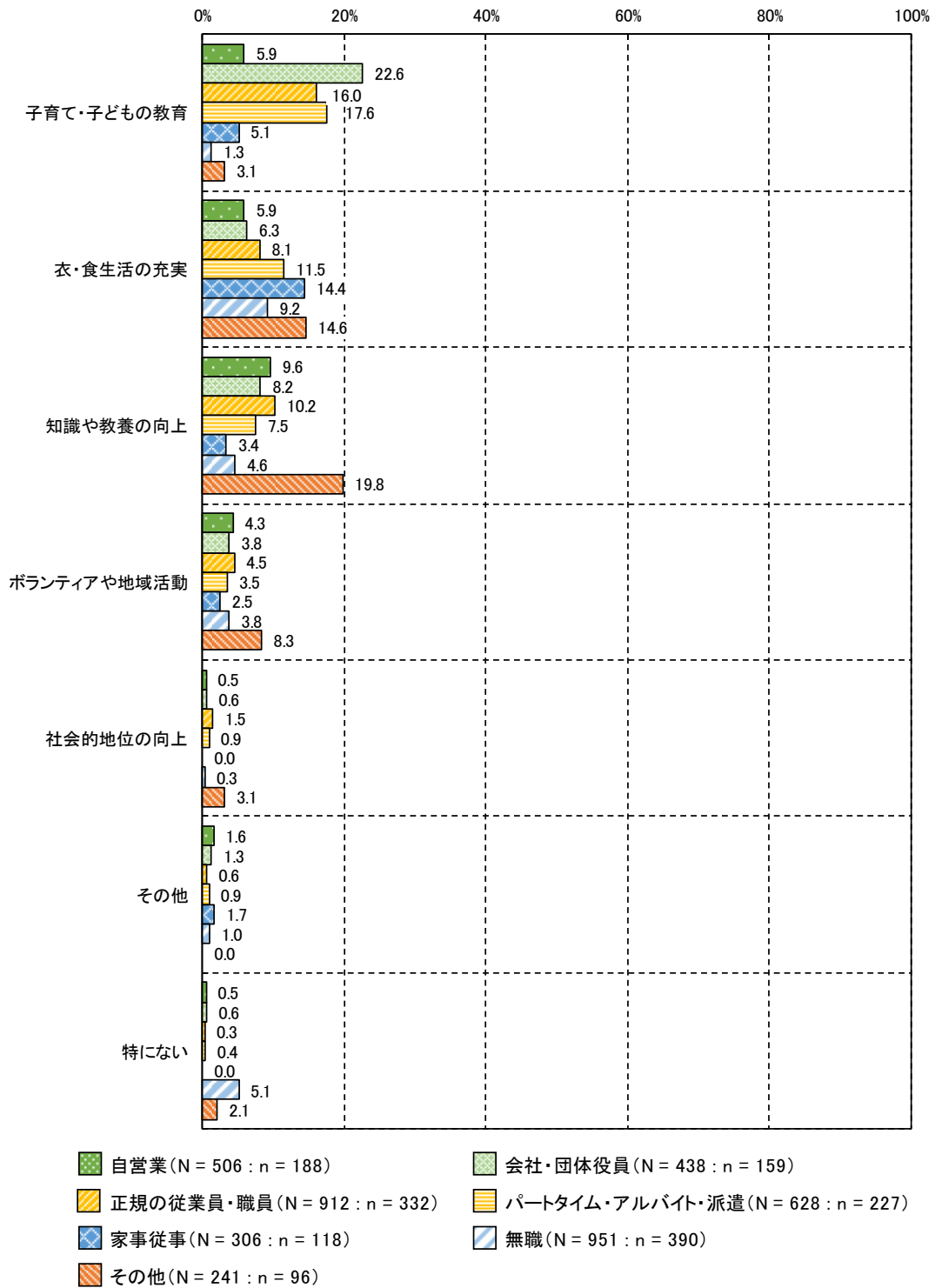
職業別（図 4-4）でみると、会社・団体役員を除くいずれの職業においても「健康・体力づくり」が最も高く、そのうち家事従事が 81.4%と最も高くなっている。会社・団体役員では「家計の安定・充実」が 54.7%と最も高くなっている。

図 4-4 【職業別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと



※ その他には、自由業、学生を含む。 ※ N＝総回答数 n＝回答者数

図 4-4 【職業別】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと（続き）



※ その他には、自由業、学生を含む。
 ※ N＝総回答数 n＝回答者数

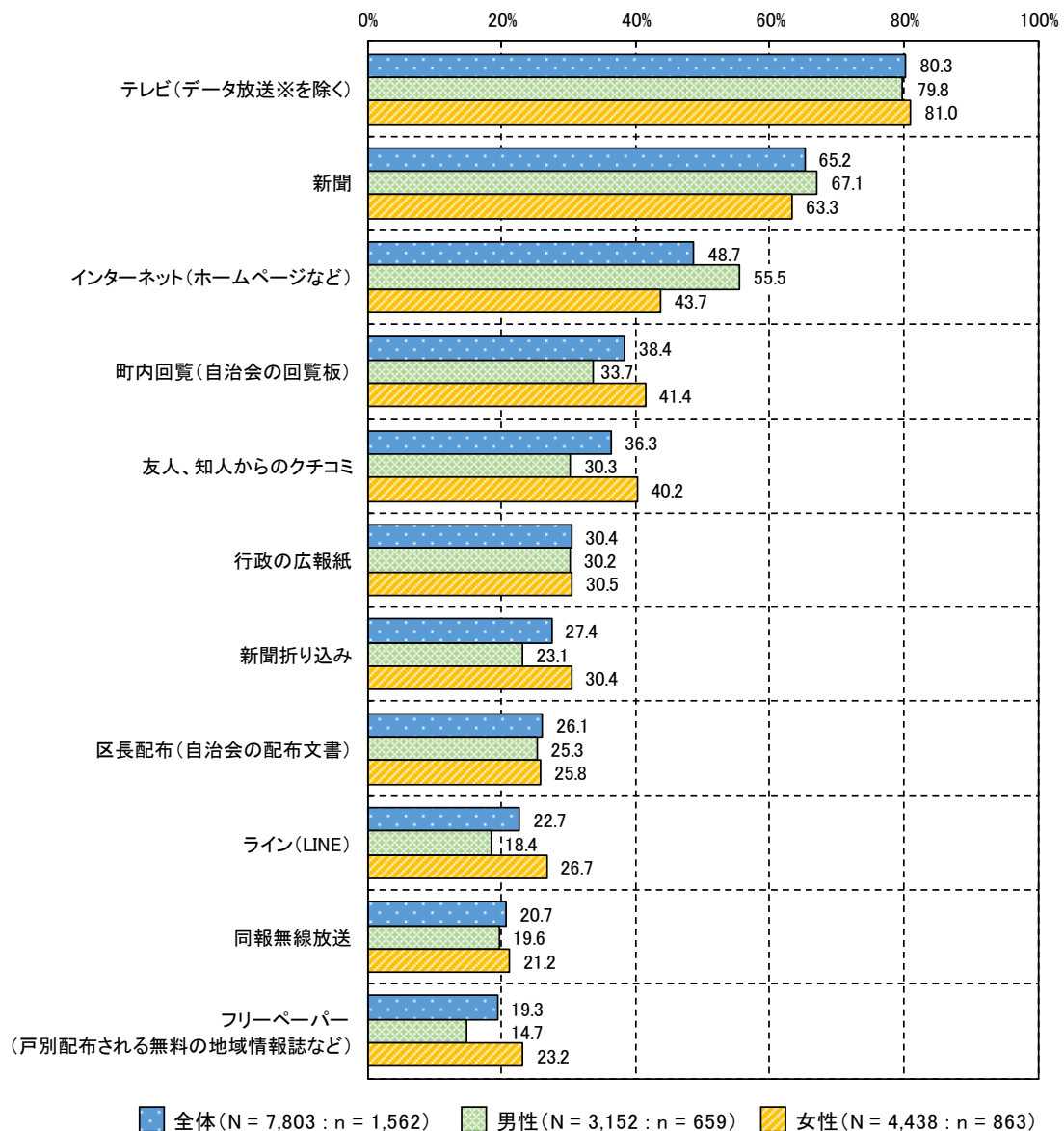
問5 生活に必要な情報の入手媒体

問5 あなたは、生活に必要な情報を何から得ていますか。(いくつでも)

全体(図5-1)でみると、「テレビ(データ放送を除く)」が80.3%と最も高く、次いで「新聞」(65.2%)、「インターネット(ホームページなど)」(48.7%)の順となっている。

性別(図5-1)でみると、男女ともに「テレビ(データ放送を除く)」が最も高く、男性が79.8%、女性が81.0%となっている。「インターネット(ホームページなど)」では男性が女性より11.8ポイント高く、「友人、知人からのクチコミ」では女性が男性より9.9ポイント高くなっている。

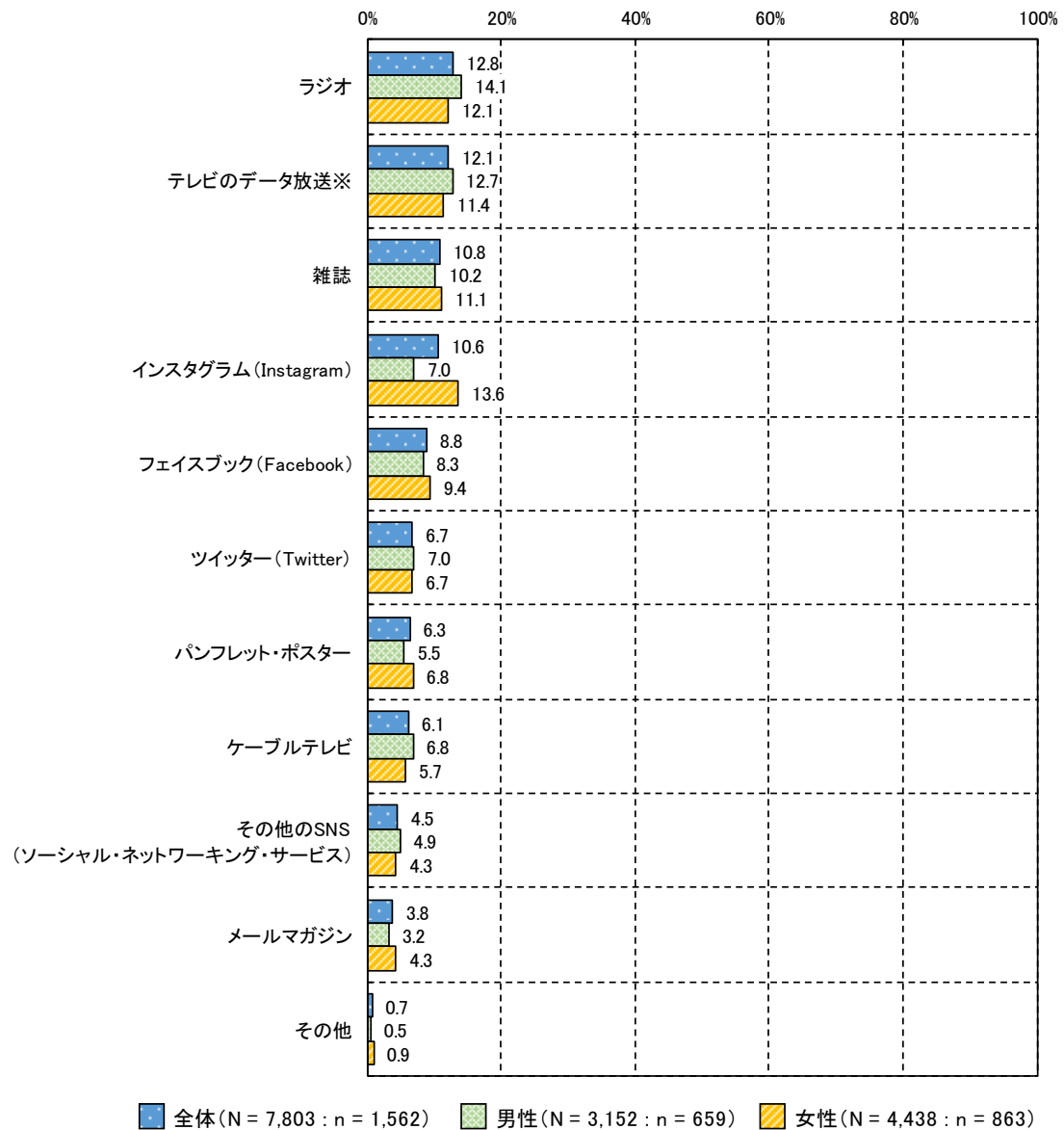
図5-1【全体・性別】生活に必要な情報の入手媒体



※ データ放送:リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

※ N=総回答数 n=回答者数

図 5-1 【全体・性別】 生活に必要な情報の入手媒体（続き）



※ データ放送: リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 5-2）でみると、16～19 歳、20 歳代、30 歳代、40 歳代では「インターネット（ホームページなど）」が、50 歳代、60 歳代では「テレビ（データ放送を除く）」が、70 歳以上では「新聞」が最も高くなっている。「町内回覧（自治会の回覧板）」、「行政の広報紙」、「新聞折り込み」では年代が高くなる程割合が高く、「ライン（LINE）」、「インスタグラム（Instagram）」、「ツイッター（Twitter）」は低い年代で割合が高くなっている。

図 5-2 【年代別】生活に必要な情報の入手媒体

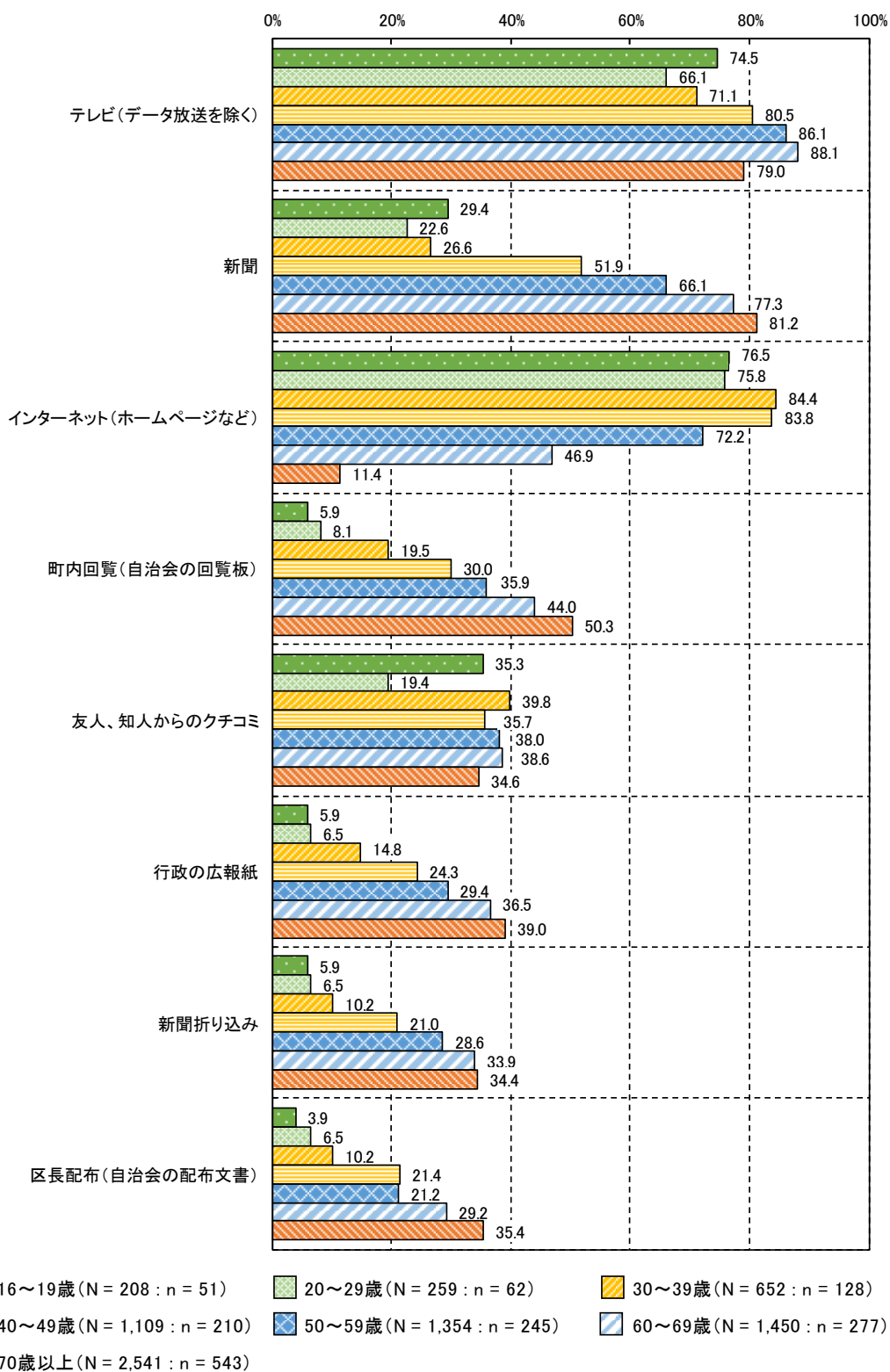


図 5-2 【年代別】 生活に必要な情報の入手媒体（続き）

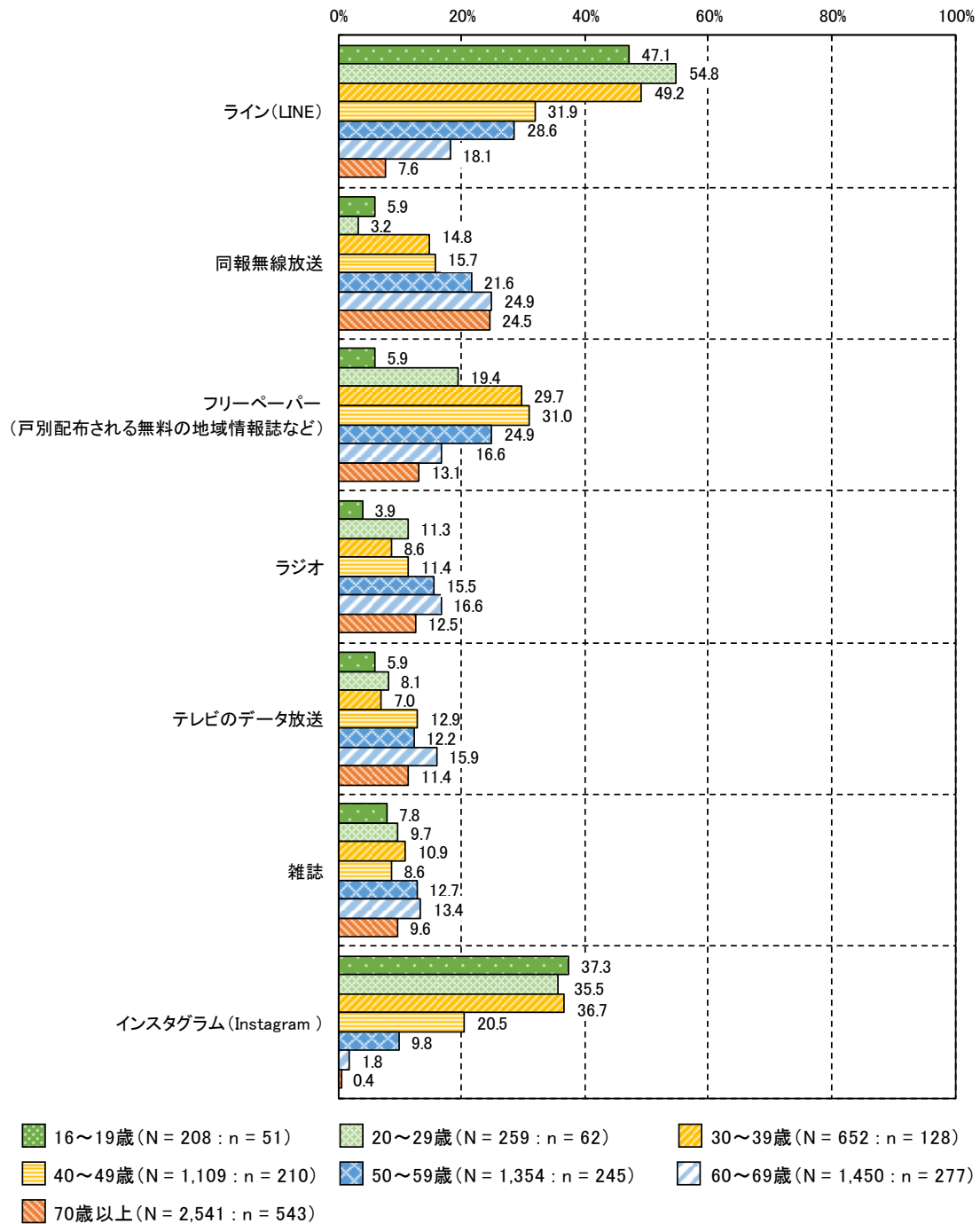
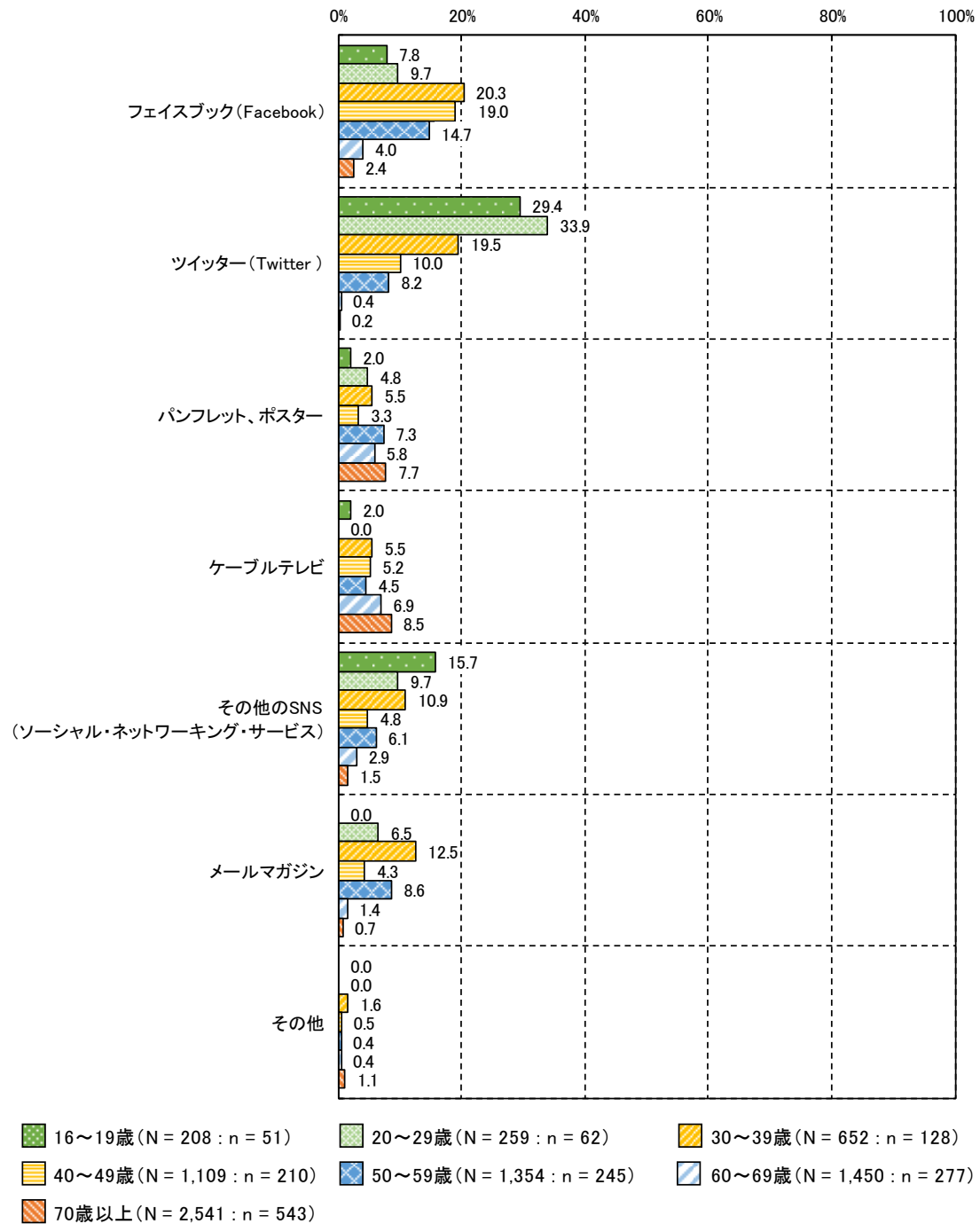
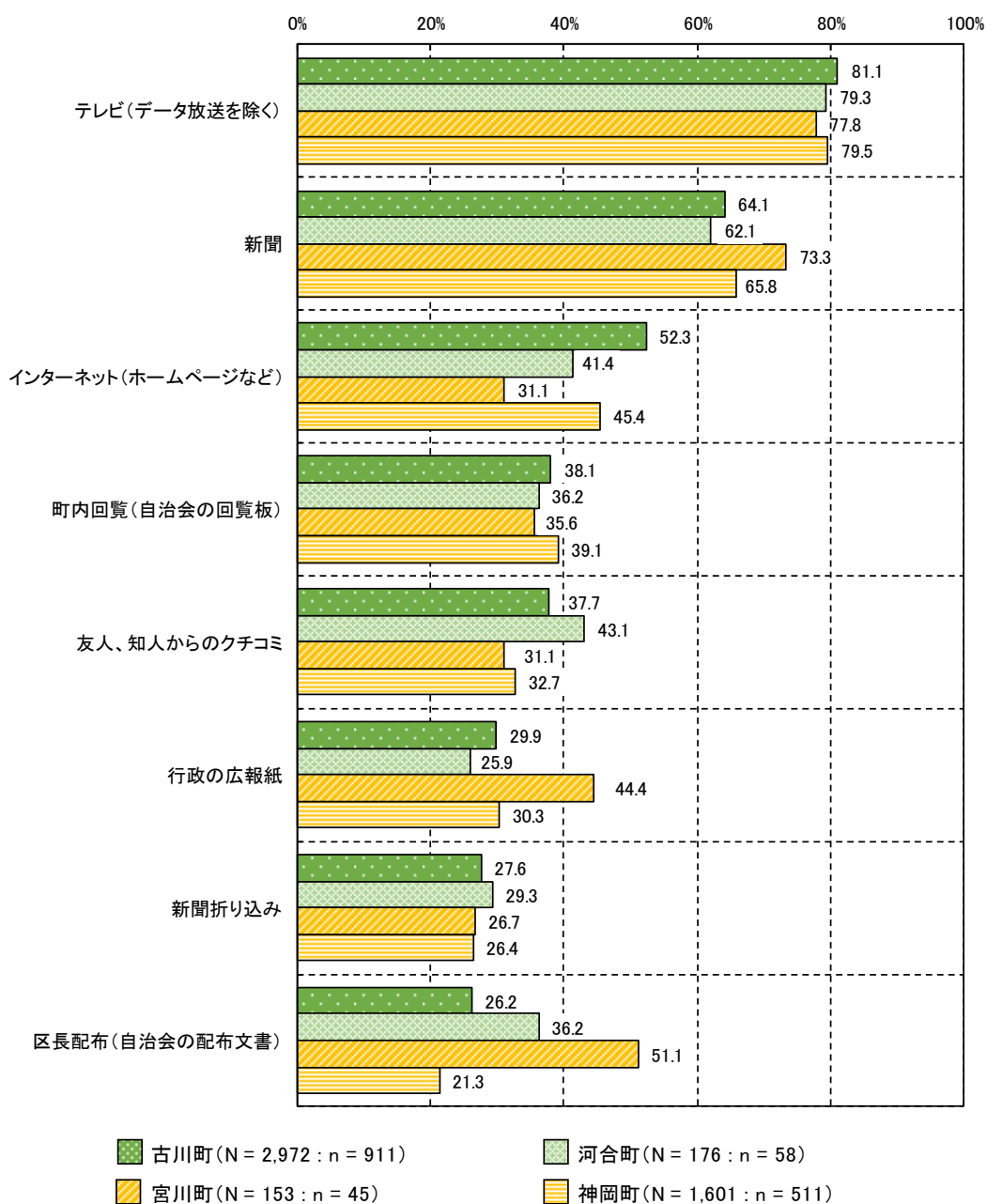


図 5-2 【年代別】 生活に必要な情報の入手媒体（続き）



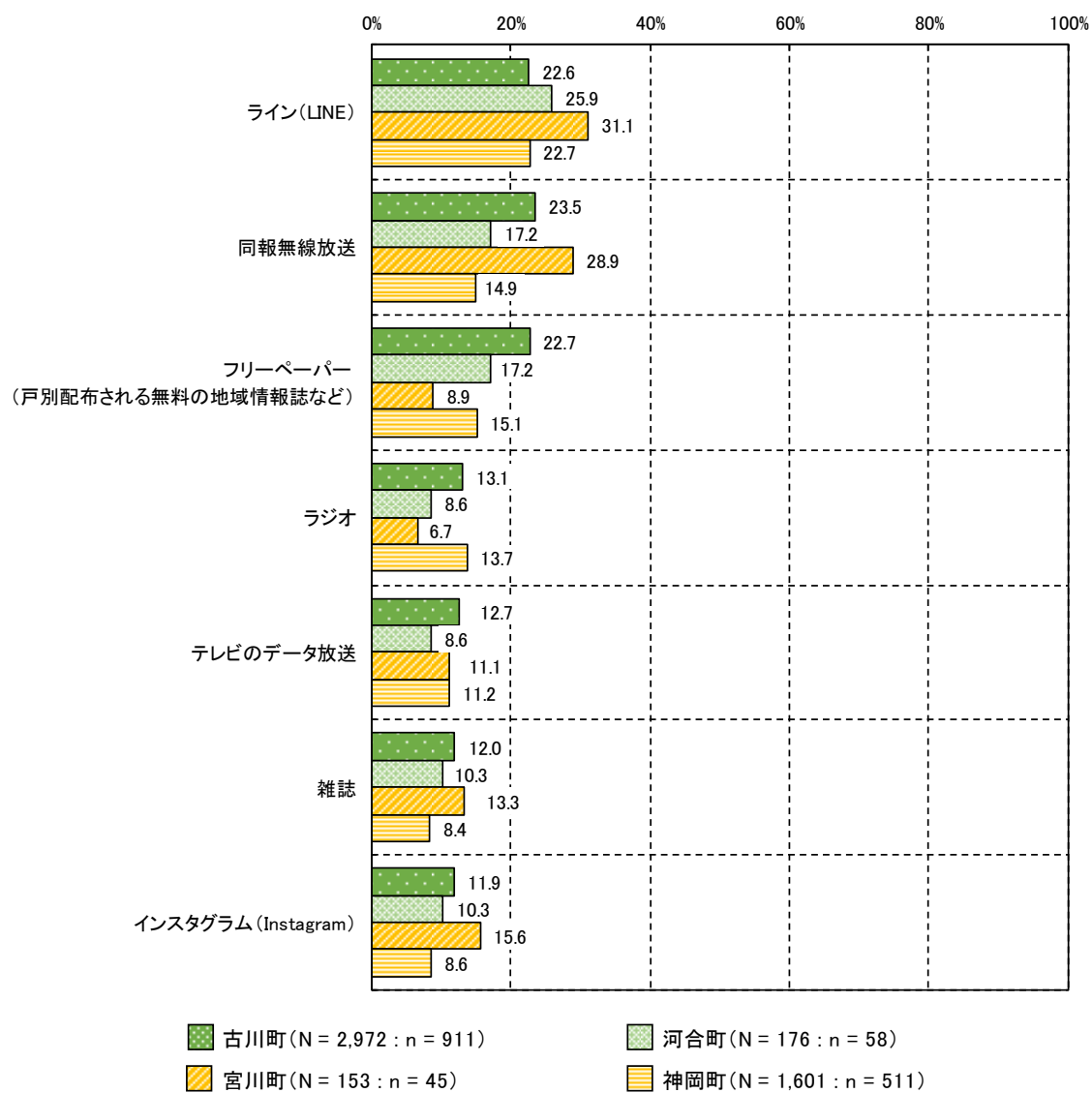
居住地別（図 5-3）でみると、いずれの居住地においても「テレビ（データ放送を除く）」が最も高く、そのうち古川町が 81.1%と最も高くなっている。「新聞」、「行政の広報紙」、「区長配布（自治会の配布文書）」では、宮川町が他の居住地と比べて高くなっている。

図 5-3 【居住地別】生活に必要な情報の入手媒体



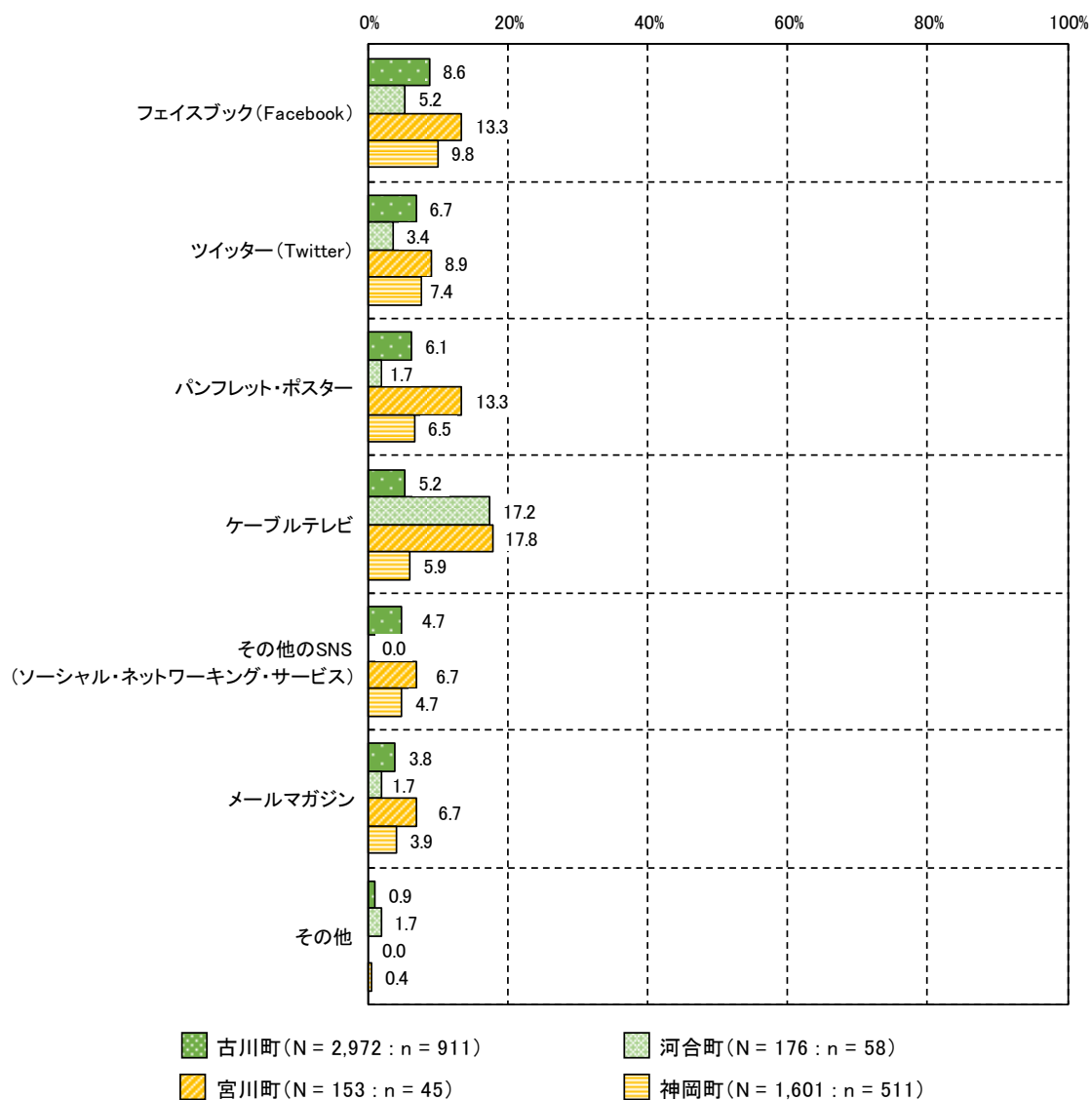
※ N＝総回答数 n＝回答者数

図 5-3 【居住地別】生活に必要な情報の入手媒体（続き）



※ N=総回答数 n=回答者数

図 5-3 【居住地別】生活に必要な情報の入手媒体（続き）



※ N=総回答数 n=回答者数

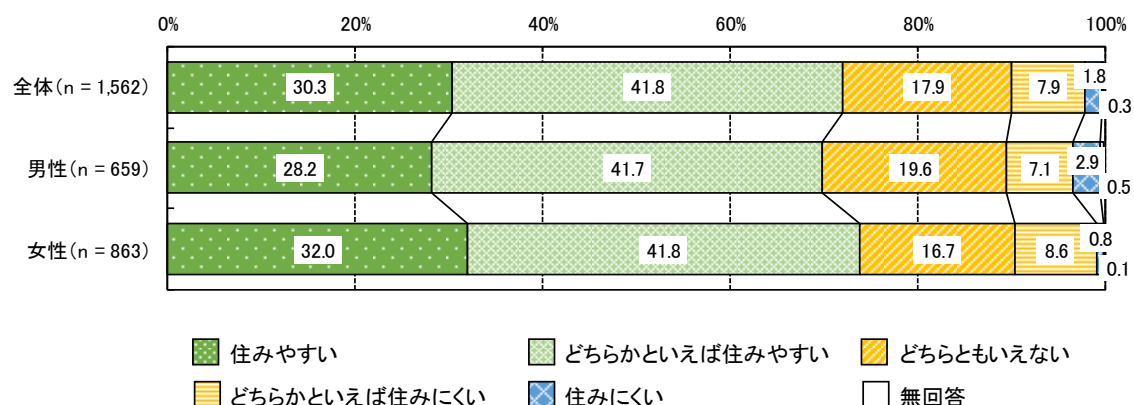
問6 現在住んでいる地域は住みやすいか

問6 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。（1つだけ）

全体（図6-1）でみると、「どちらかといえば住みやすい」が41.8%と最も高くなっている。次いで「住みやすい」（30.3%）、「どちらともいえない」（17.9%）の順となっている。

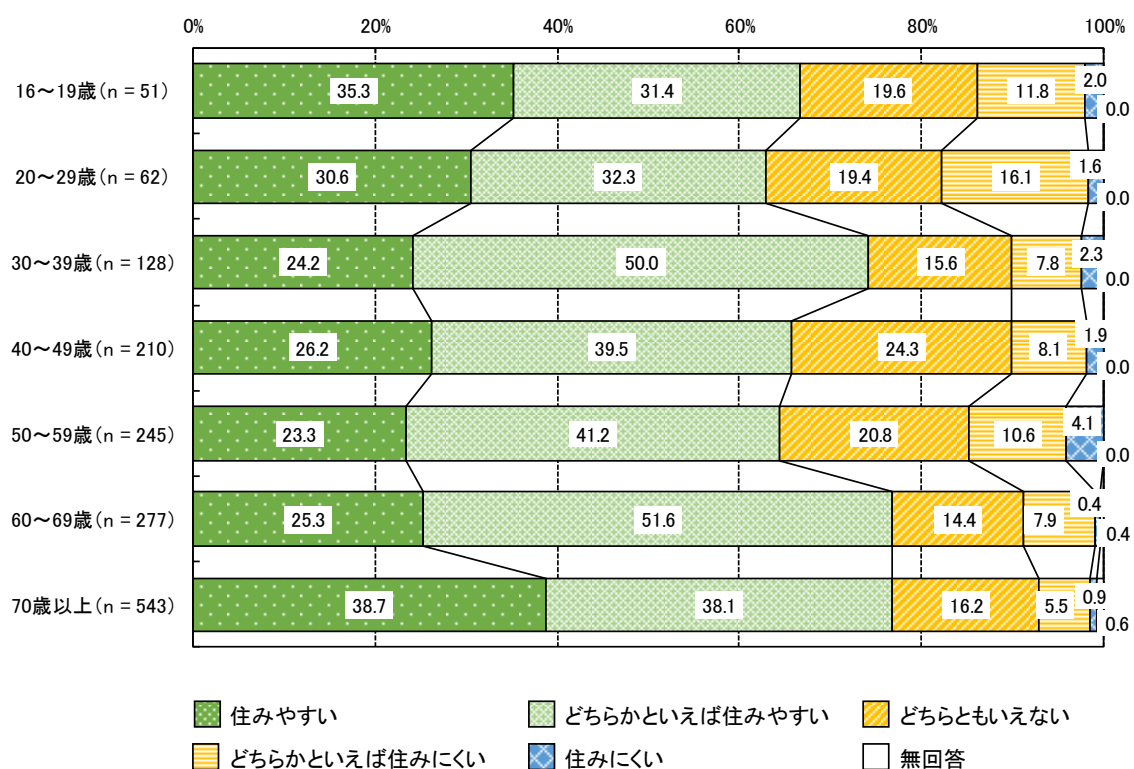
性別（図6-1）でみると、男女ともに「どちらかといえば住みやすい」が最も高く、男性が41.7%、女性が41.8%となっている。

図6-1 【全体・性別】 現在住んでいる地域は住みやすいか



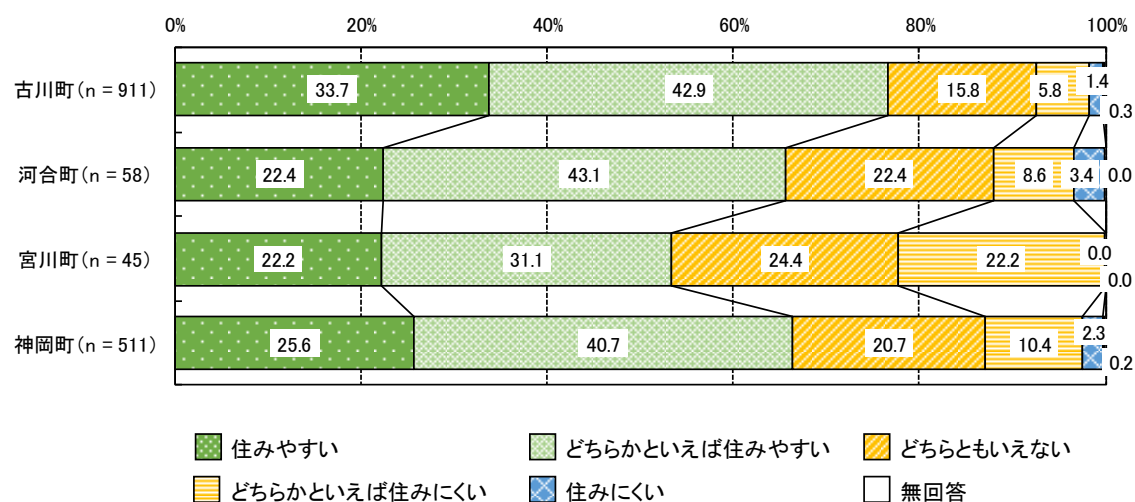
年代別（図6-2）でみると、16～19歳、70歳以上では「住みやすい」が、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「どちらかといえば住みやすい」が最も高くなっている。

図6-2 【年代別】 現在住んでいる地域は住みやすいか



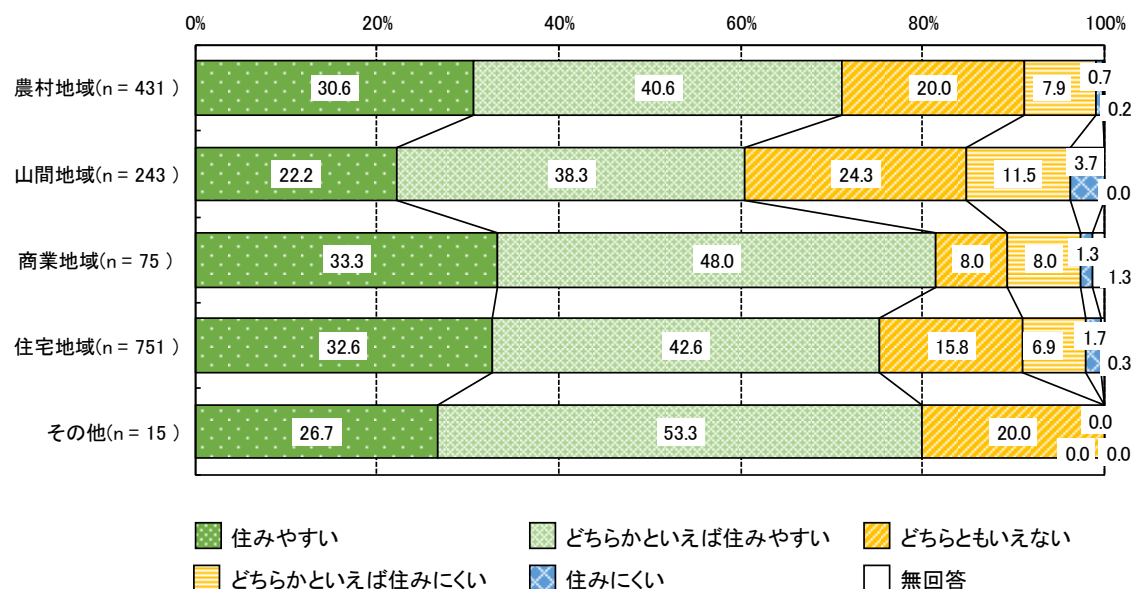
居住地別（図 6-3）で見ると、いずれの居住地においても「どちらかといえば住みやすい」が最も高く、河合町で 43.1%と最も高くなっている。「住みやすい」では古川町が 33.7%、「どちらかといえば住みにくい」では宮川町が 22.2%と他の居住地に比べて高くなっている。。

図 6-3 【居住地別】 現在住んでいる地域は住みやすいか



居住環境別（図 6-4）で見ると、いずれの居住環境においても「どちらかといえば住みやすい」が最も高く、その他以外では商業地域が 48.0%と最も高くなっている。商業地域では「住みやすい」においても 33.3%と他の居住環境に比べて高くなっている。

図 6-4 【居住環境別】 現在住んでいる地域は住みやすいか



問6-2 住んでいる地域が住みやすいと感じる点

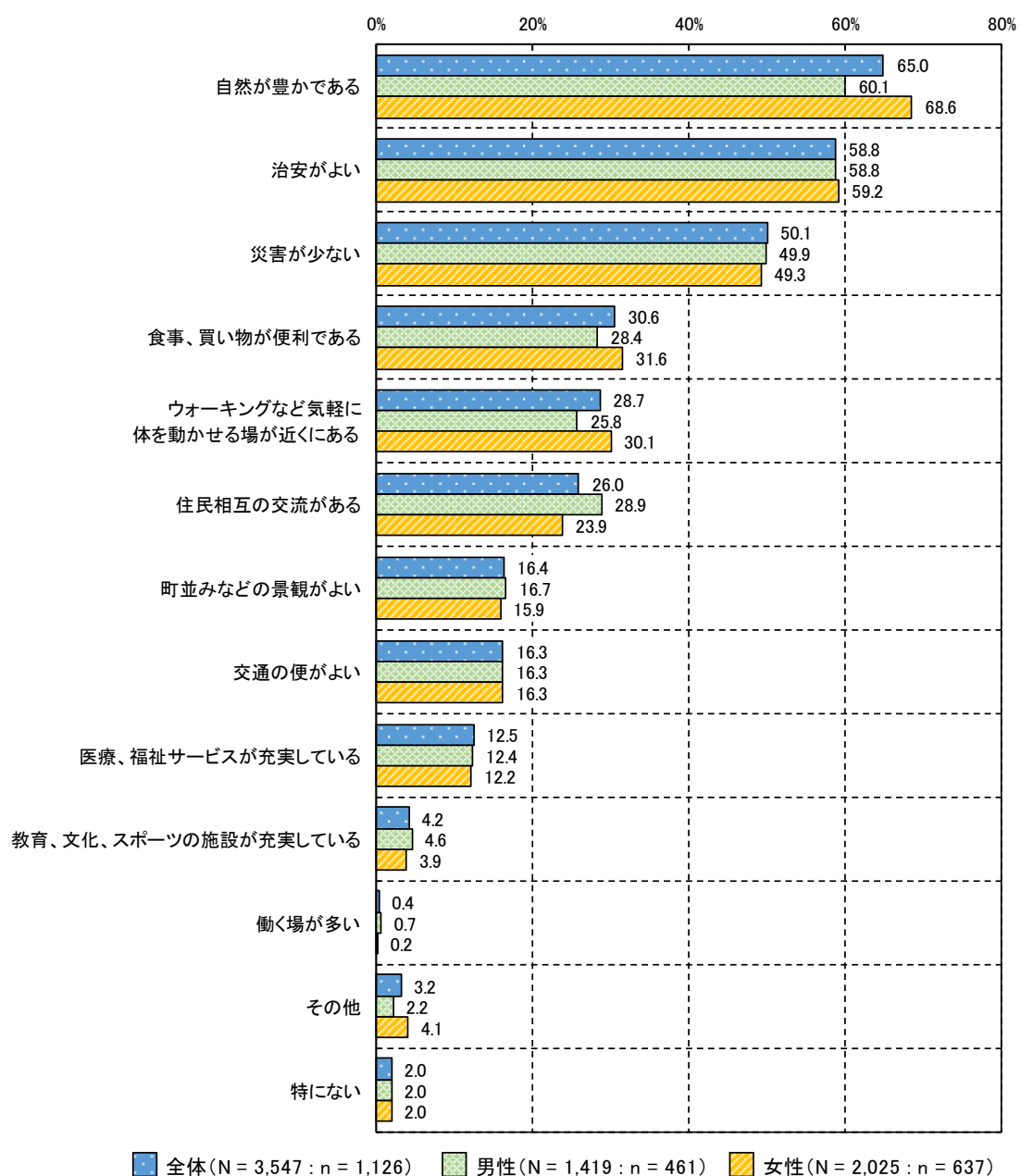
問6-2 「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、現在お住まいの地域が住みやすいと感じるのは、特にどのような点ですか。(いくつでも)

全体(図6-2-1)でみると、「自然が豊かである」が65.0%と最も高く、次いで「治安がよい」(58.8%)、「災害が少ない」(50.1%)、「食事、買い物が便利である」(30.6%)、「ウォーキングなど気軽に体を動かせる場が近くにある」(28.7%)の順となっている。

性別(図6-2-1)でみると、男女ともに「自然が豊かである」が最も高く、男性が60.1%、女性が68.6%となっている。

図6-2-1 【全体・性別】住んでいる地域が住みやすいと感じる点

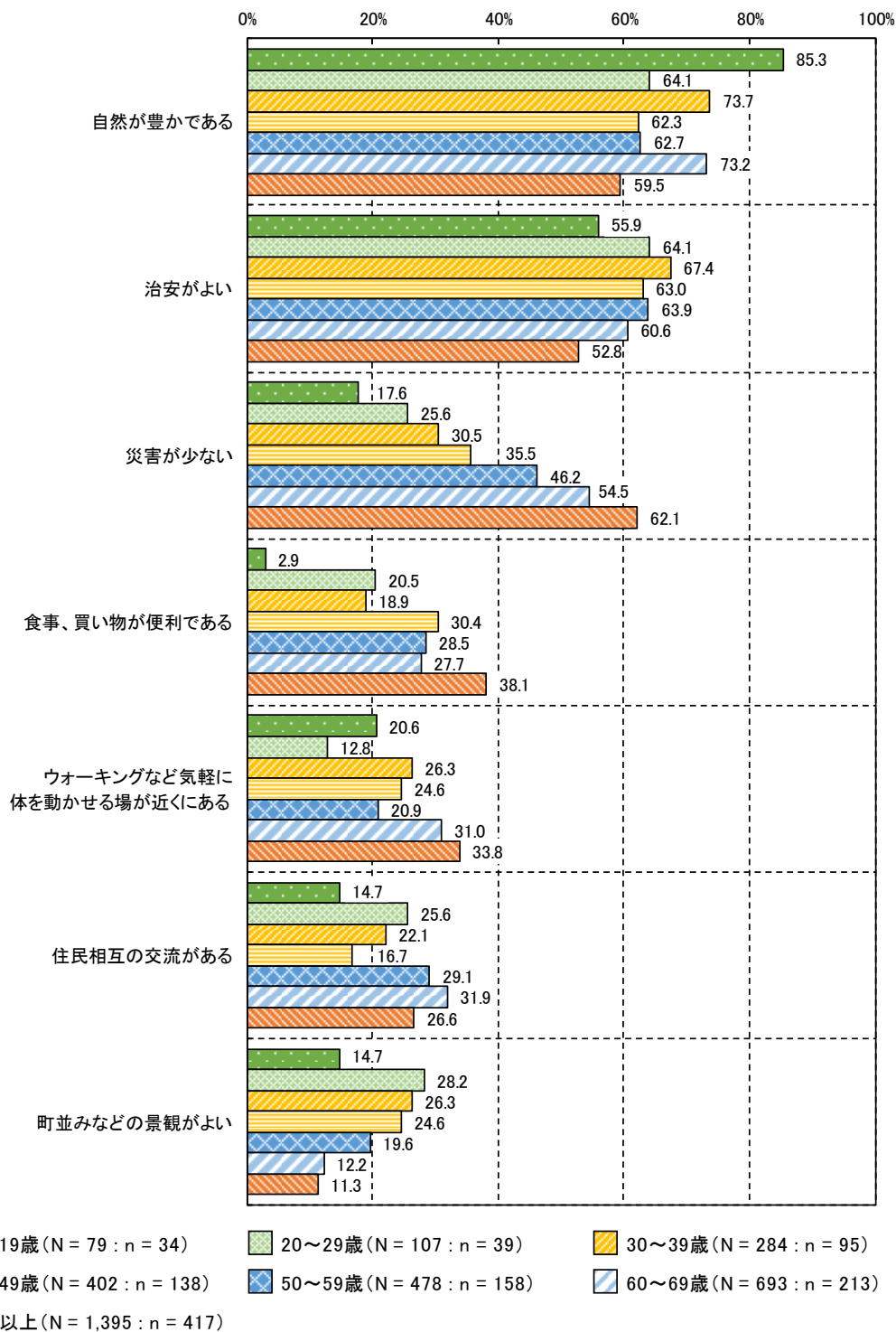


※ 問6で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみ

※ N=総回答数 n=回答者数

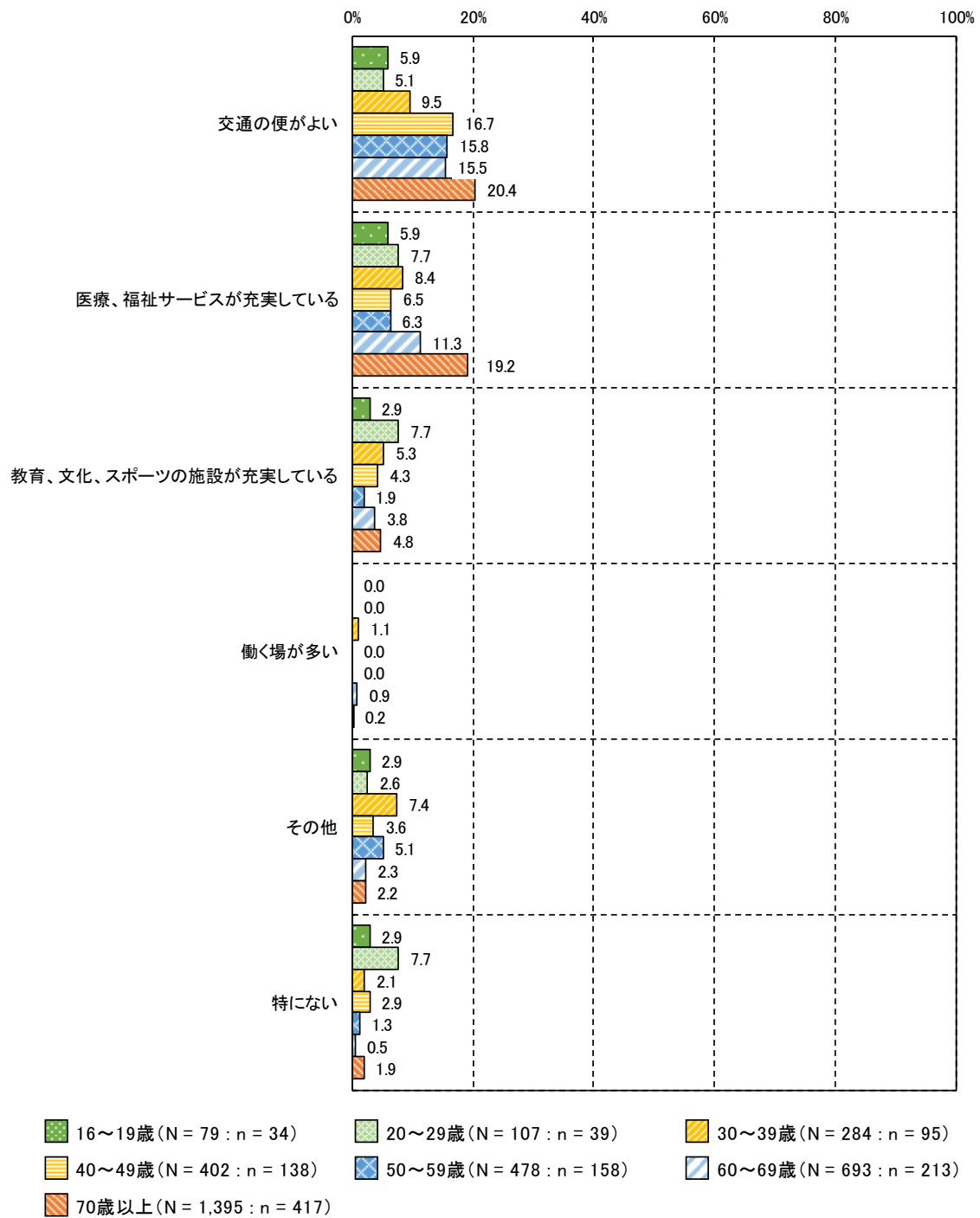
年代別（図 6-2-2）でみると、16～19 歳、30 歳代、60 歳代で「自然が豊かである」が最も高く、そのうち 16～19 歳が 85.3%と最も高くなっている。40 歳代、50 歳代では「治安がよい」が、70 歳以上では「災害が少ない」が最も高くなっている。また、20 歳代では「自然が豊かである」、「治安がよい」がともに 64.1%と最も高くなっている。

図 6-2-2 【年代別】住んでいる地域が住みやすいと感じる点



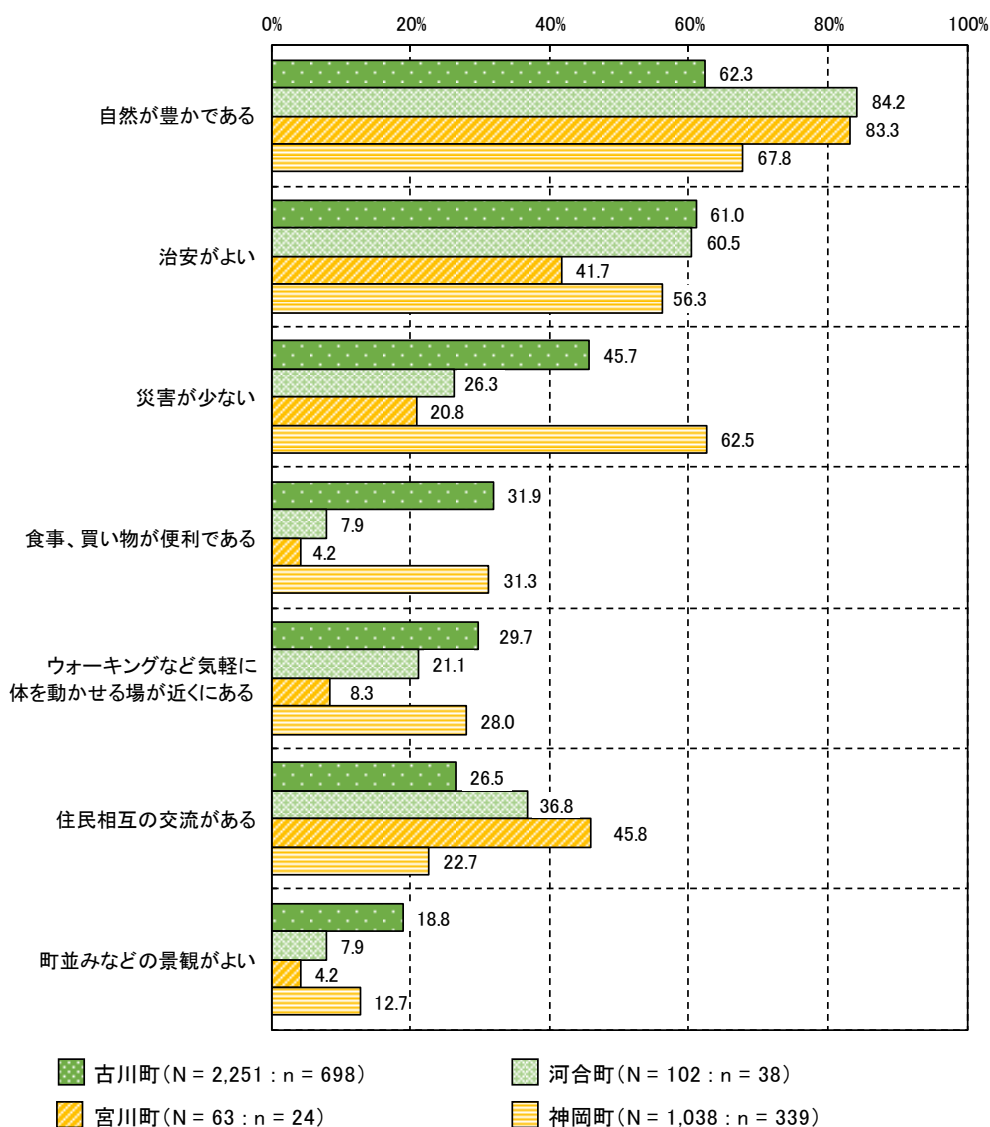
※ N=総回答数 n=回答者数

図 6-2-2 【年代別】 住んでいる地域が住みやすいと感じる点（続き）



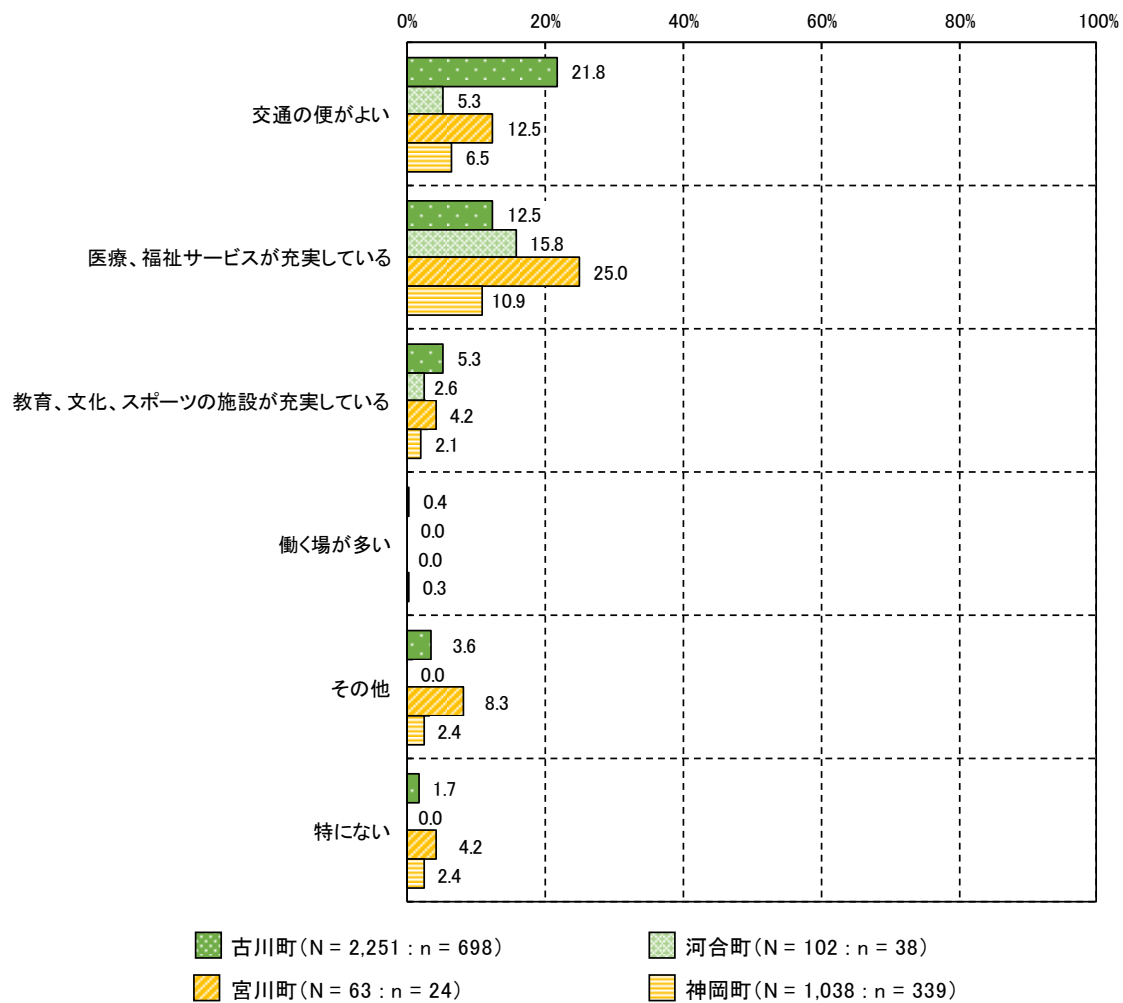
居住地別（図 6-2-3）でみると、いずれの居住地においても「自然が豊かである」が最も高く、そのうち河合町が 84.2%と最も高くなっている。「災害が少ない」では神岡町が 62.5%、「住民相互の交流がある」では宮川町が 45.8%と他の居住地に比べて高くなっている。

図 6-2-3 【居住地別】 住んでいる地域が住みやすいと感じる点



※ N＝総回答数 n＝回答者数

図 6-2-3 【居住地別】 住んでいる地域が住みやすいと感じる点（続き）



※ N＝総回答数 n＝回答者数

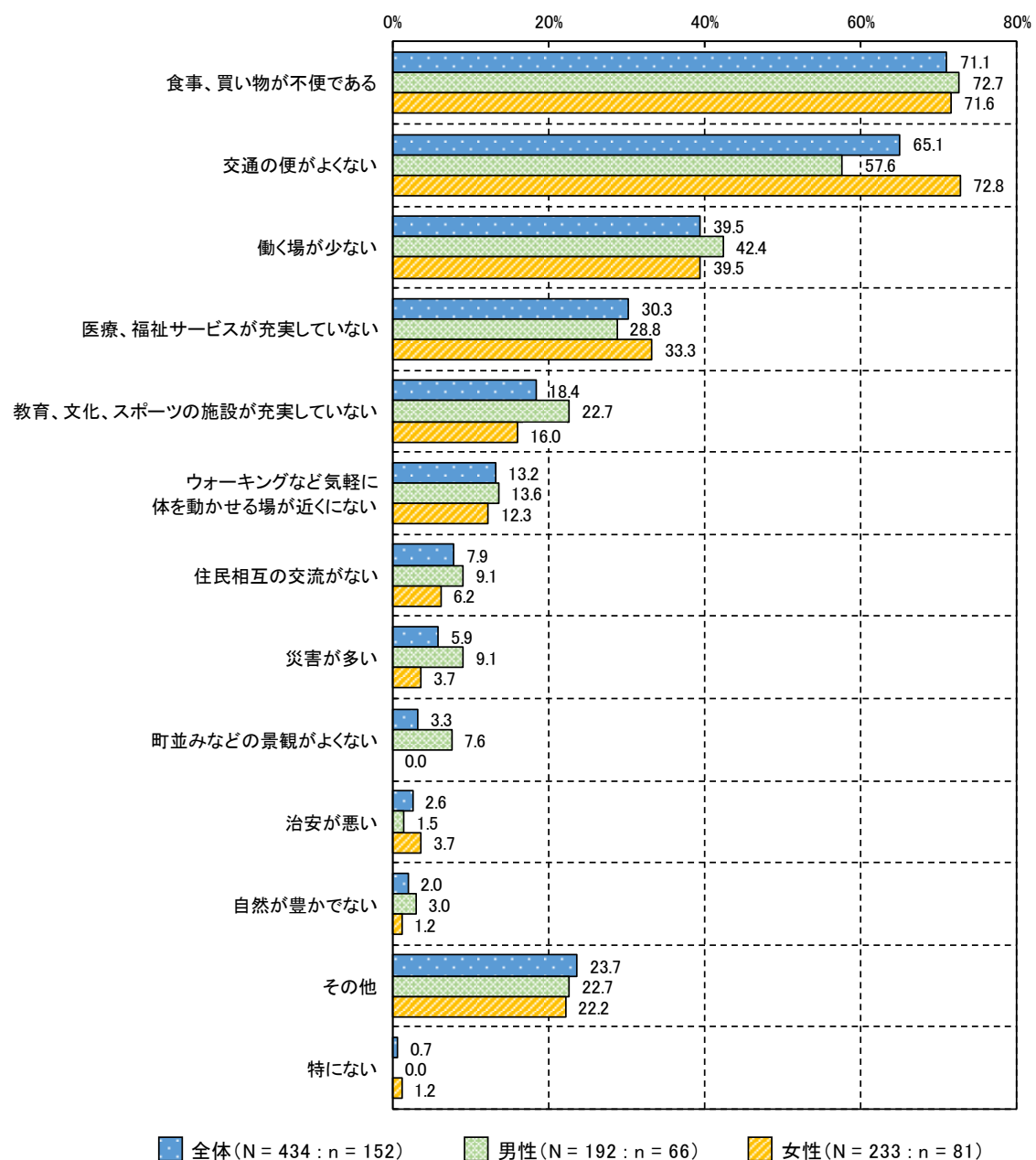
問6-3 住んでいる地域が住みにくいと感じる点

問6-3 「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方にお尋ねします。
 あなたが、現在お住まいの地域が住みにくいと感じるのは、特にどのような点ですか。（いくつでも）

全体（図6-3-1）でみると、「食事、買い物が不便である」が71.1%と最も高く、次いで「交通の便がよくない」（65.1%）、「働く場が少ない」（39.5%）の順となっている。

性別（図6-3-1）でみると、男性は「食事、買い物が不便である」が72.7%と最も高く、女性は「交通の便がよくない」が72.8%と最も高くなっている。

図6-3-1 【全体・性別】 住んでいる地域が住みにくいと感じる点

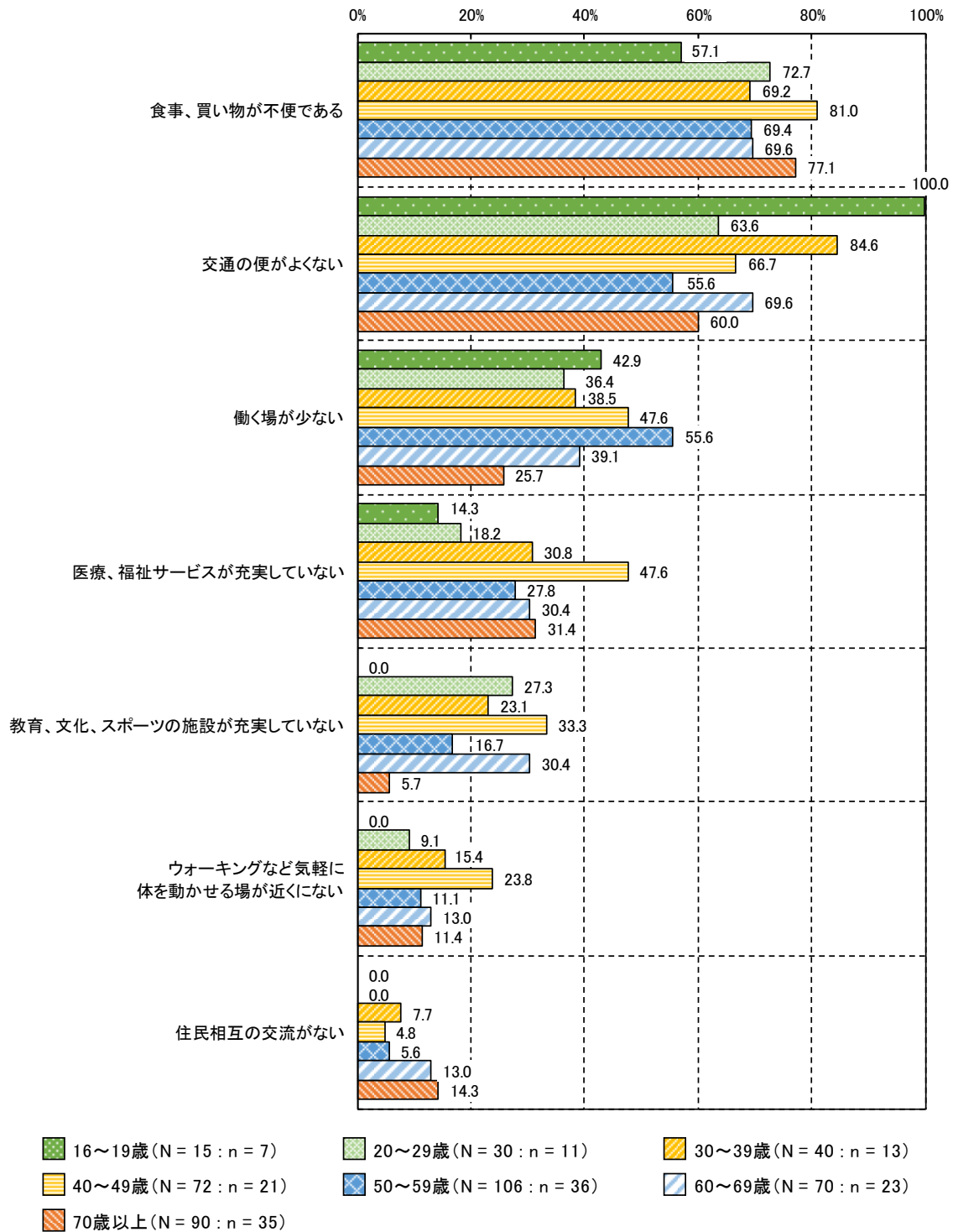


※ 問6で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方のみ

※ N=総回答数 n=回答者数

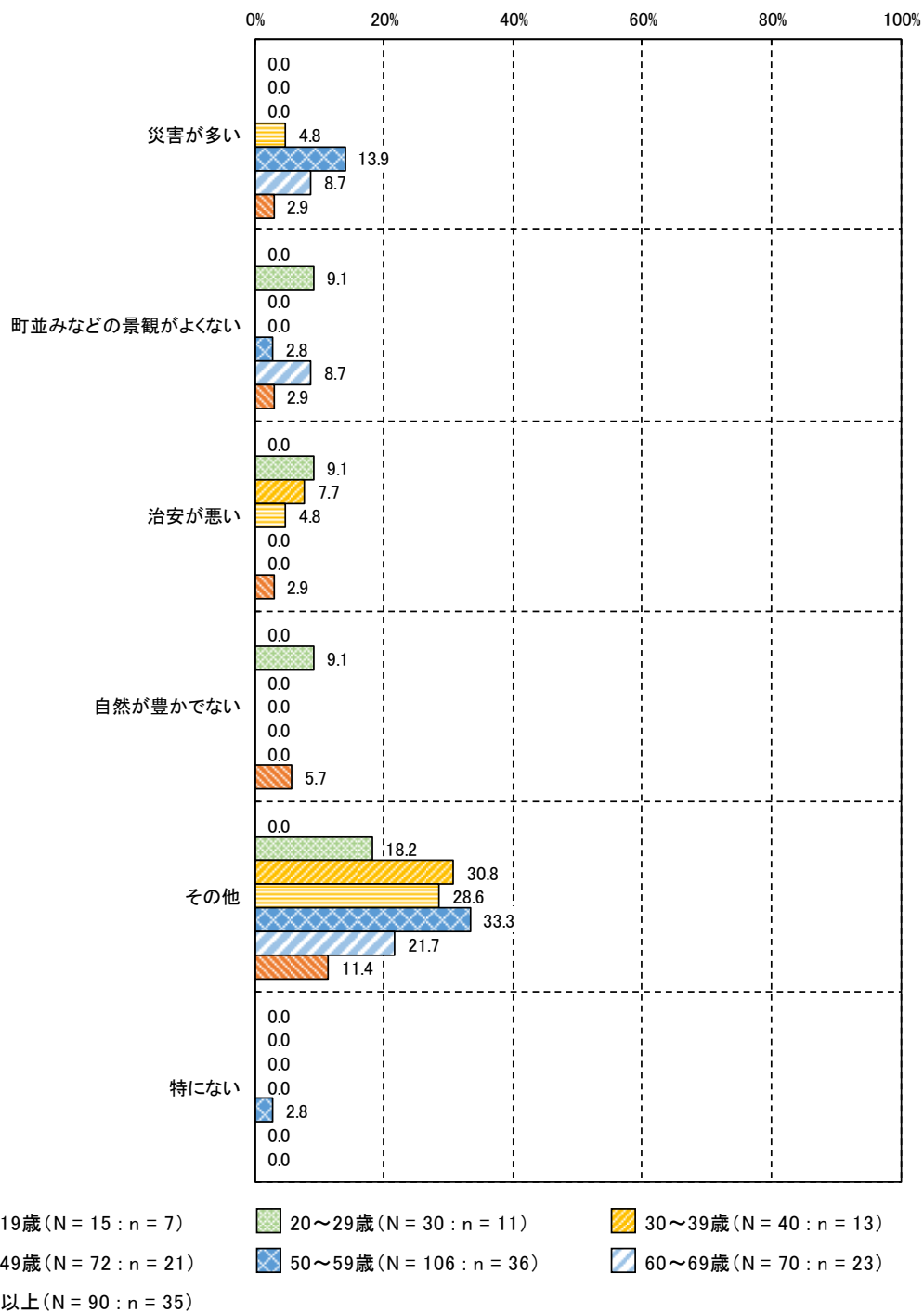
年代別（図 6-3-2）でみると、「食事、買い物が不便である」では 40 歳代が 80.1%、「働く場が少ない」では 50 歳代が 55.6%と他の年代と比べて高くなっている。

図 6-3-2 【年代別】住んでいる地域が住みにくいと感じる点



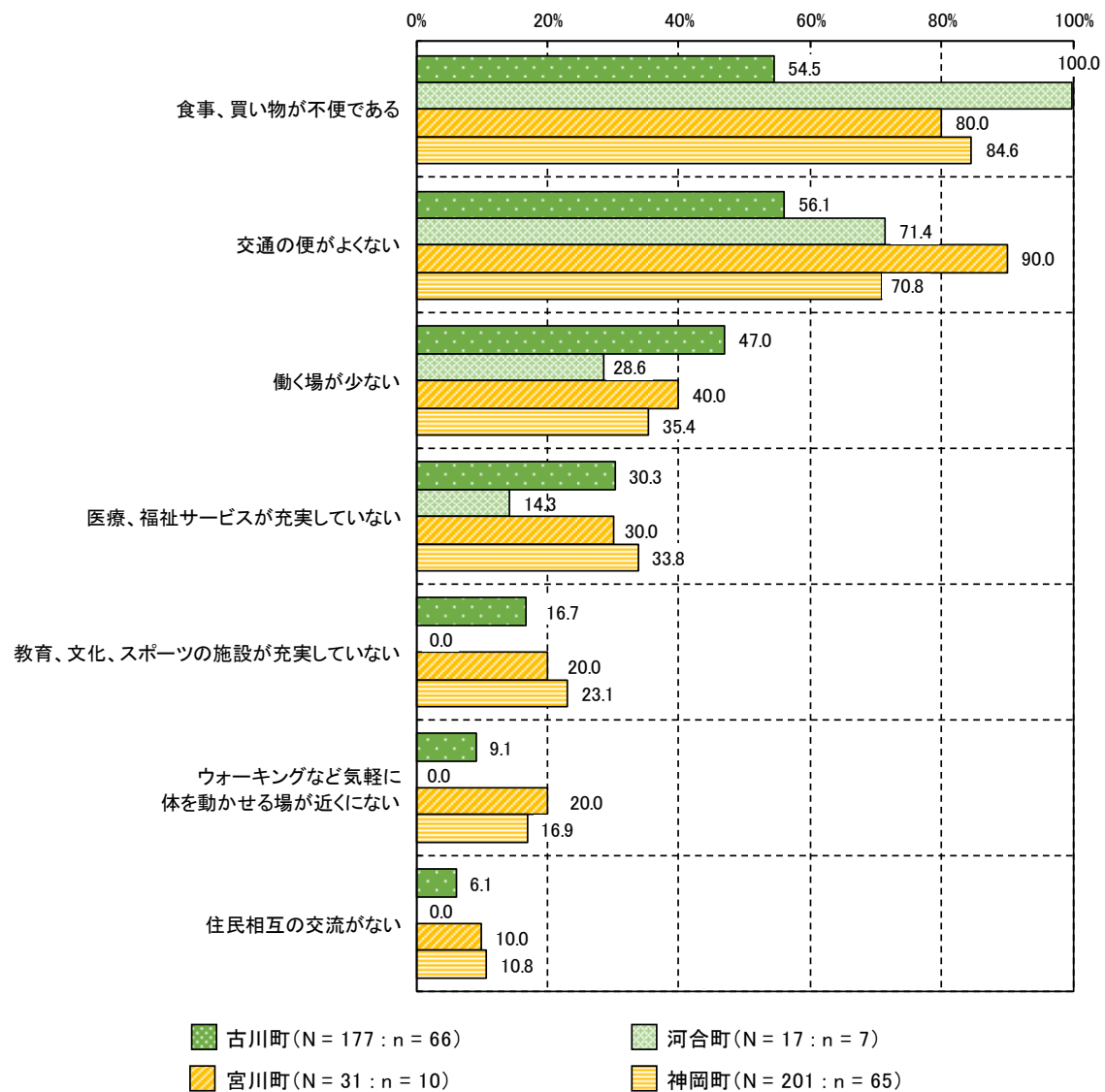
※ N=総回答数 n=回答者数

図 6-3-2 【年代別】 住んでいる地域が住みにくいと感じる点（続き）



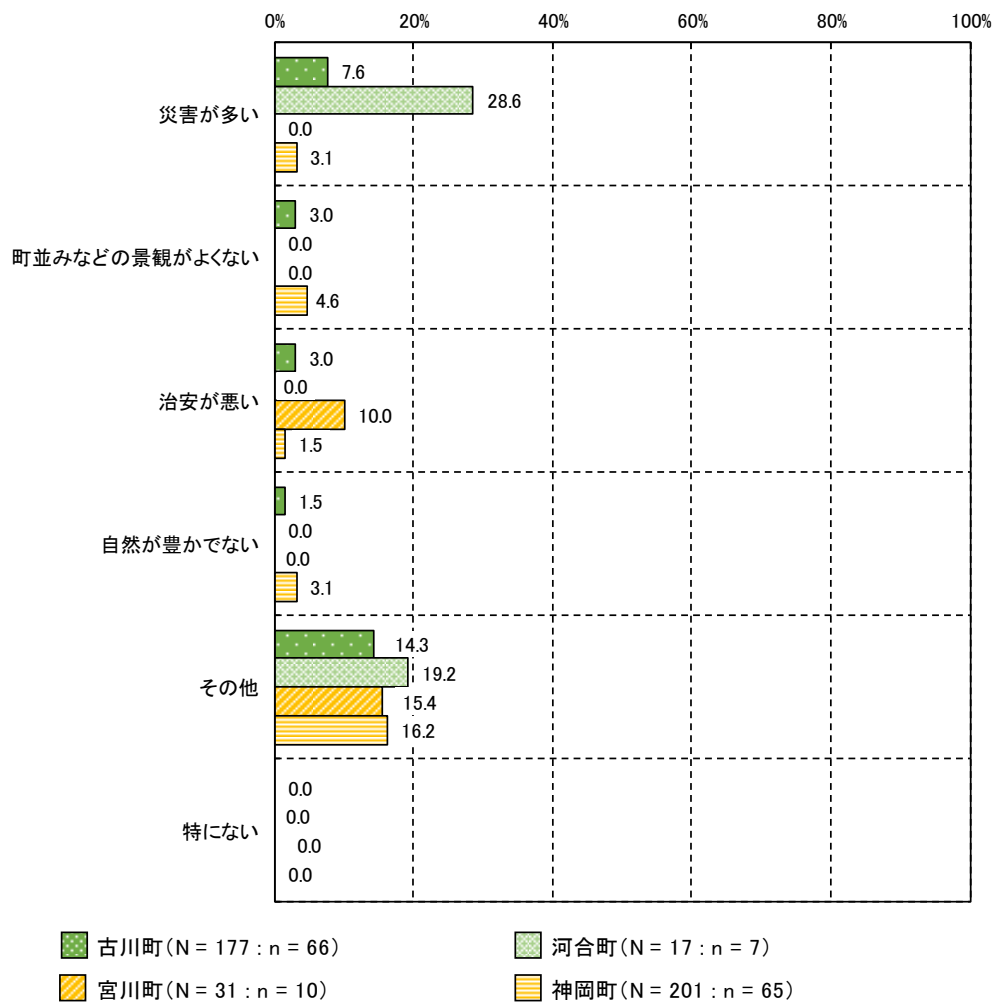
居住地別（図 6-3-3）で見ると、古川町では「交通の便がよいくない」が 56.1%と最も高く、神岡町では「食事、買い物が不便である」が 84.6%と最も高くなっている。

図 6-3-3 【居住地別】住んでいる地域が住みにくと感じる点



※ N=総回答数 n=回答者数

図 6-3-3 【居住地別】 住んでいる地域が住みにくいと感じる点（続き）



※ N＝総回答数 n＝回答者数

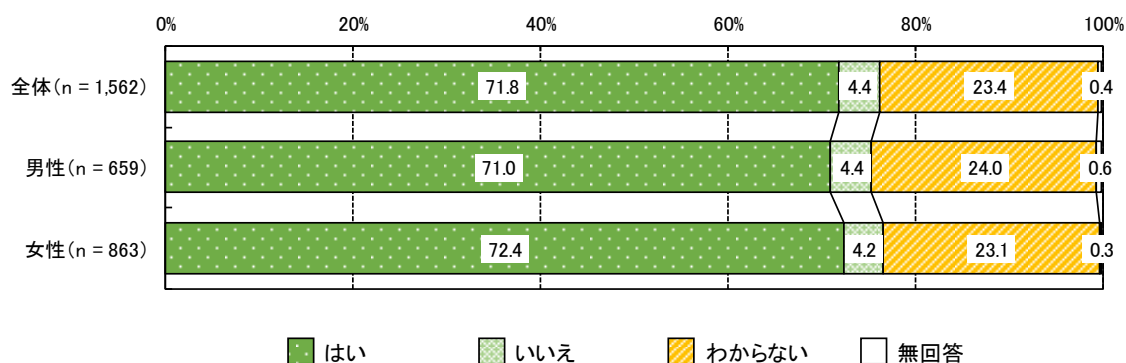
問7 今後も飛騨市に住みたいか

問7 あなたは、今後も飛騨市に住みたいと思いますか。（1つだけ）

全体（図7-1）でみると、「はい」が71.8%と最も高くなっている。

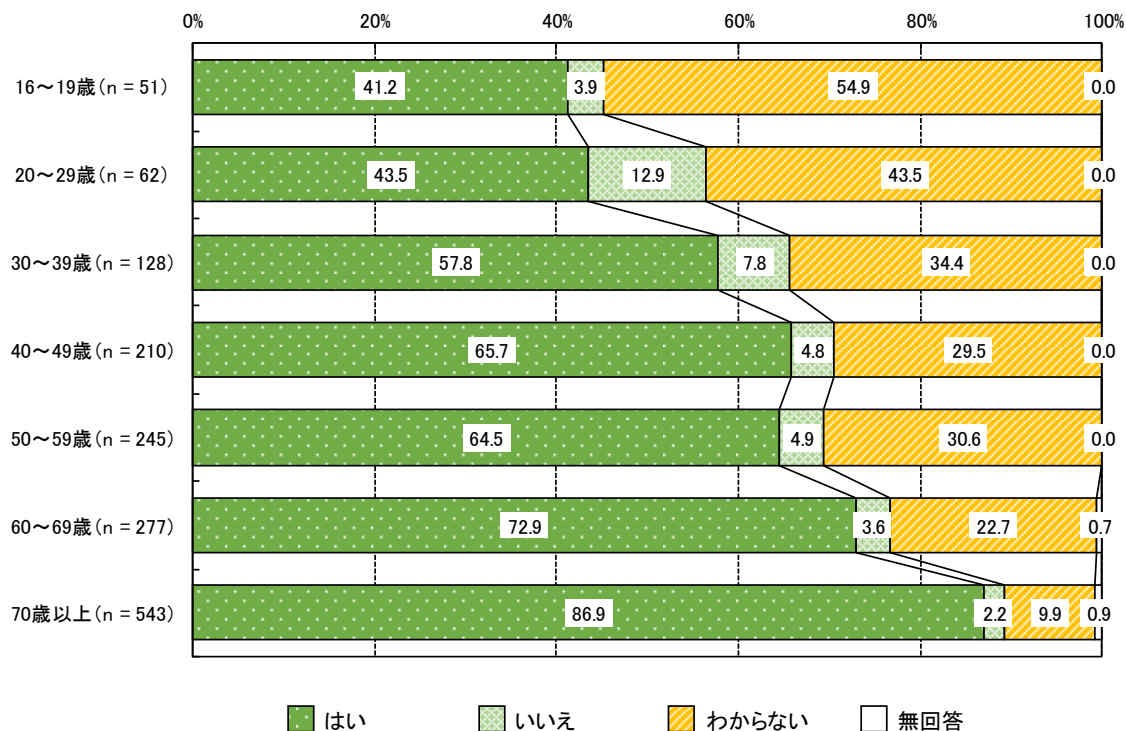
性別（図7-1）でみると、男女ともに「はい」が最も高く、それぞれ71.0%、72.4%となっている。

図7-1 【全体・性別】 今後も飛騨市に住みたいか



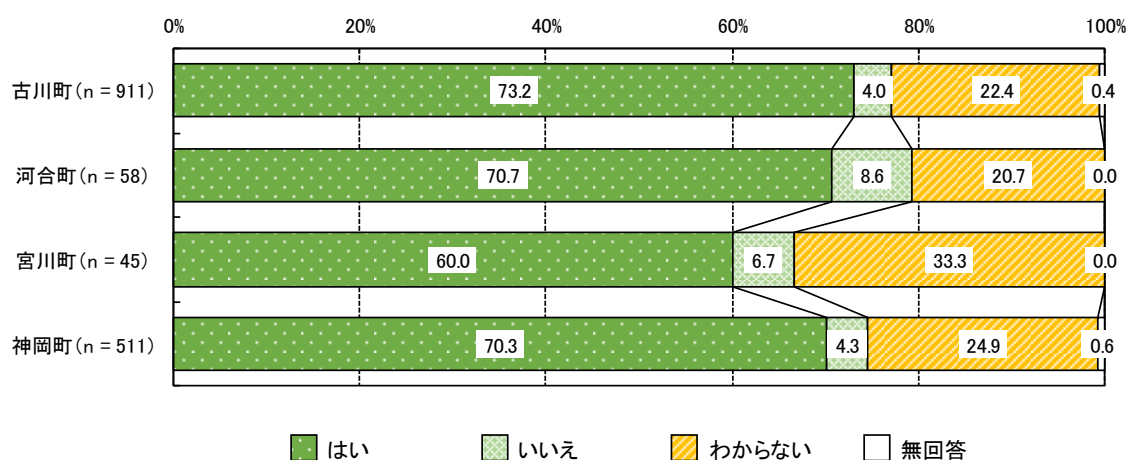
年代別（図7-2）でみると、16～19歳を除くいずれの年代も「はい」が最も高く、年代が高くなる程割合が高くなる傾向がある。20歳代では「わからない」が43.5%と同率になっており、16～19歳では「わからない」が54.9%と最も高くなっている。

図7-2 【年代別】 今後も飛騨市に住みたいか



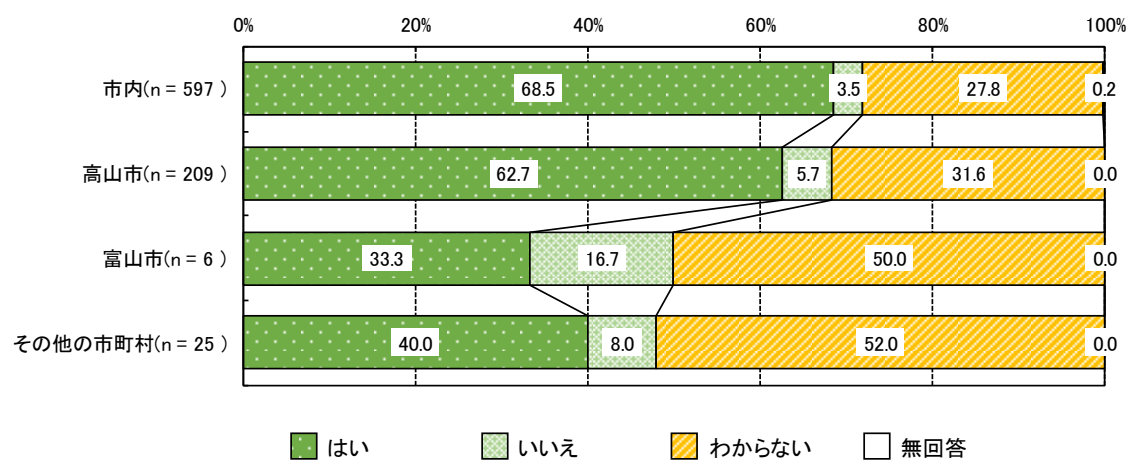
居住地別（図 7-3）でみると、いずれの居住地においても「はい」が最も高く、そのうち古川町が 73.2%と最も高くなっている。

図 7-3 【居住地別】 今後も飛騨市に住みたいか



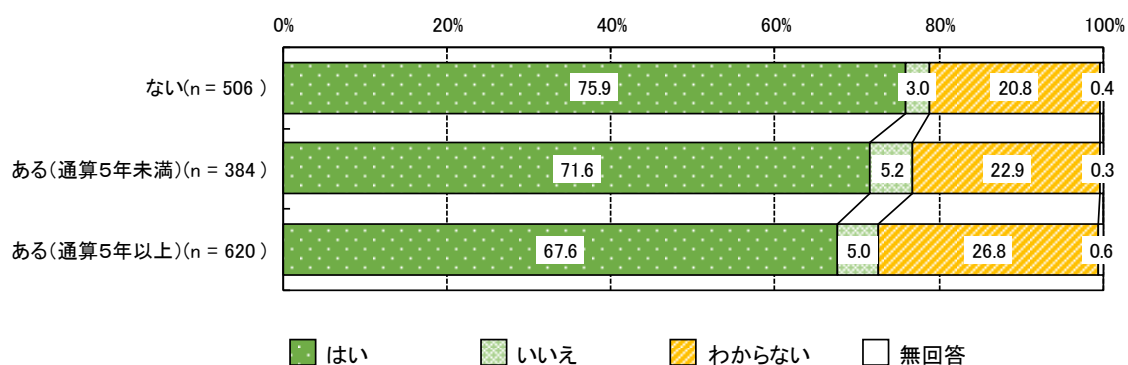
通勤、通学先別（図 7-4）でみると、市内、高山市で「はい」の割合が最も高く、それぞれ 68.5%、62.7%となっている。

図 7-4 【通勤、通学先別】 今後も飛騨市に住みたいか



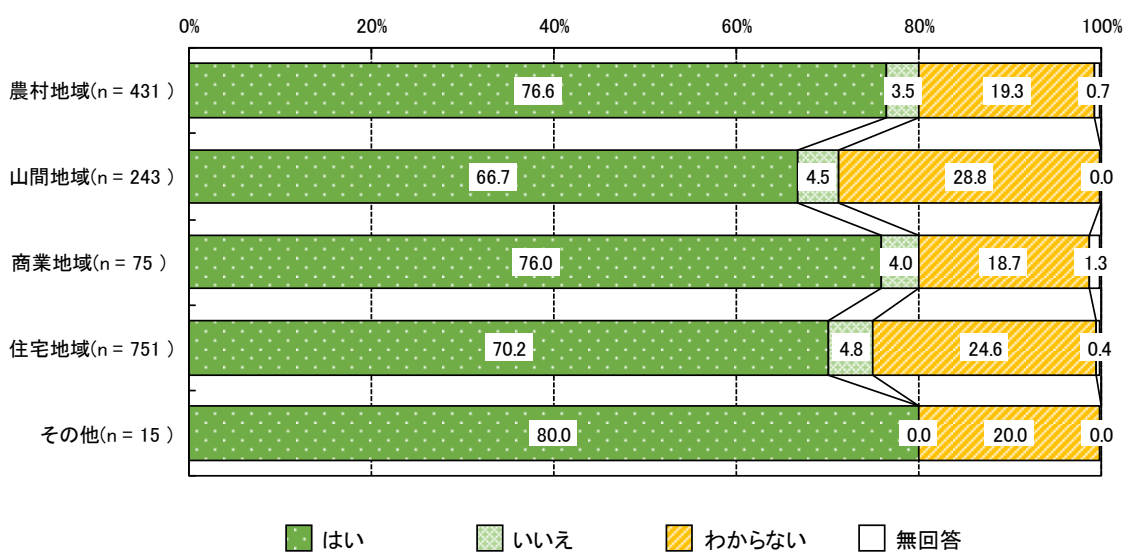
市外居住経験の有無別（図 7-5）でみると、市外居住経験がない人は「はい」が 75.9%と、ある人より高くなっている。

図 7-5 【市外居住経験の有無別】 今後も飛騨市に住みたいか



居住環境別（図 7-6）でみると、いずれの居住環境においても「はい」が最も高く、そのうち（その他を除く）農村地域が 76.6%と最も高くなっている。

図 7-6 【居住環境別】 今後も飛騨市に住みたいか



2. 2 市の取り組み全般について

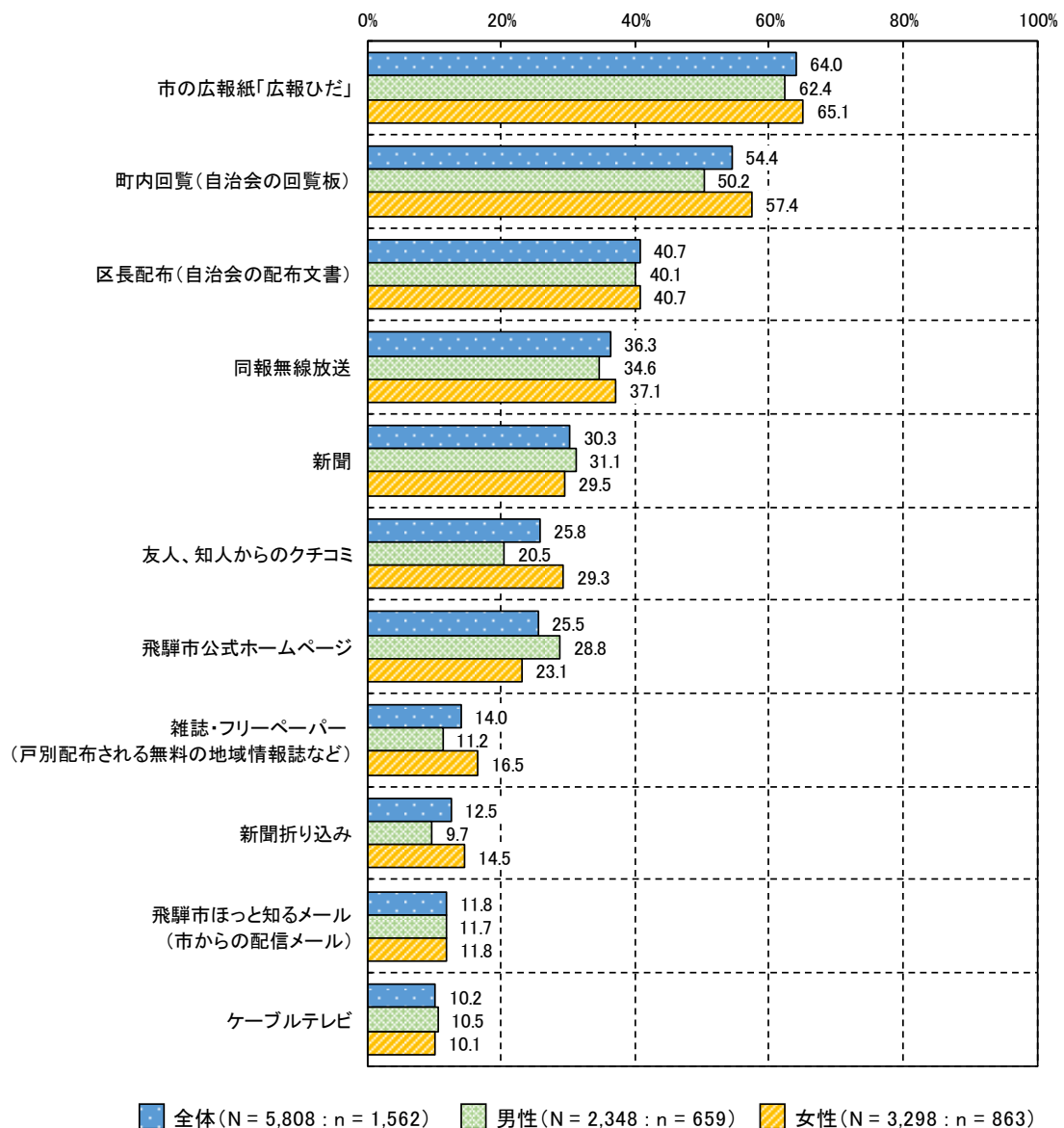
問8 施策や事業についての情報の入手方法

問8 あなたは、飛騨市（行政）の施策や事業を、何によって知ることが多いですか。
(いくつでも)

全体（図8-1）でみると、「市の広報紙「広報ひだ」」が64.0%と最も高く、次いで「町内回覧（自治会の回覧板）」（54.4%）、「区長配布（自治会の配布文書）」（40.7%）の順となっている。

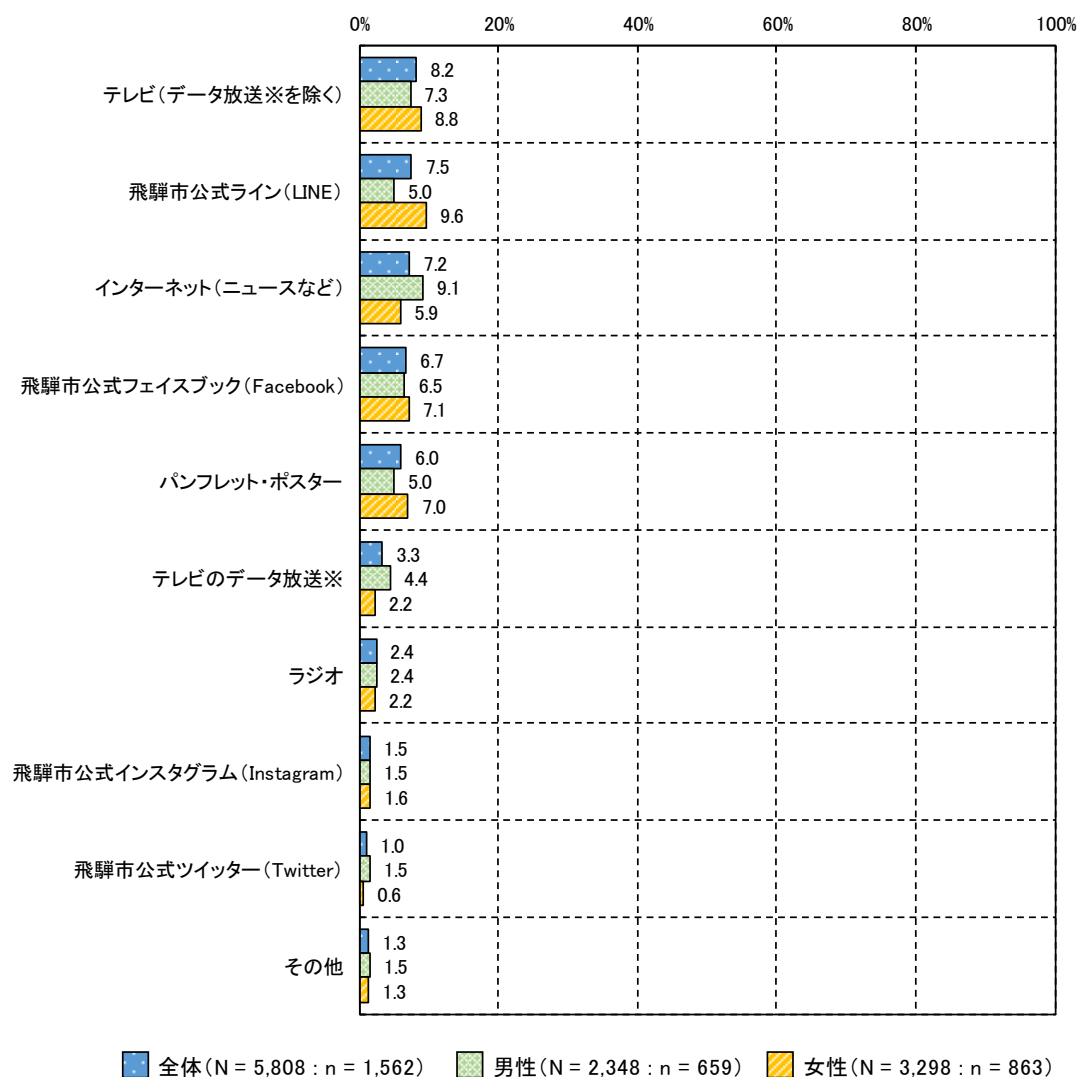
性別（図8-1）でみると、男女ともに「市の広報紙「広報ひだ」」が最も高く、男性が62.4%、女性が65.1%となっている。「友人・知人からのクチコミ」では女性が男性より8.8ポイント高くなっている。

図8-1 【全体・性別】 施策や事業についての情報の入手方法



※ N＝総回答数 n＝回答者数

図 8-1 【全体・性別】 施策や事業についての情報の入手方法（続き）

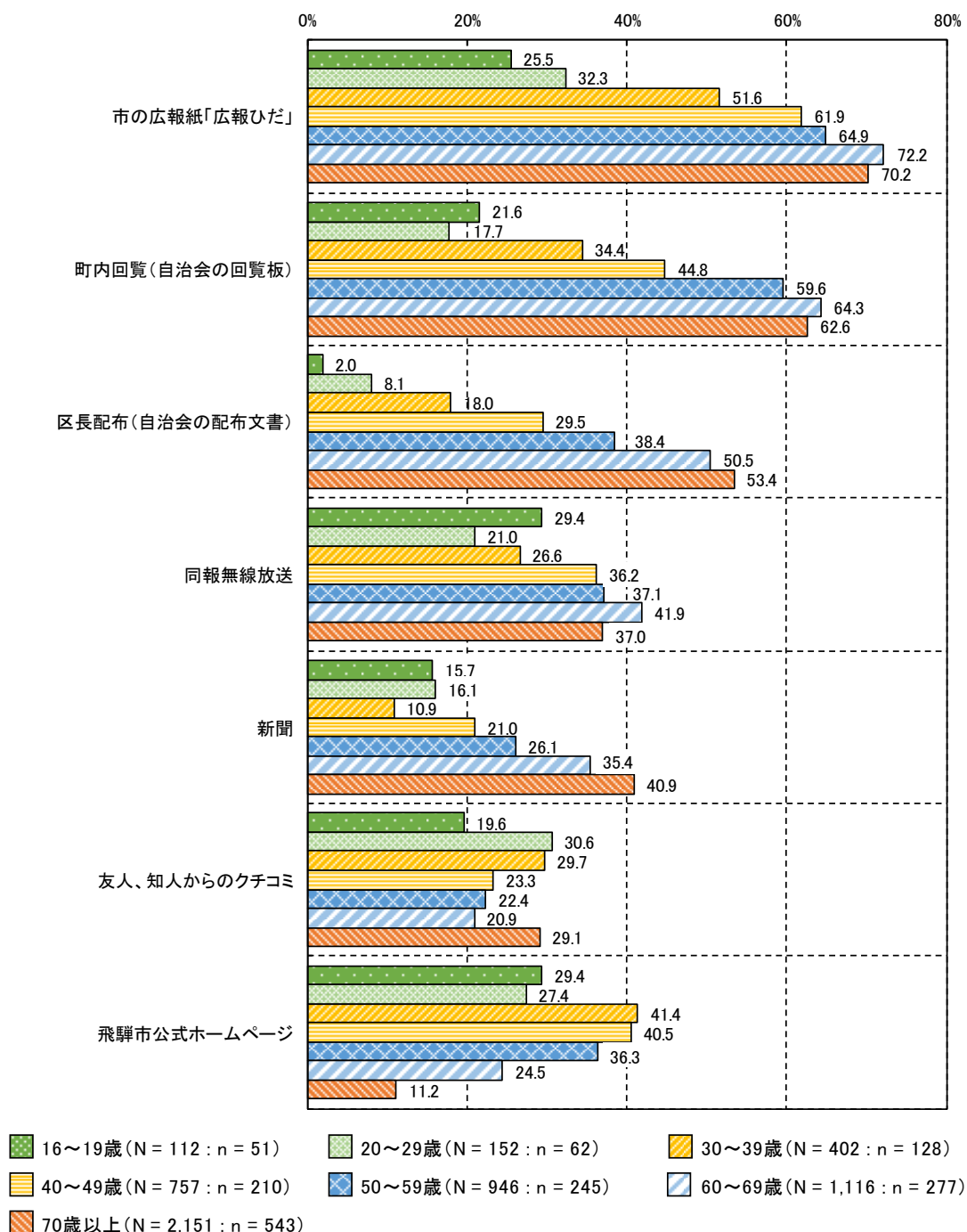


※ データ放送: リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

※ N=総回答数 n=回答者数

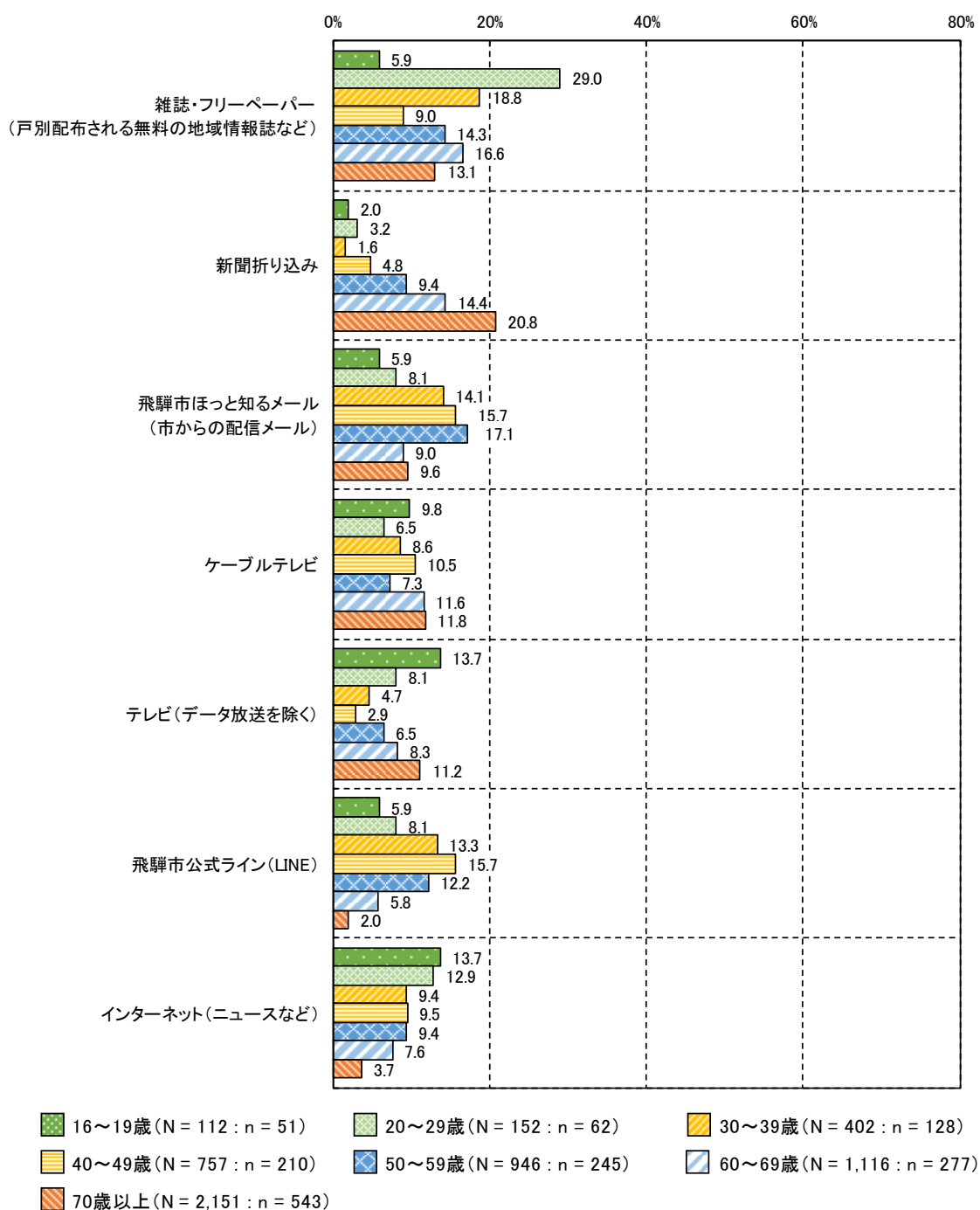
年代別（図 8-2）でみると、16～19 歳を除くいずれの年代においても「市の広報紙「広報ひだ」」が最も高く、そのうち 60 歳代が 72.2%と最も高くなっている。16～19 歳では「同報無線放送」、「飛騨市公式ホームページ」が 29.4%と最も高くなっている。「市の広報紙「広報ひだ」」、「町内回覧（自治会の回覧板）」、「区長配布（自治会の配布文書）」では年代が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。

図 8-2 【年代別】 施策や事業についての情報の入手方法



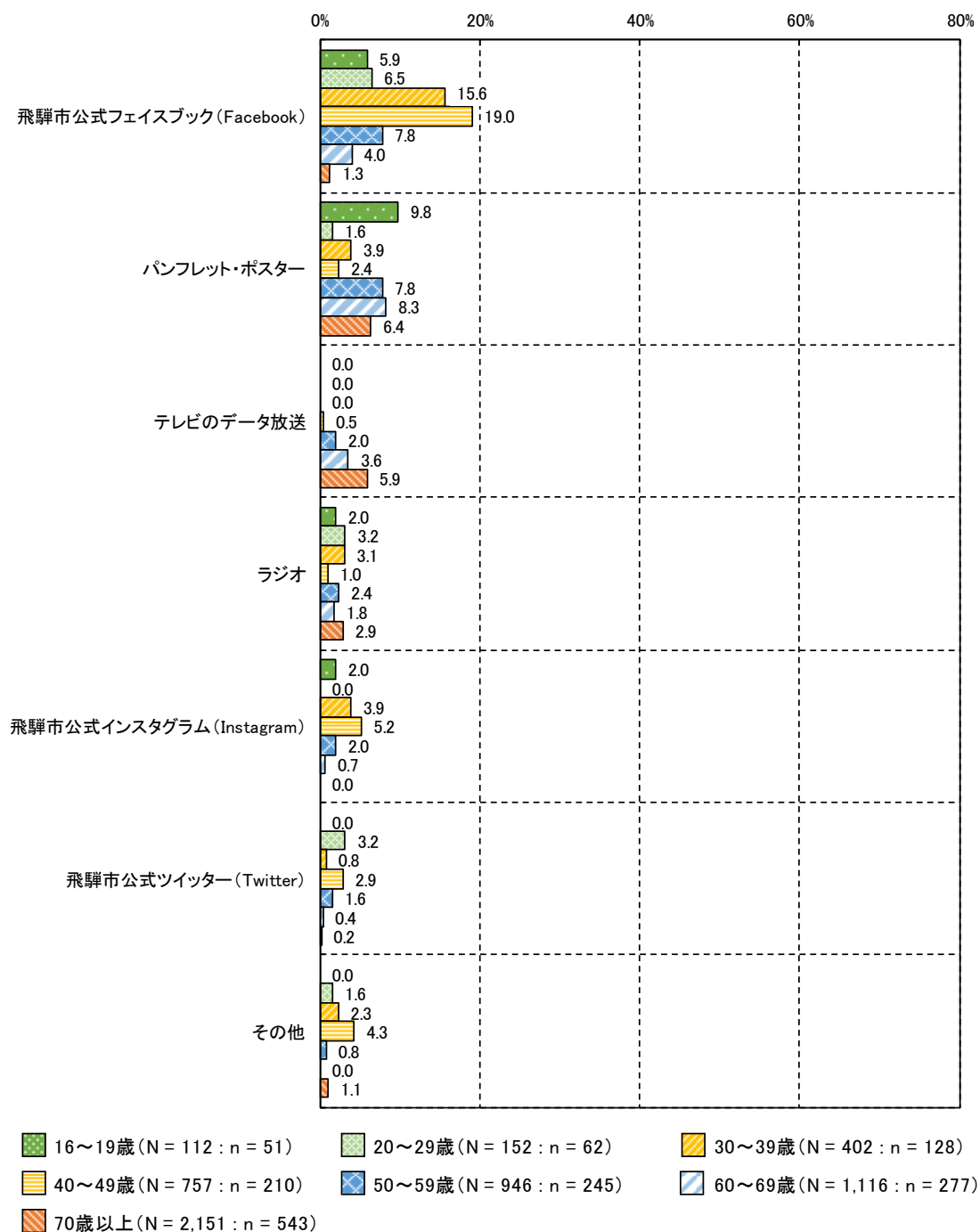
※ N＝総回答数 n＝回答者数

図 8-2 【年代別】 施策や事業についての情報の入手方法（続き）



※ N＝総回答数 n＝回答者数

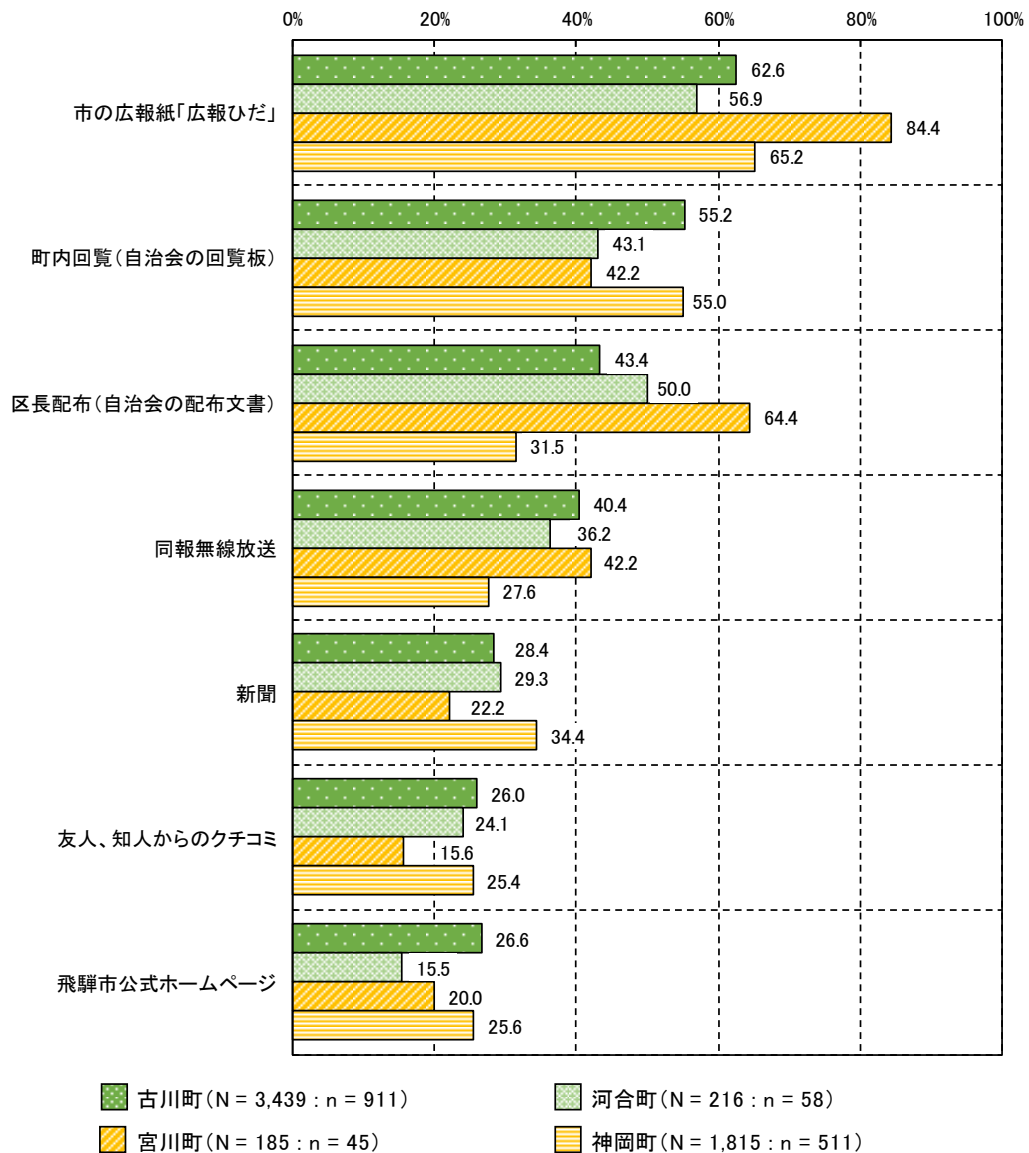
図 8-2 【年代別】 施策や事業についての情報の入手方法（続き）



※ N＝総回答数 n＝回答者数

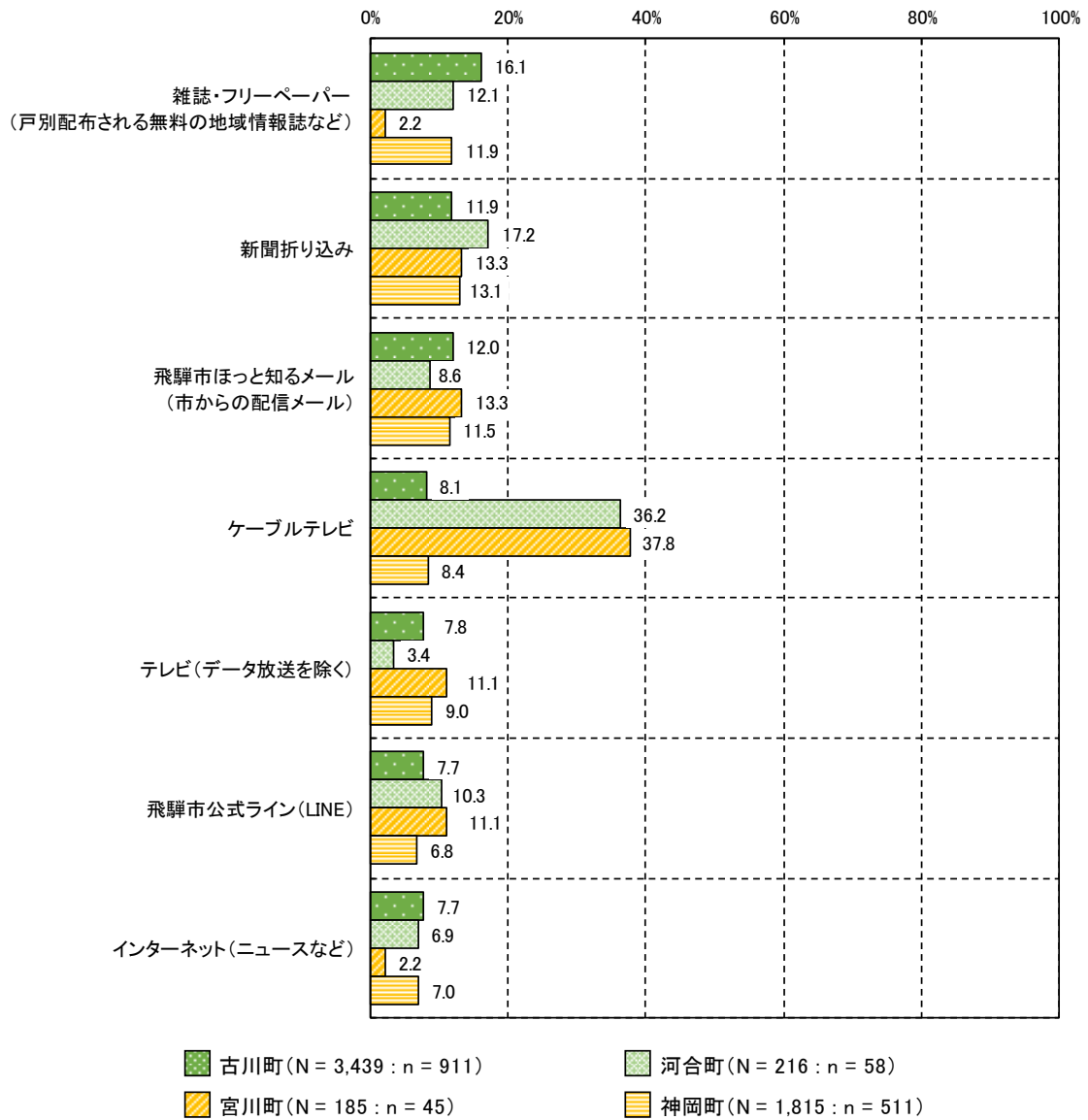
居住地別（図 8-3）でみると、いずれの居住地においても「市の広報紙「広報ひだ」」が最も高く、そのうち宮川町が 84.4%と最も高くなっている。

図 8-3 【居住地別】 施策や事業についての情報の入手方法



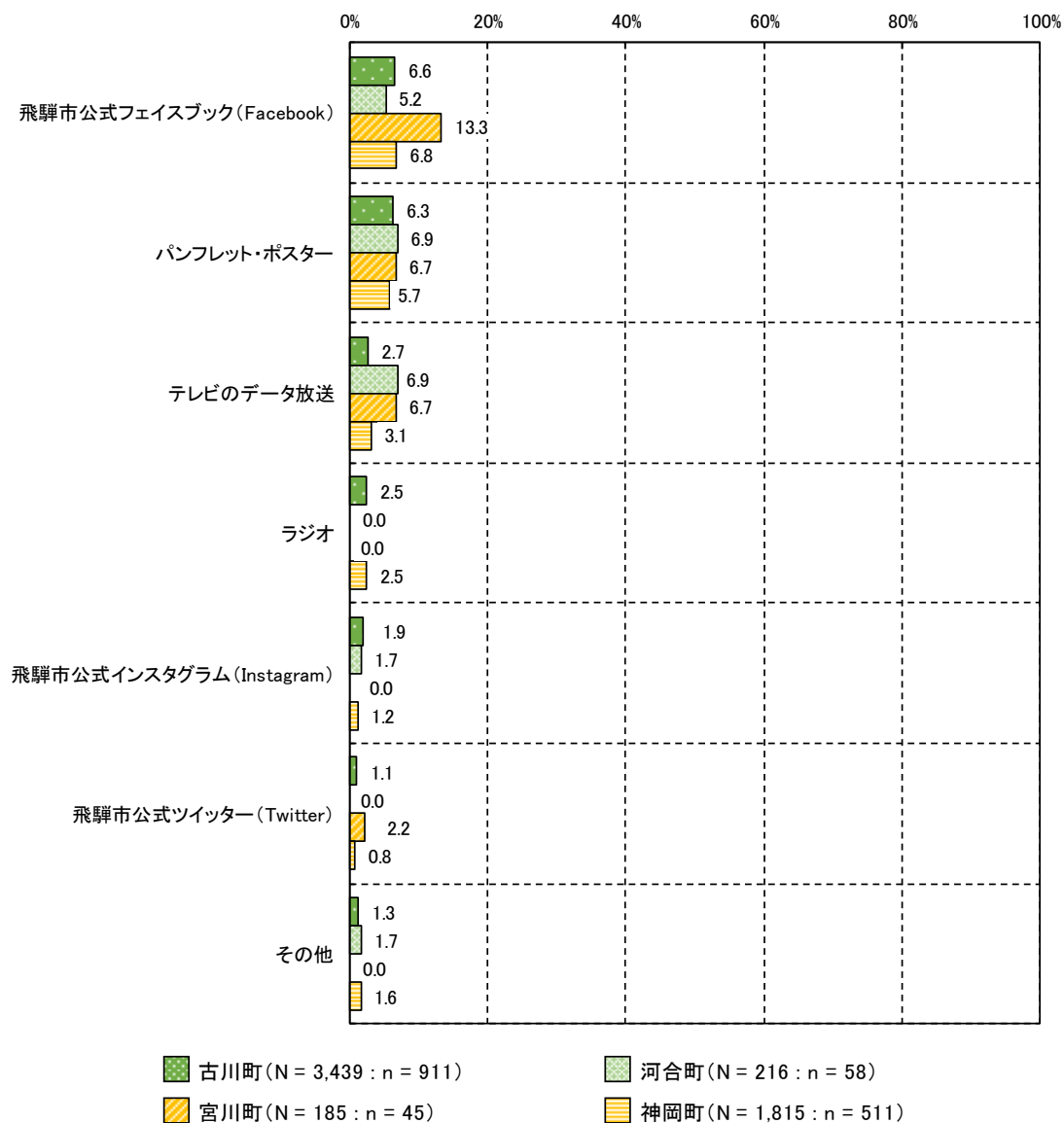
※ N＝総回答数 n＝回答者数

図 8-3 【居住地別】 施策や事業についての情報の入手方法（続き）



※ N＝総回答数 n＝回答者数

図 8-3 【居住地別】 施策や事業についての情報の入手方法（続き）



※ N＝総回答数 n＝回答者数

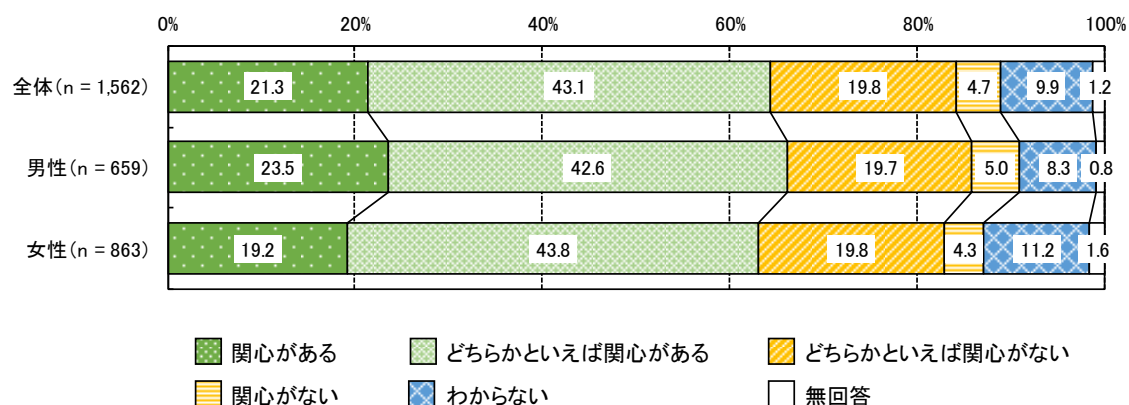
問9 市事業への関心の有無

問9 あなたは、飛騨市（行政）の事業やその進め方について、関心をお持ちですか。
（1つだけ）

全体（図9-1）でみると、「どちらかといえば関心がある」が43.1%と最も高く、次いで「関心がある」（21.3%）、「どちらかといえば関心がない」（19.8%）の順となっている。

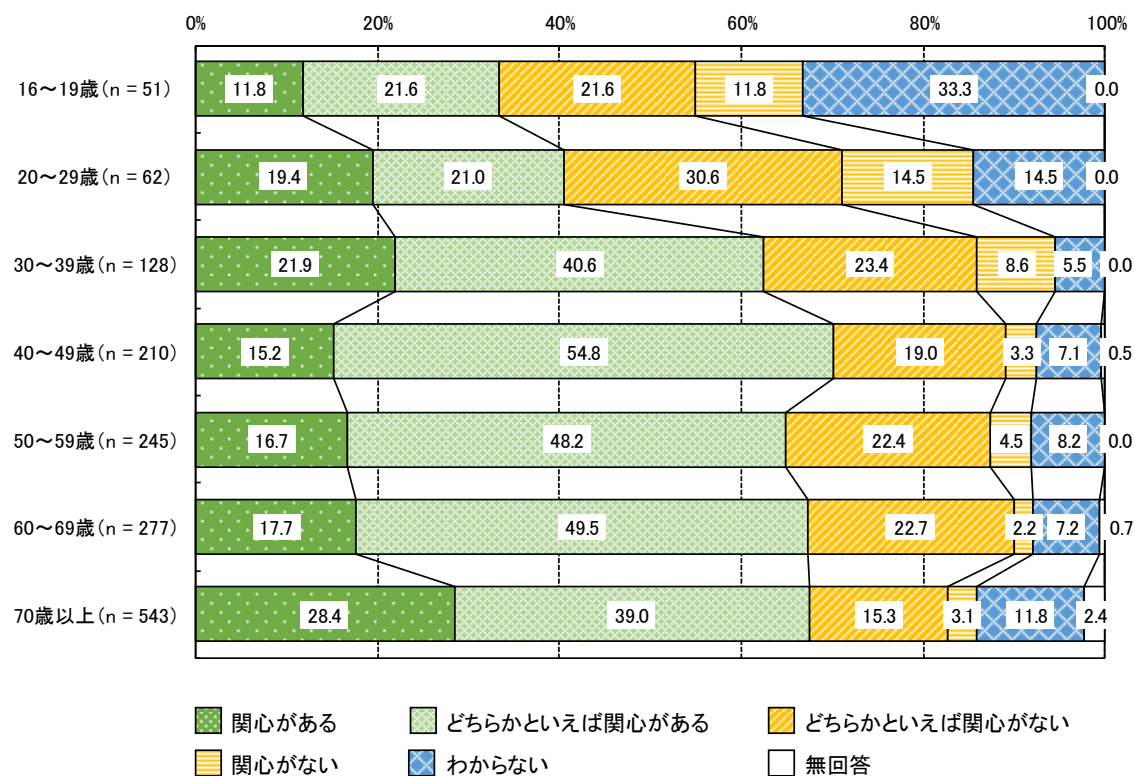
性別（図9-1）でみると、男女ともに「どちらかといえば関心がある」が最も高く、男性が42.6%、女性が43.8%となっている。「関心がある」では、男性が女性より4.3ポイント高くなっている。

図9-1 【全体・性別】市事業への関心の有無



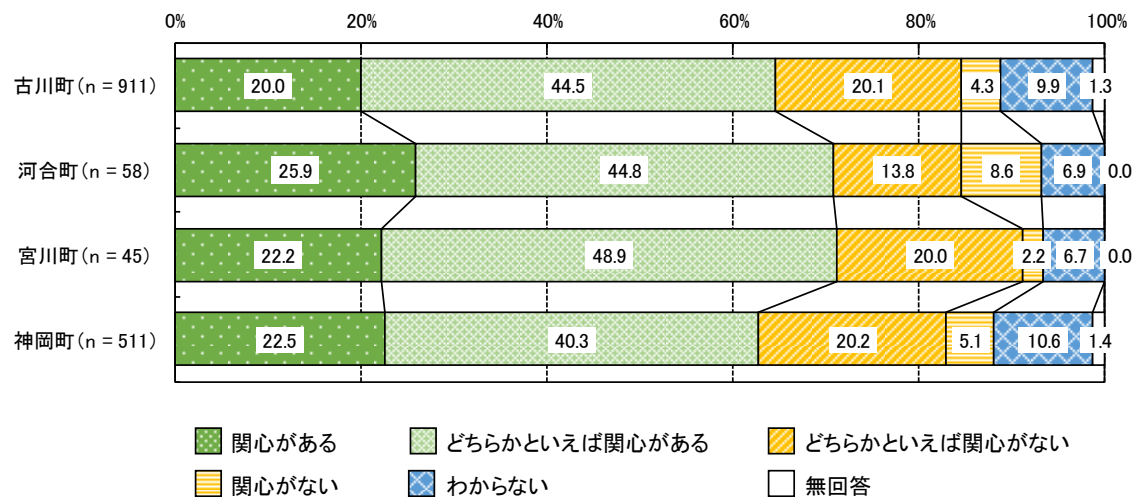
年代別（図 9-2）でみると、16～19 歳、20 歳代を除くいずれの年代においても「どちらかといえば関心がある」が最も高く、16～19 歳では「わからない」が、20 歳代では「どちらかといえば関心がない」が最も高くなっている。70 歳以上では「関心がある」が他の年代に比べて高くなっている。

図 9-2 【年代別】 市事業への関心の有無



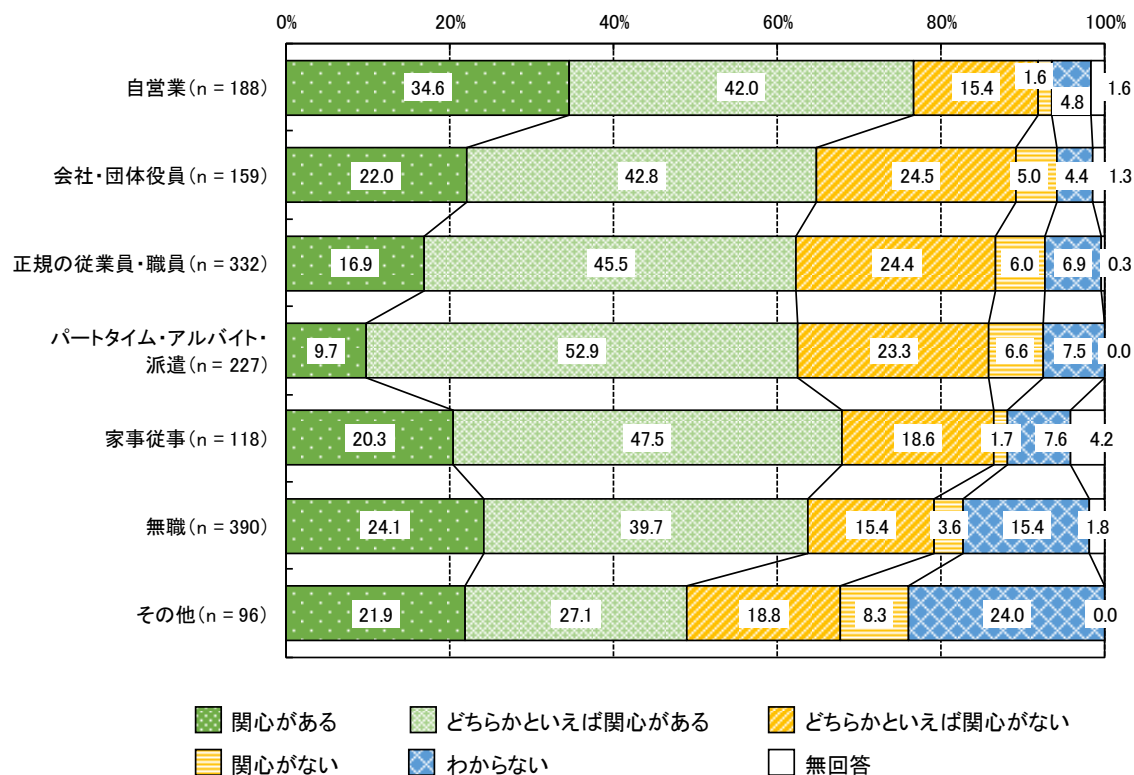
居住地別（図 9-3）でみると、いずれの居住地においても「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうち宮川町が 48.9%と最も高くなっている。

図 9-3 【居住地別】 市事業への関心の有無



職業別（図 9-4）でみると、いずれの職業においても「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうちパートタイム・アルバイト・派遣が 52.9%と最も高くなっている。「関心がある」では自営業が 34.6%と他の職業に比べて高くなっている。

図 9-4 【職業別】 市事業への関心の有無



※ その他には、自由業、学生を含む。

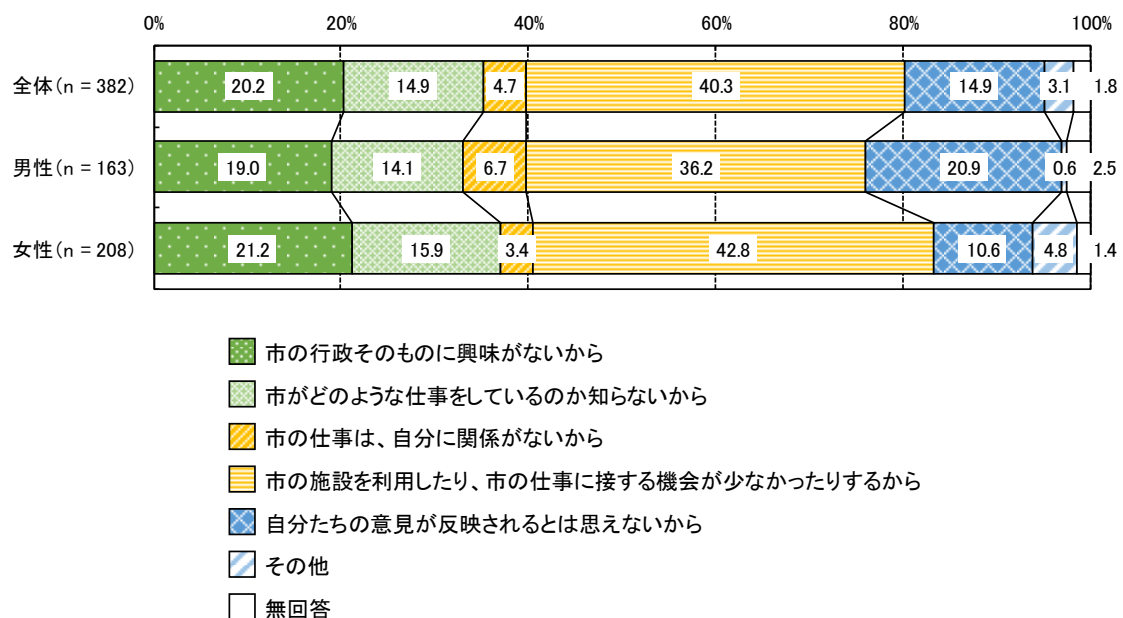
問9-2 市事業に関心がない理由

問9-2 「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方にお尋ねします。
 あなたが、飛騨市（行政）の事業やその進め方に関心がないのは、どのような理由からですか。（1つだけ）

全体（図9-2-1）でみると、「市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから」が40.3%と最も高く、次いで「市の行政そのものに興味がないから」（20.2%）、「市がどのような仕事をしているのか知らないから」、「自分たちの意見が反映されるとは思えないから」（14.9%）の順となっている。

性別（図9-2-1）でみると、男女ともに「市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから」が最も高く、男性が36.2%、女性が42.8%となっており、女性が男性より6.6ポイント高くなっている。

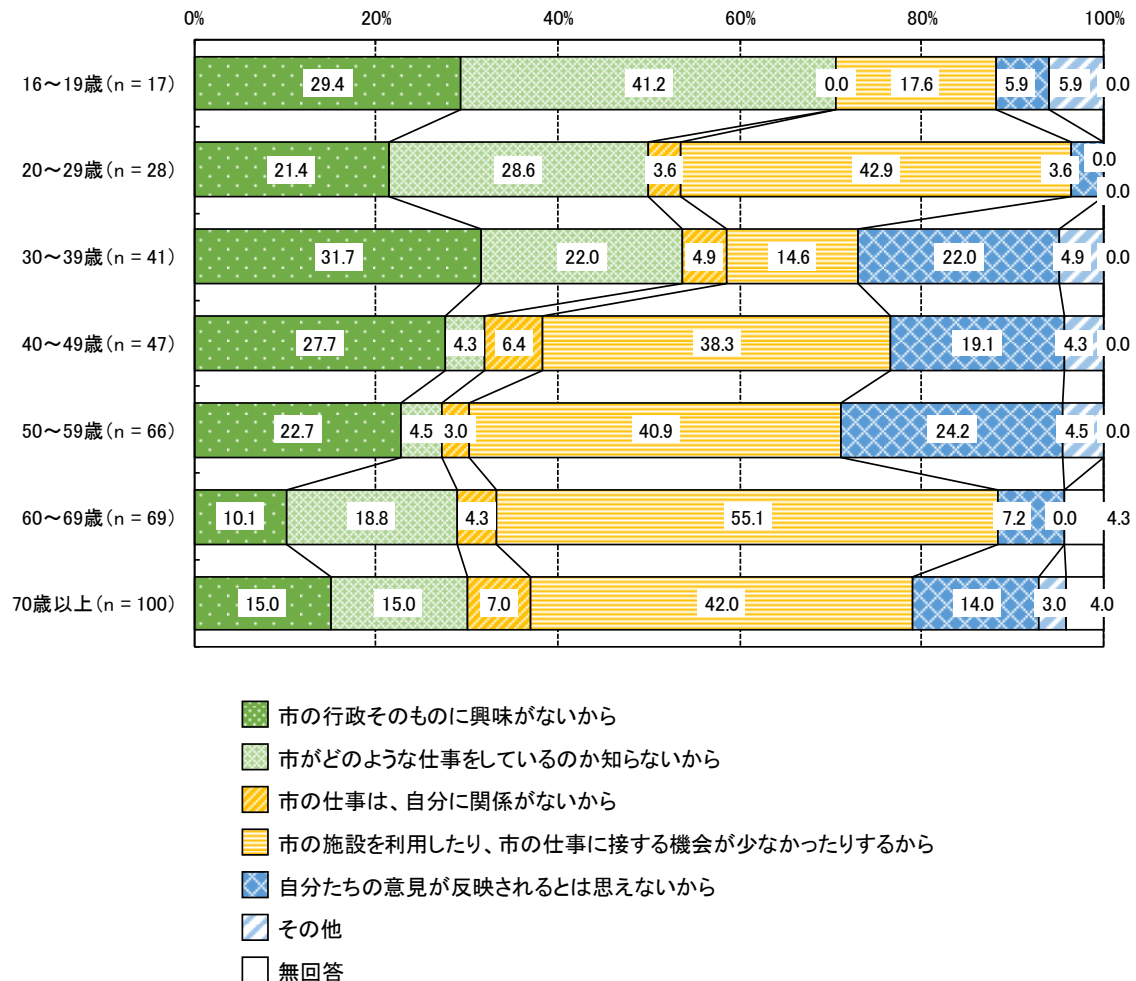
図9-2-1 【全体・性別】市事業に関心がない理由



※ 問9で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方のみ

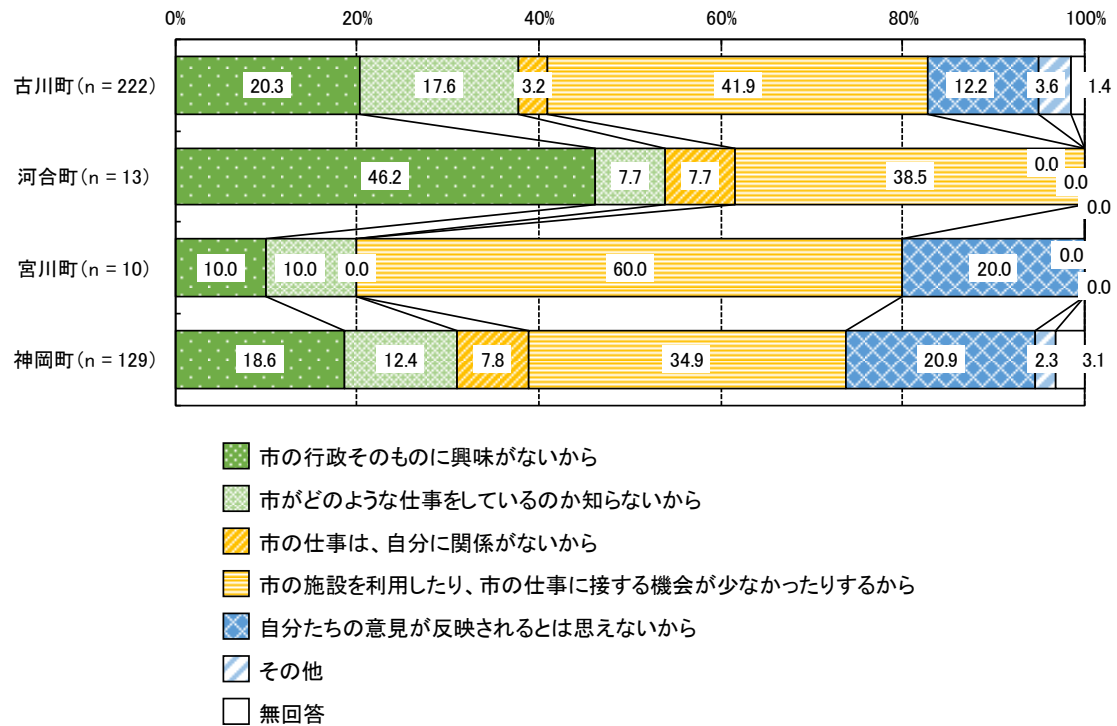
年代別（図 9-2-2）でみると、16～19 歳、30 歳代を除くいずれの年代においても「市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから」が最も高く、そのうち 60 歳代が 55.1%と最も高くなっている。16～19 歳では「市がどのような仕事をしているのか知らないから」が 41.2%、30 歳代では「市の行政そのものに興味がないから」が 31.7%と最も高くなっている。

図 9-2-2 【年代別】 市事業に関心がない理由



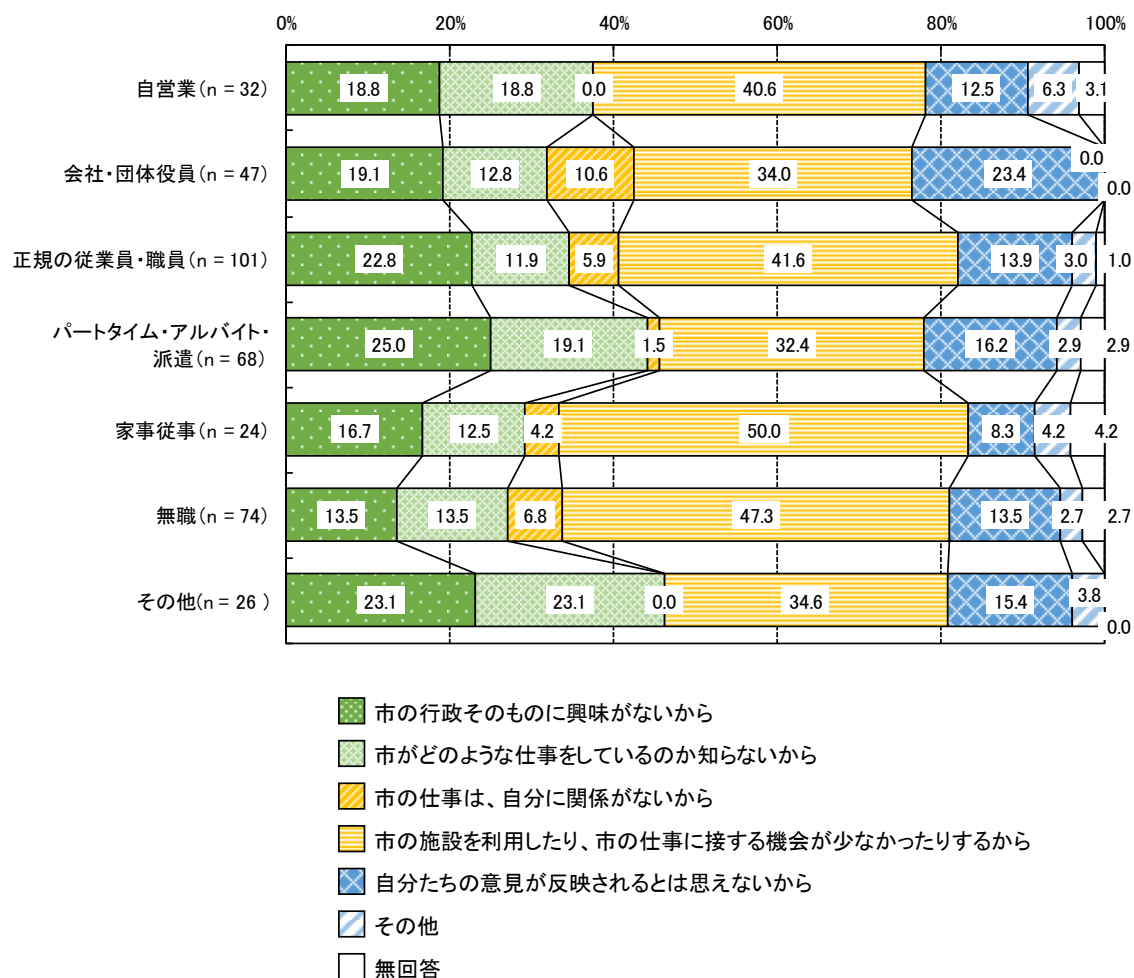
居住地別（図 9-2-3）でみると、河合町を除くいずれの居住地においても「市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから」が最も高く、河合町では「市の行政そのものに興味がないから」が最も高く、河合町では「市の行政そのものに興味がないから」が最も高くなっている。

図 9-2-3 【居住地別】 市事業に関心がない理由



職業別（図 9-2-4）でみると、いずれの職業においても「市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから」が最も高く、そのうち家事従事が 50.0%と最も高くなっている。

図 9-2-4 【職業別】 市事業に関心がない理由



※ その他には、自由業、学生を含む。

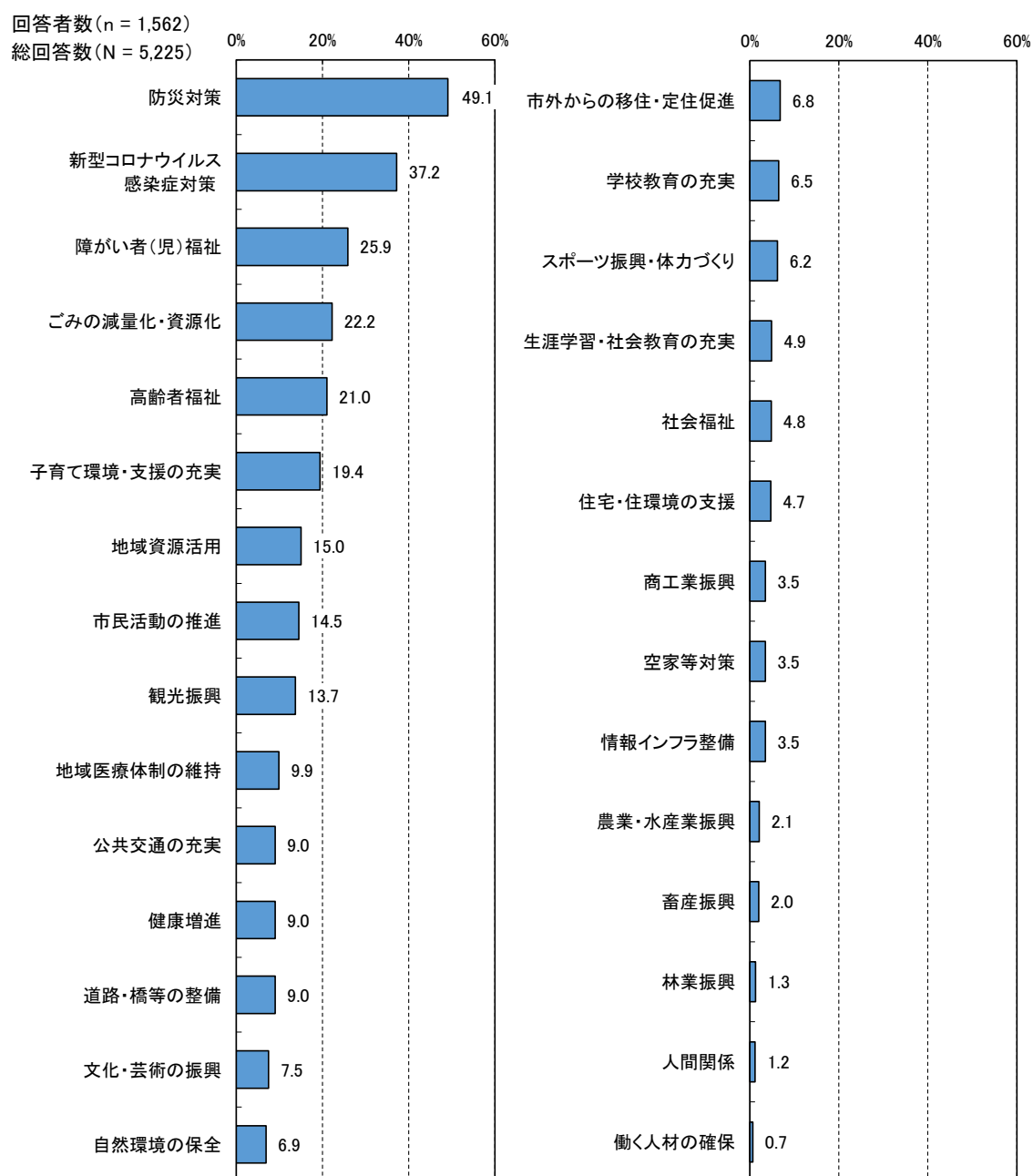
問10 市の取り組みでよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野、重点的に進めるべきだと思う分野

問10 あなたが、市の取り組みについて、よくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野、今後、市が重点的に進めるべきだと思う分野は、どの分野ですか。
(それぞれ5つまで)

(1) 市の取り組みでよくやっていると思う分野

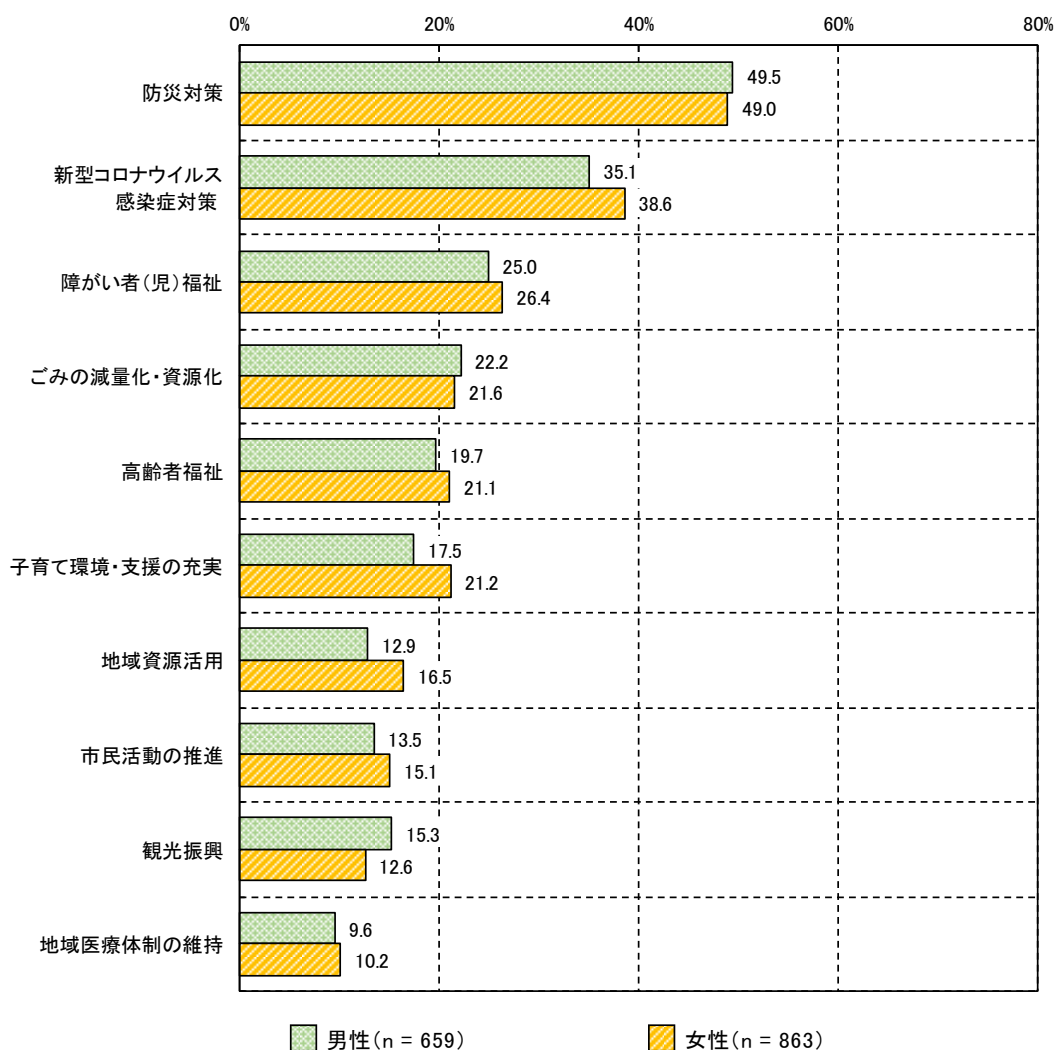
全体(図10-1-1)でみると、「防災対策」が49.1%と最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症対策」(37.2%)、「障がい者(児)福祉」(25.9%)の順となっている。

図10-1-1 市の取り組みでよくやっていると思う分野



性別（図 10-1-2）でみると、男女ともに「防災対策」が最も高く、男性が 49.5%、女性が 49.0%となっている。次いで、男女ともに「新型コロナウイルス感染症対策」、「障がい者（児）福祉」の順となっている。

図 10-1-2 【性別】市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



年代別（図 10-1-3）でみると、いずれの年代においても「防災対策」が最も高く、そのうち 70 歳以上が 53.2%と最も高くなっている。「障がい者（児）福祉」では 40 歳代が 32.9%、「ごみの減量化・資源化」では 60 歳代が 30.7%と他の年代に比べて高くなっている。

図 10-1-3 【年代別】市の取り組みでよくやっていると思う分野（上位 10 施策）

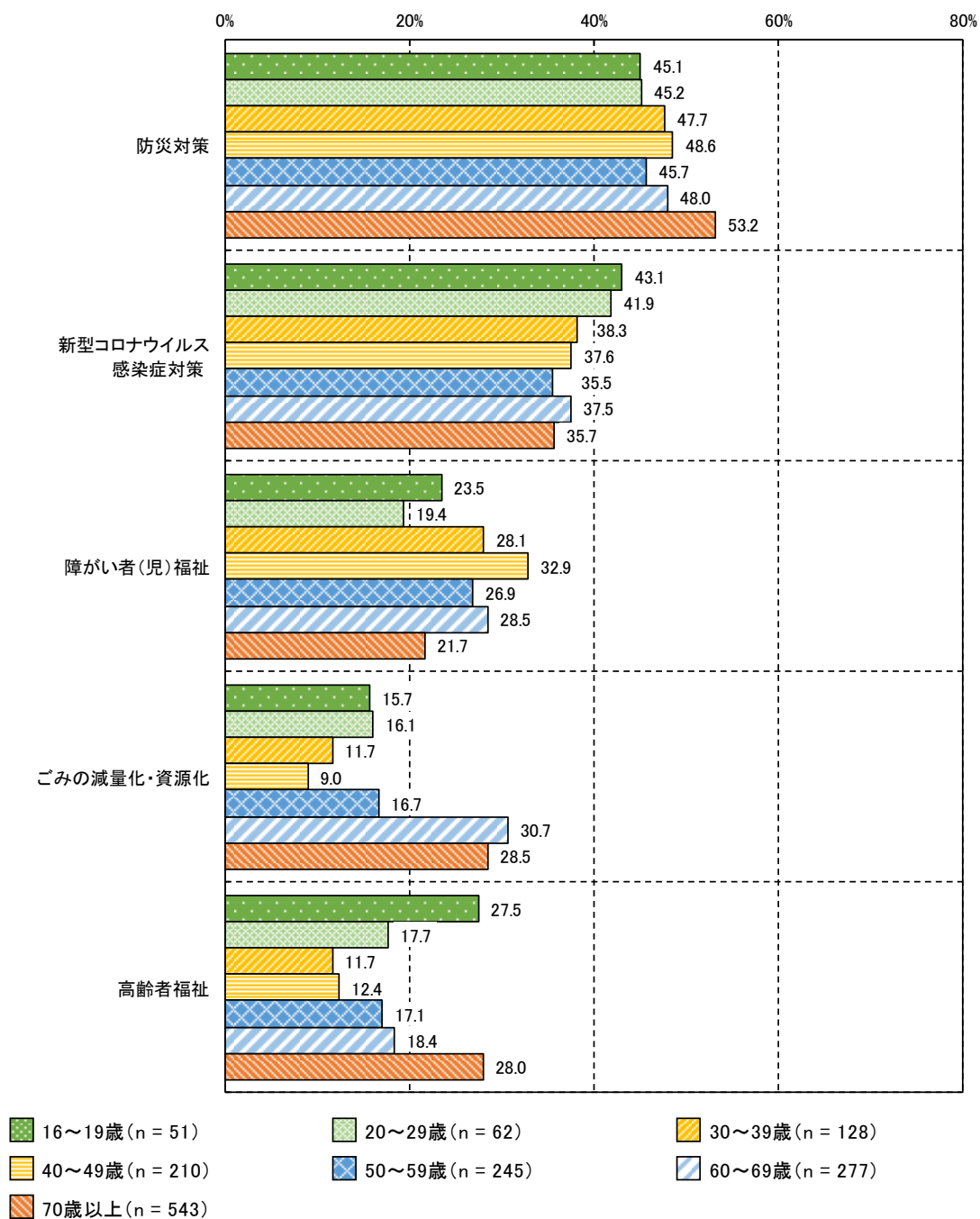
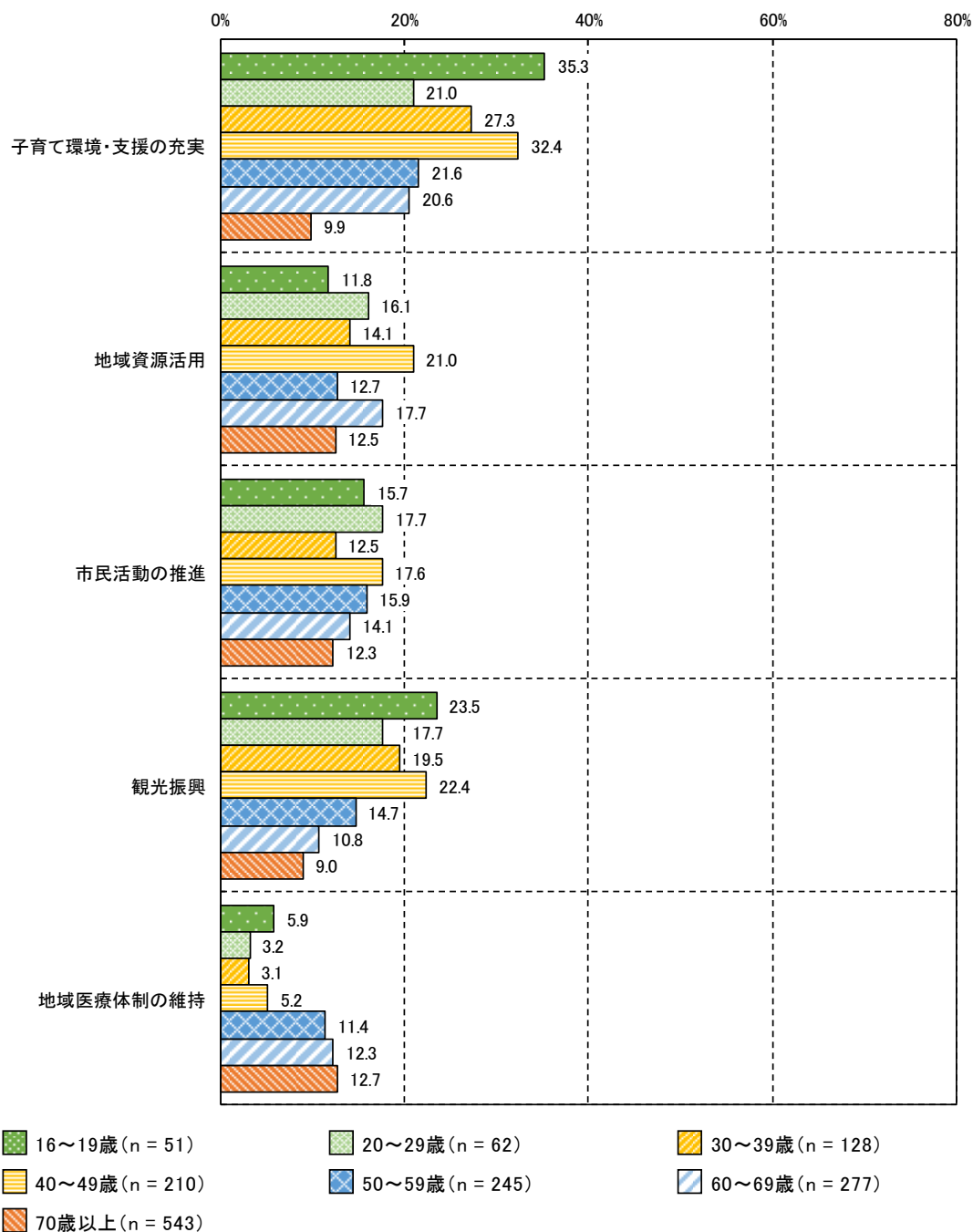
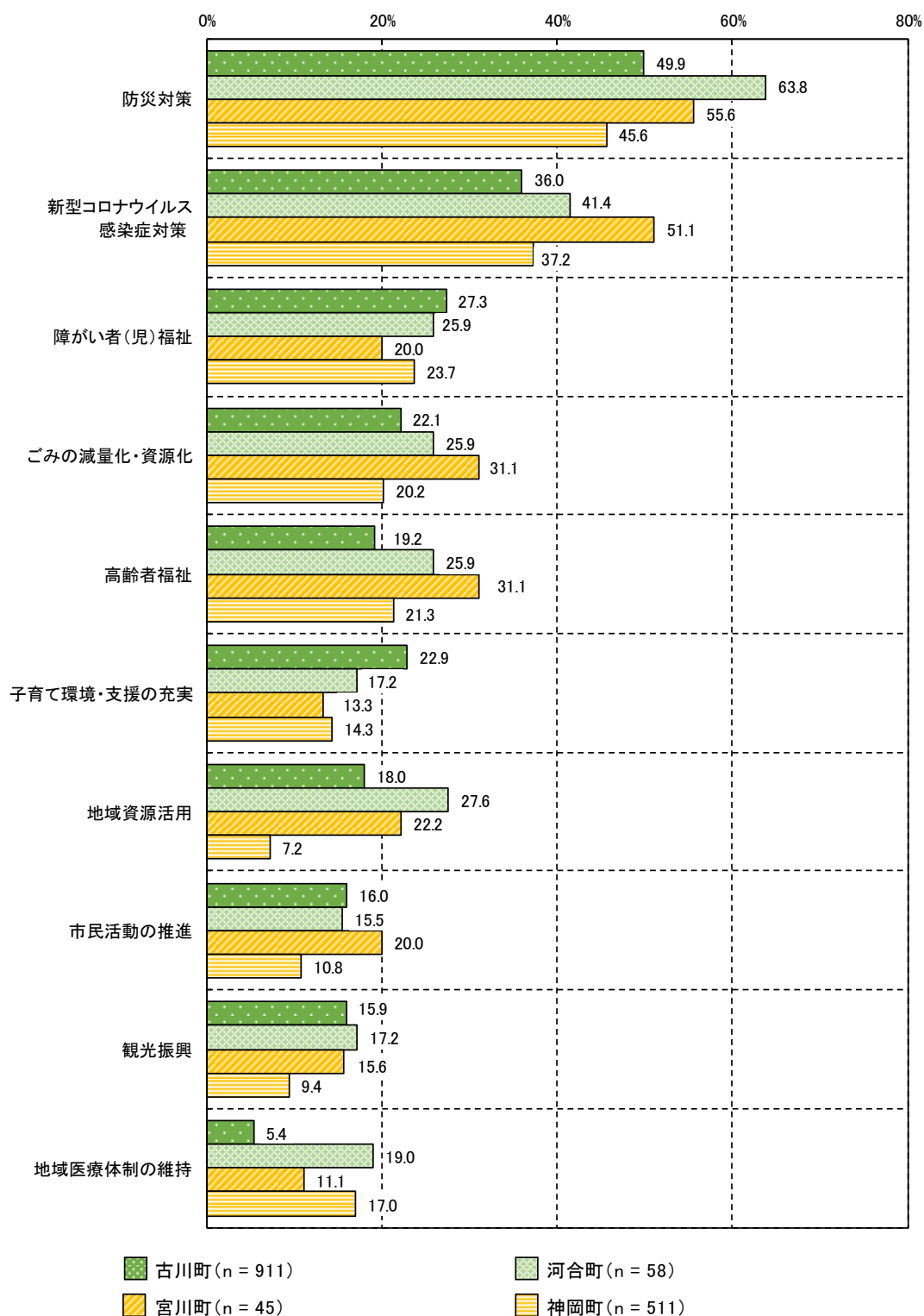


図 10-1-3 【年代別】市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)(続き)



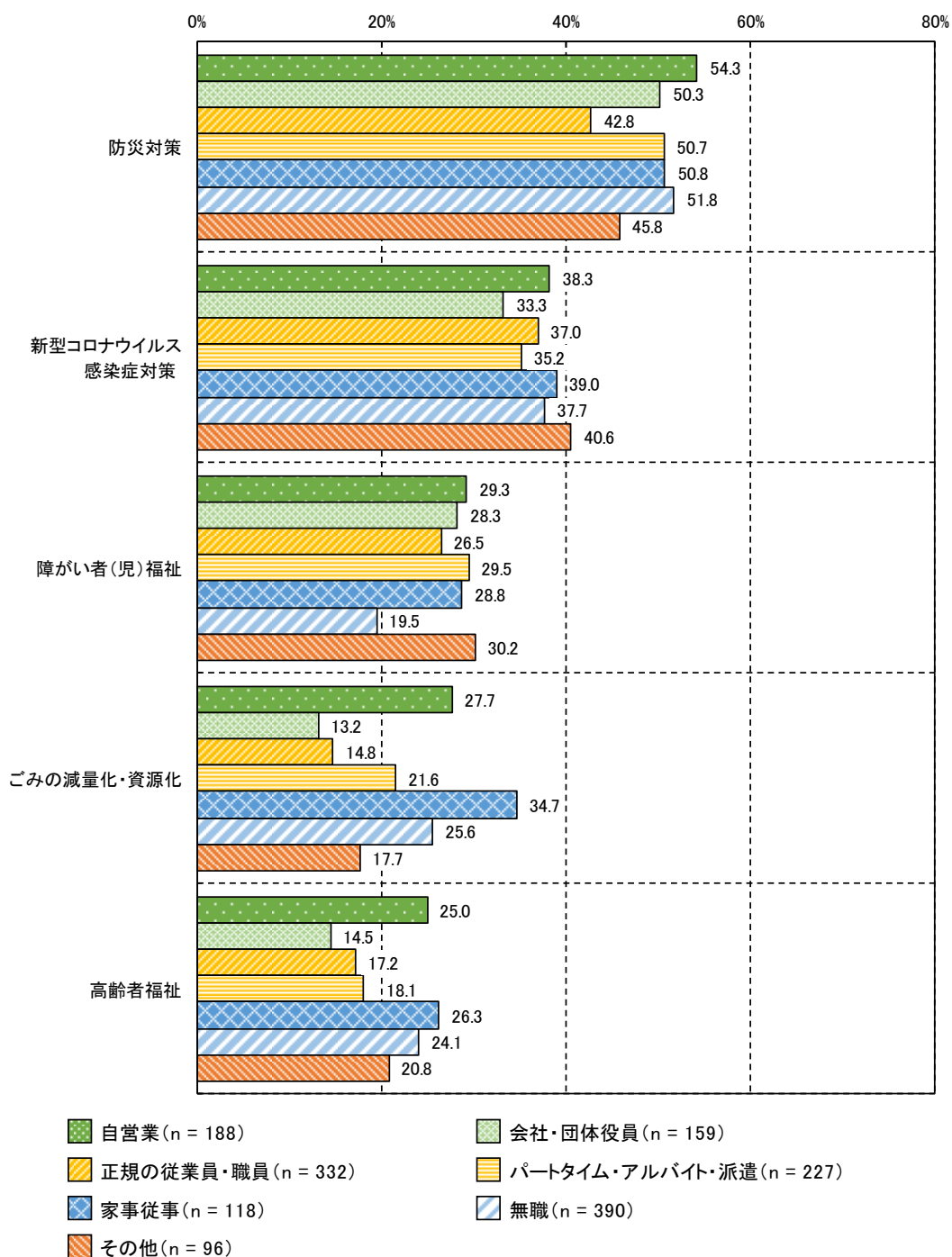
居住地別（図 10-1-4）でみると、いずれの居住地においても「防災対策」が最も高く、そのうち河合町が 63.8%と最も高くなっている。

図 10-1-4 【居住地別】市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



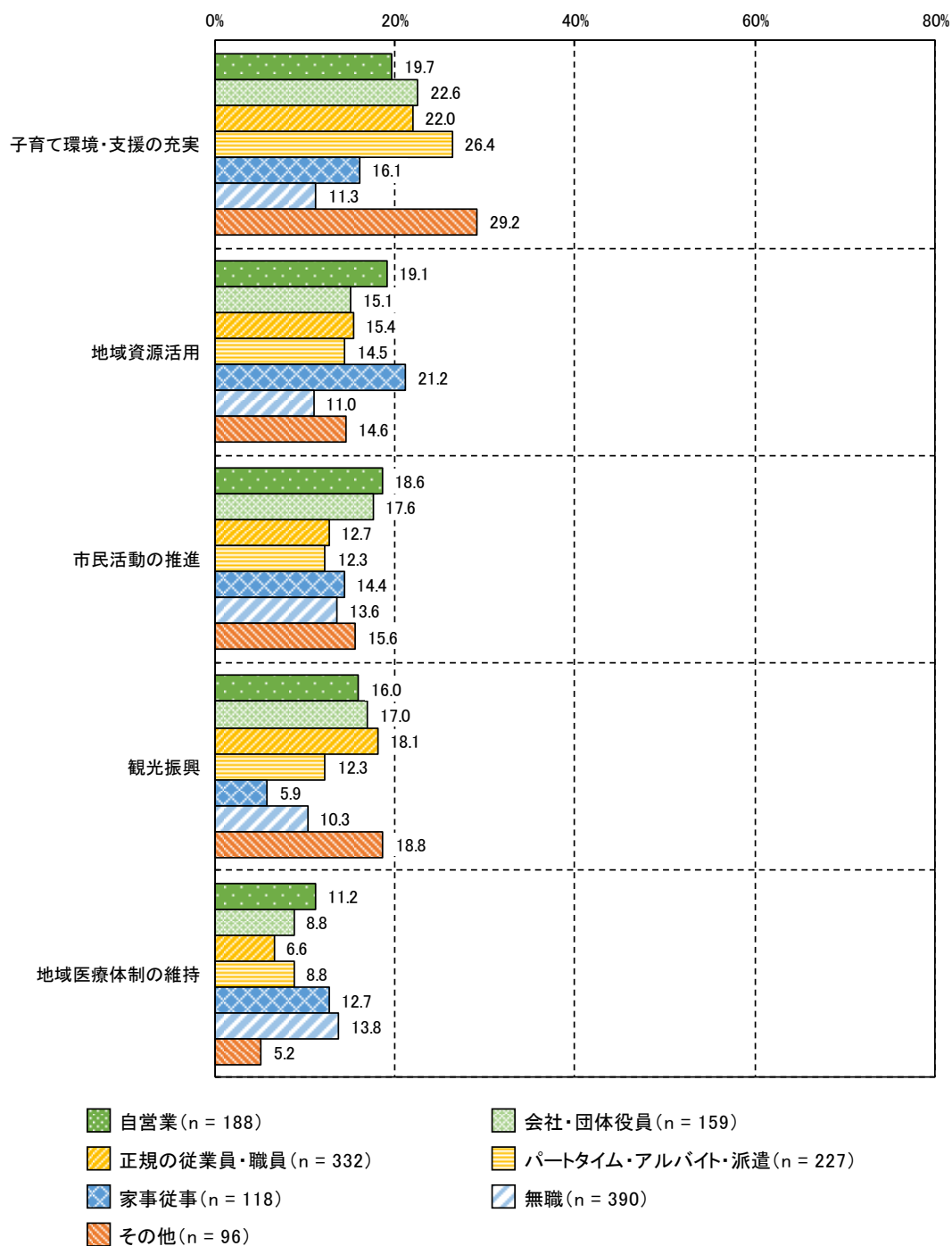
職業別（図 10-1-5）でみると、いずれの職業においても「防災対策」が最も高く、そのうち自営業が 54.3%と最も高くなっている。次いで、いずれの職業も「新型コロナウイルス感染症対策」が高くなっている。

図 10-1-5 【職業別】市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

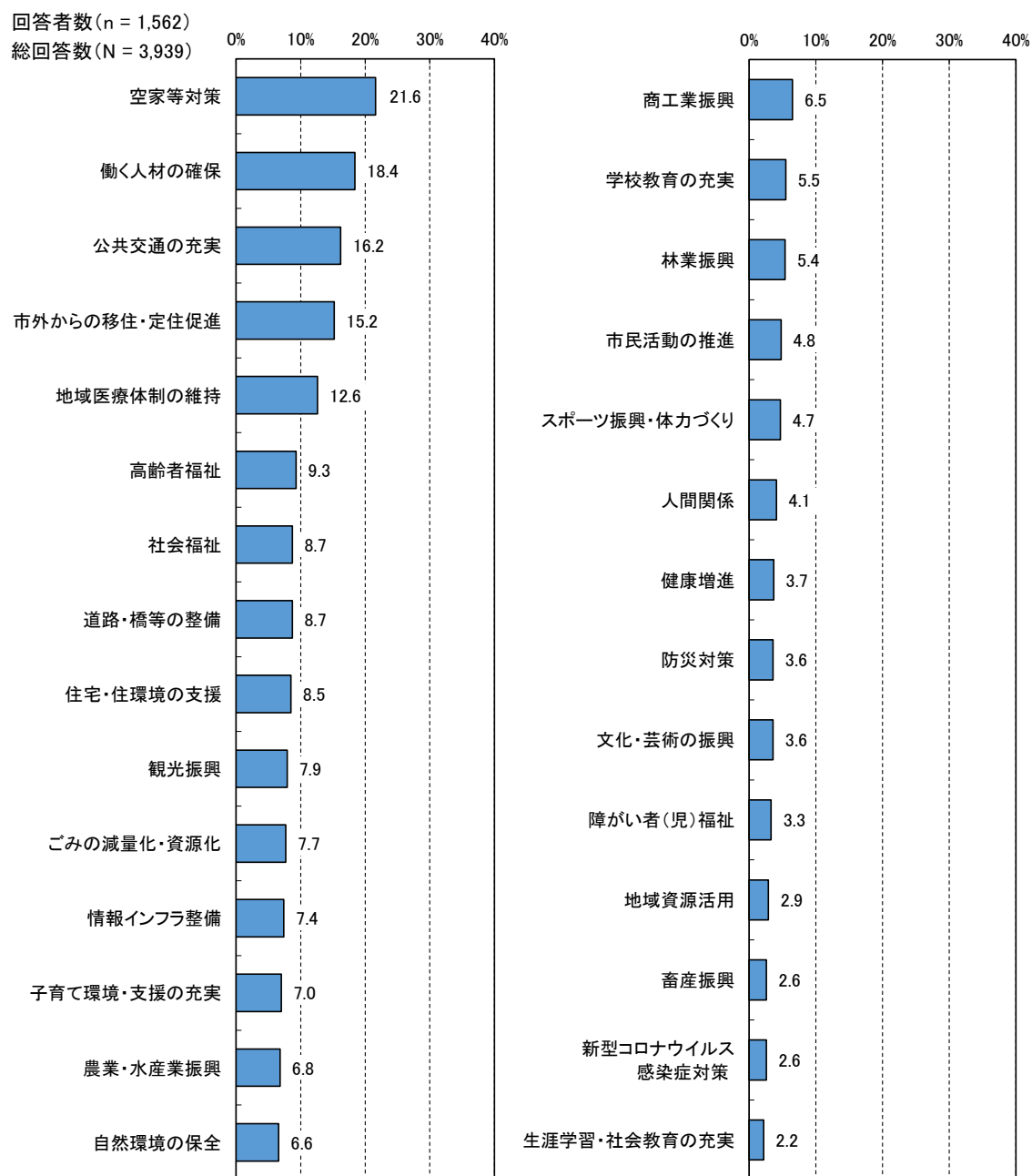
図 10-1-5 【職業別】市の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策) (続き)



（２）市の取り組みで努力が足りないと思う分野

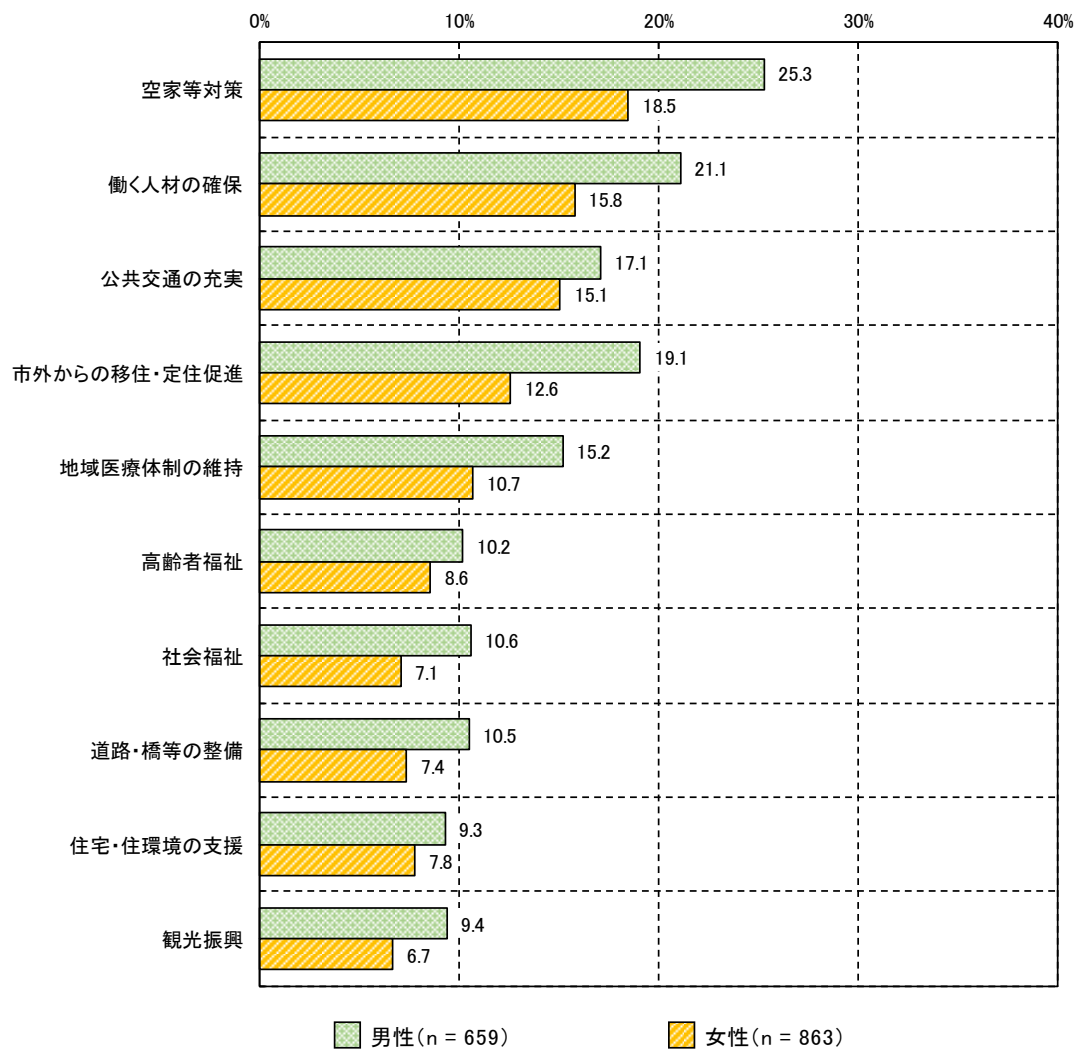
全体（図 10-2-1）でみると、「空家等対策」が 21.6%と最も高く、次いで「働く人材の確保」（18.4%）、「公共交通の充実」（16.2%）の順となっている。

図 10-2-1 市の取り組みで努力が足りないと思う分野



性別（図 10-2-2）でみると、男女ともに「空家等対策」が最も高く、男性が 25.3%、女性が 18.5%となっており、男性が女性より 6.8 ポイント高くなっている。上位 10 施策のいずれの分野も、女性より男性の割合が高くなっている。

図 10-2-2 【性別】市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



年代別（図 10-2-3）でみると、16～19 歳、50 歳代、70 歳以上は「空家等対策」が最も高く、30 歳代、40 歳代、60 歳代は「働く人材の確保」が、20 歳代は「公共交通の充実」が最も高くなっている。16～19 歳は「公共交通の充実」が同率で高くなっている。「市外からの移住・定住促進」では 20 歳代が 21.0%と他の年代に比べて高くなっている。

図 10-2-3 【年代別】市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)

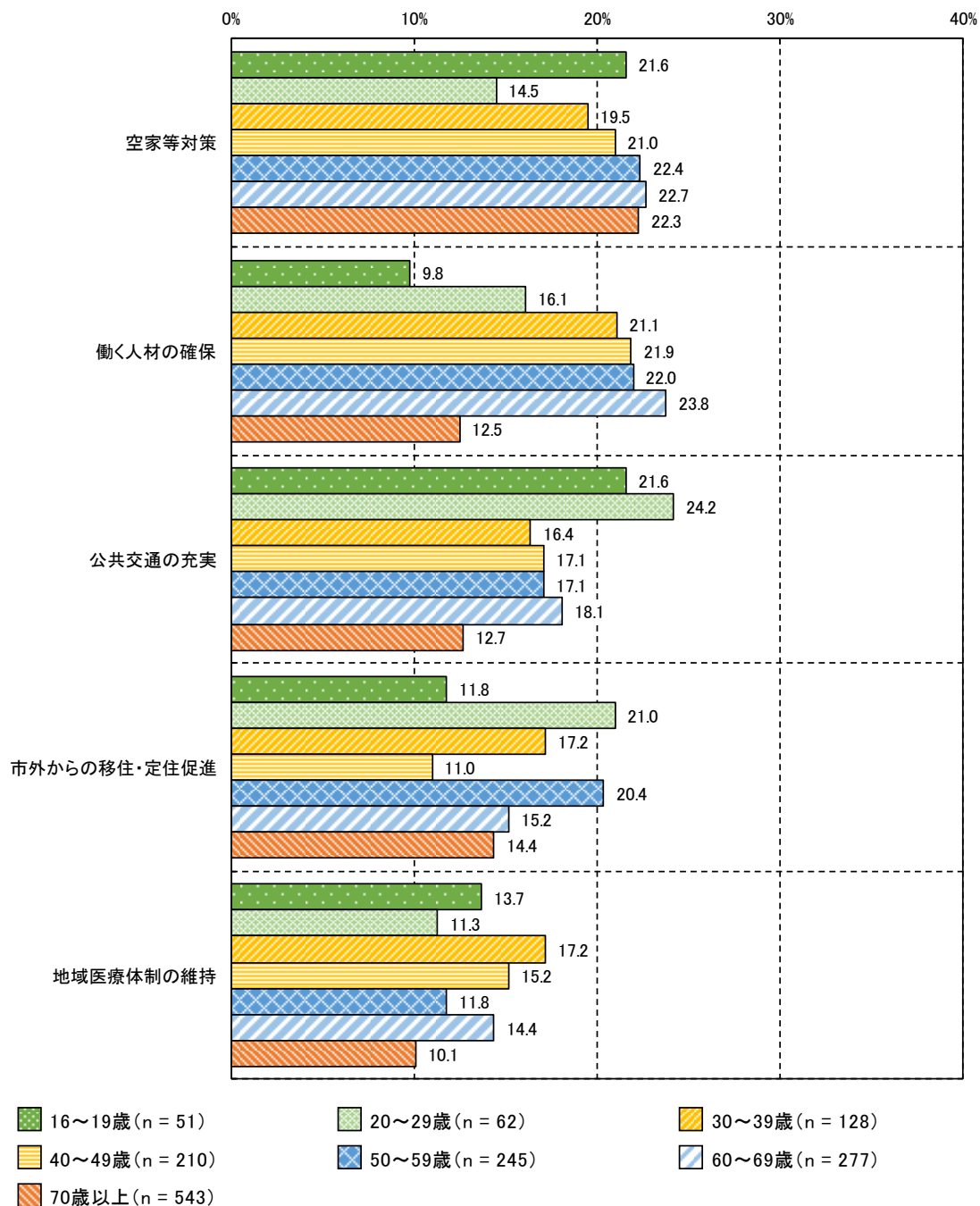
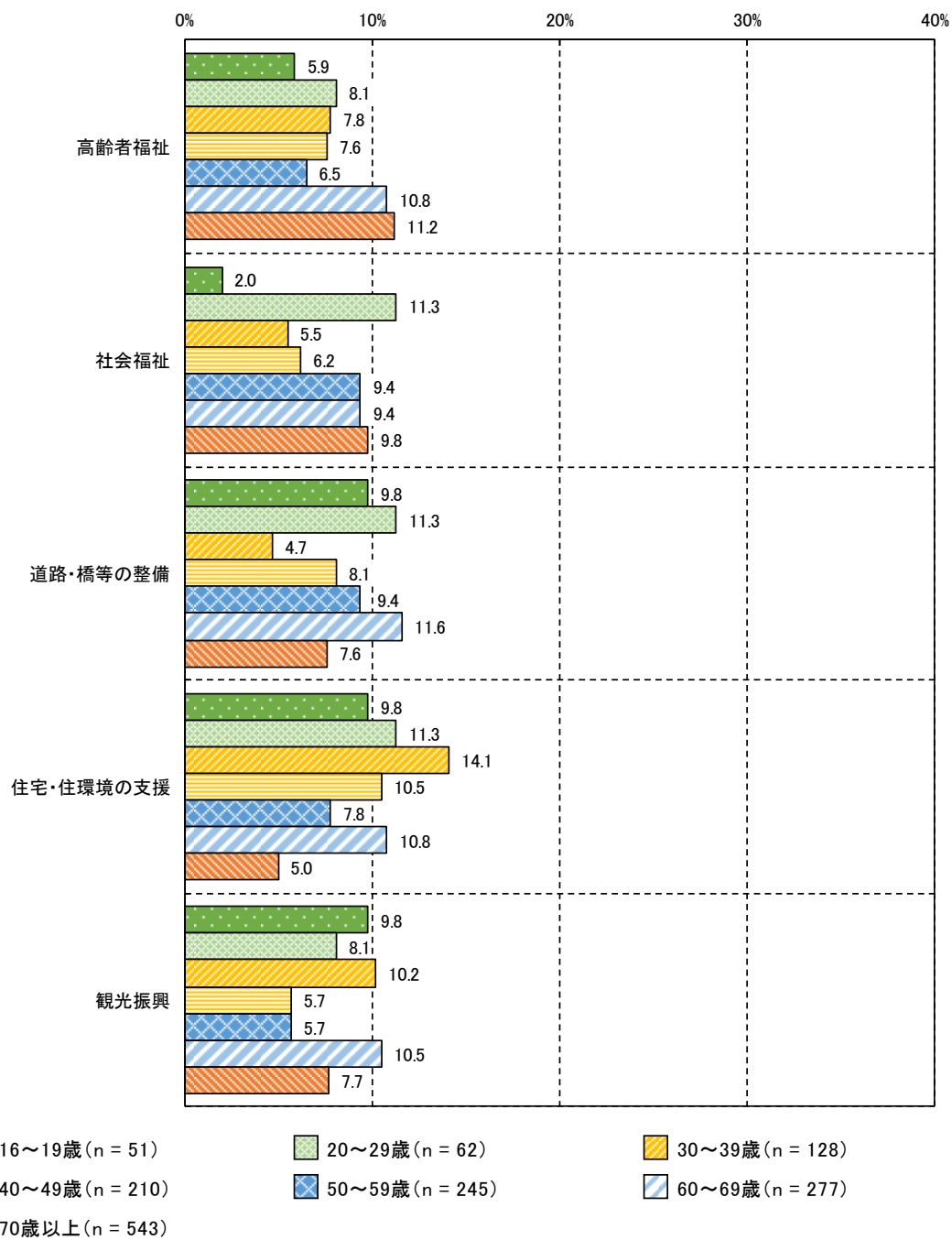
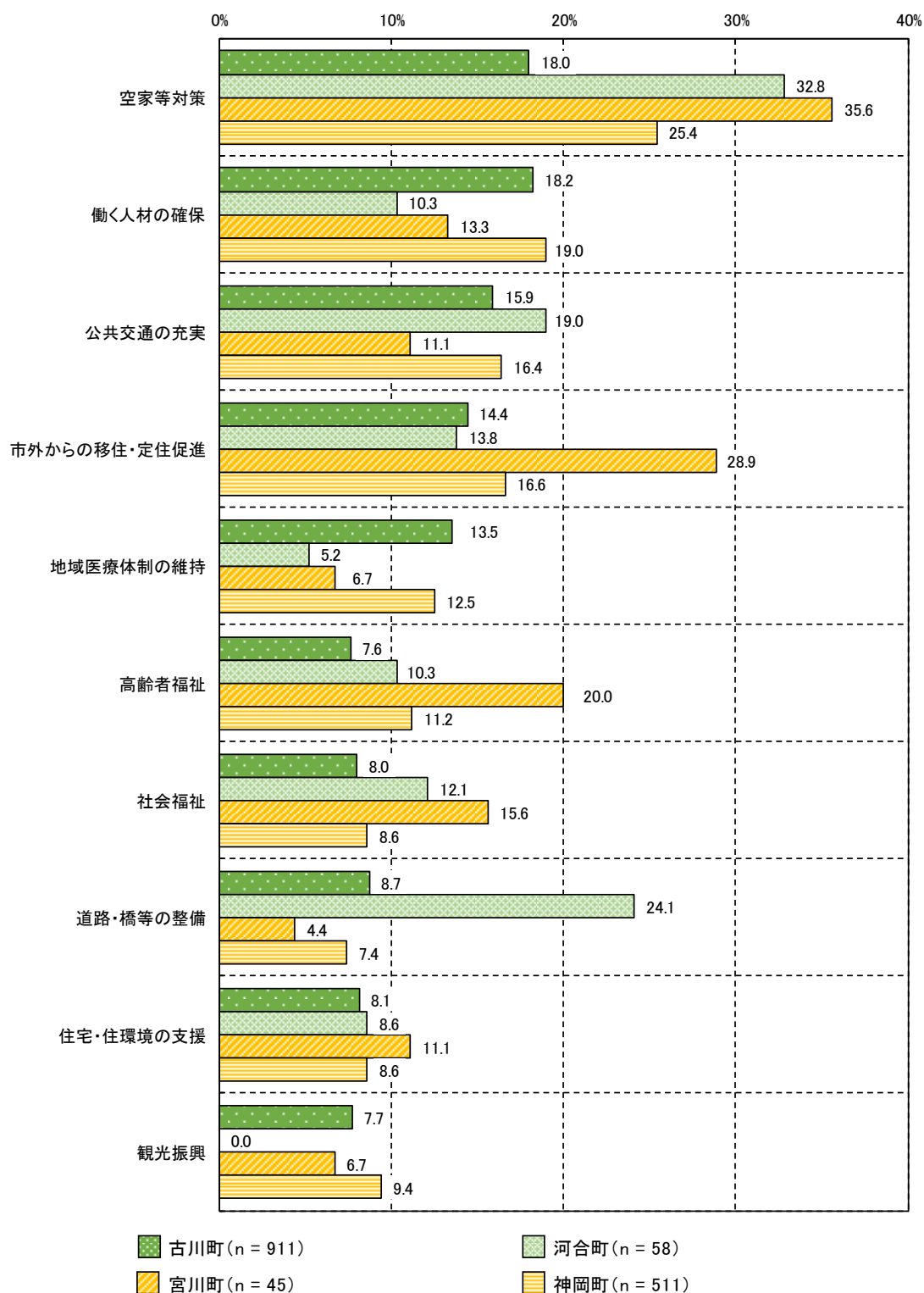


図 10-2-3 【年代別】市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)(続き)



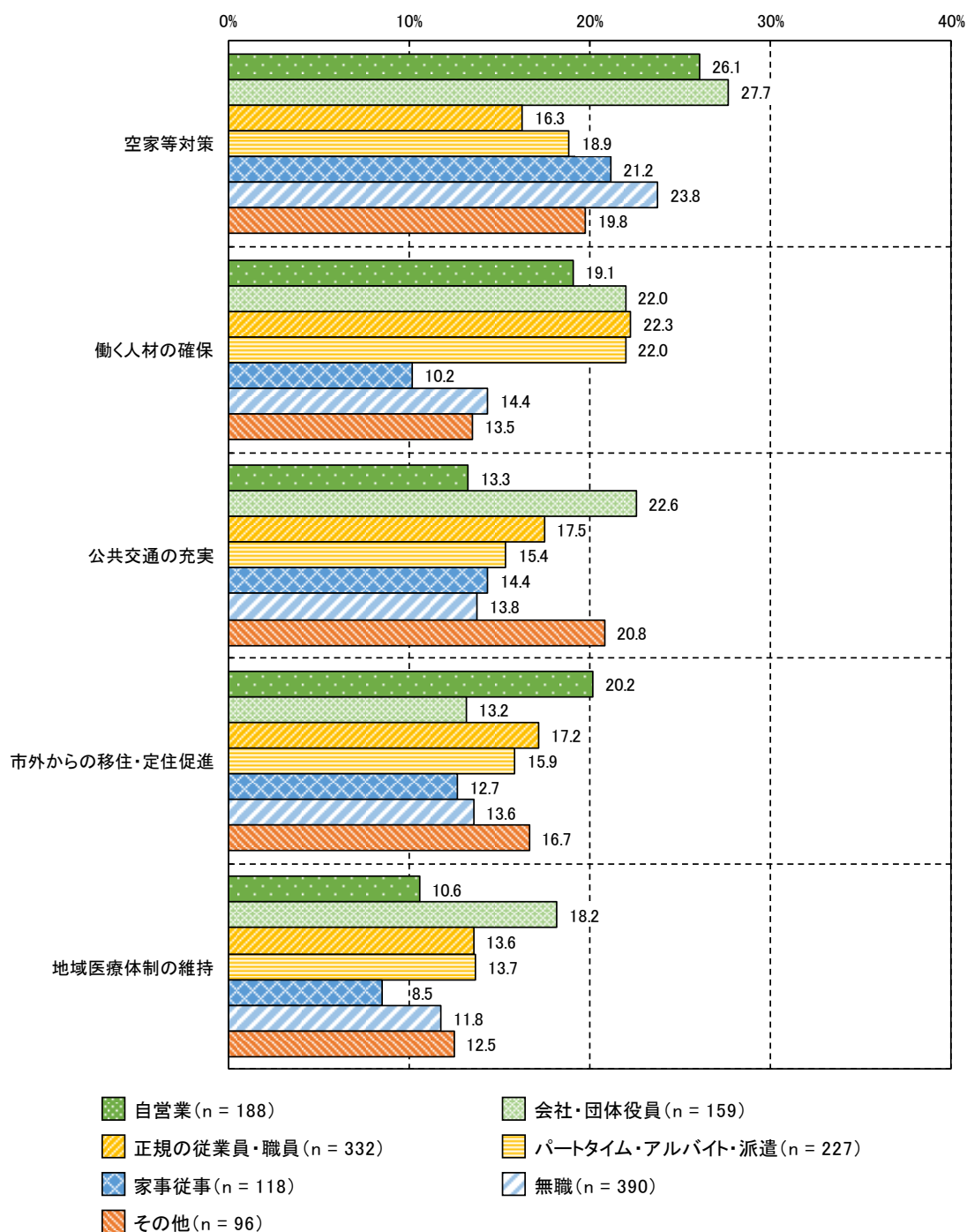
居住地別（図 10-2-4）でみると、古川町を除くいずれの居住地においても「空家等対策」が最も高く、そのうち宮川町が 35.6%と最も高くなっている。古川町では「働く人材の確保」が 18.2%と最も高くなっている。「道路・橋等の整備」では河合町が 24.1%と他の居住地に比べて高くなっている。

図 10-2-4 【居住地別】市の取り組みで努力が足りないと思う分野（上位 10 施策）



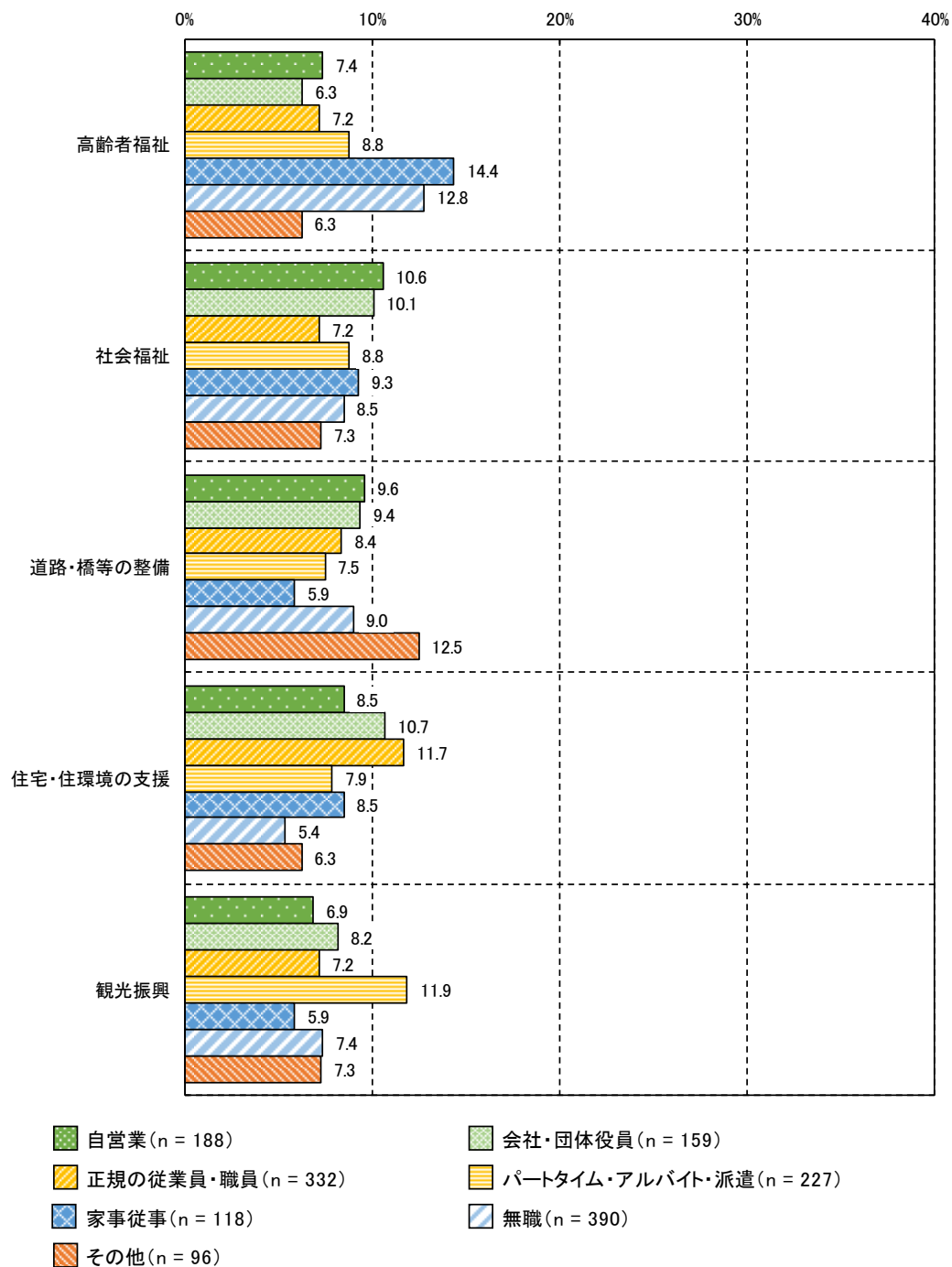
職業別（図 10-2-5）でみると、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、その他を除くいずれの職業においても「空家等対策」が最も高く、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣は「働く人材の確保」が最も高くなっている。

図 10-2-5 【職業別】市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-2-5 【職業別】市の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策) (続き)

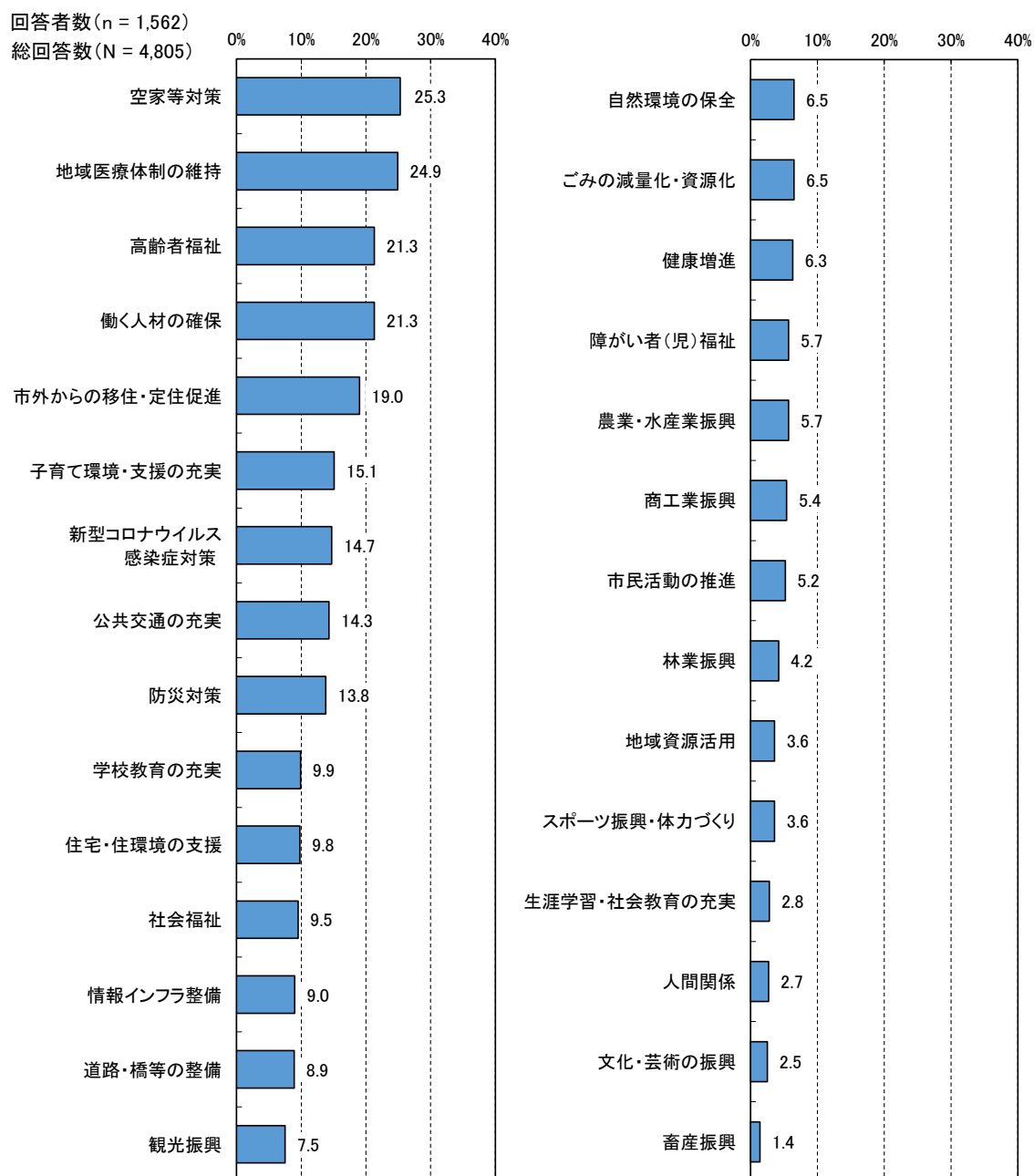


※ その他には、自由業、学生を含む。

(3) 市の取り組みで重点的に進めるべきだと思う分野

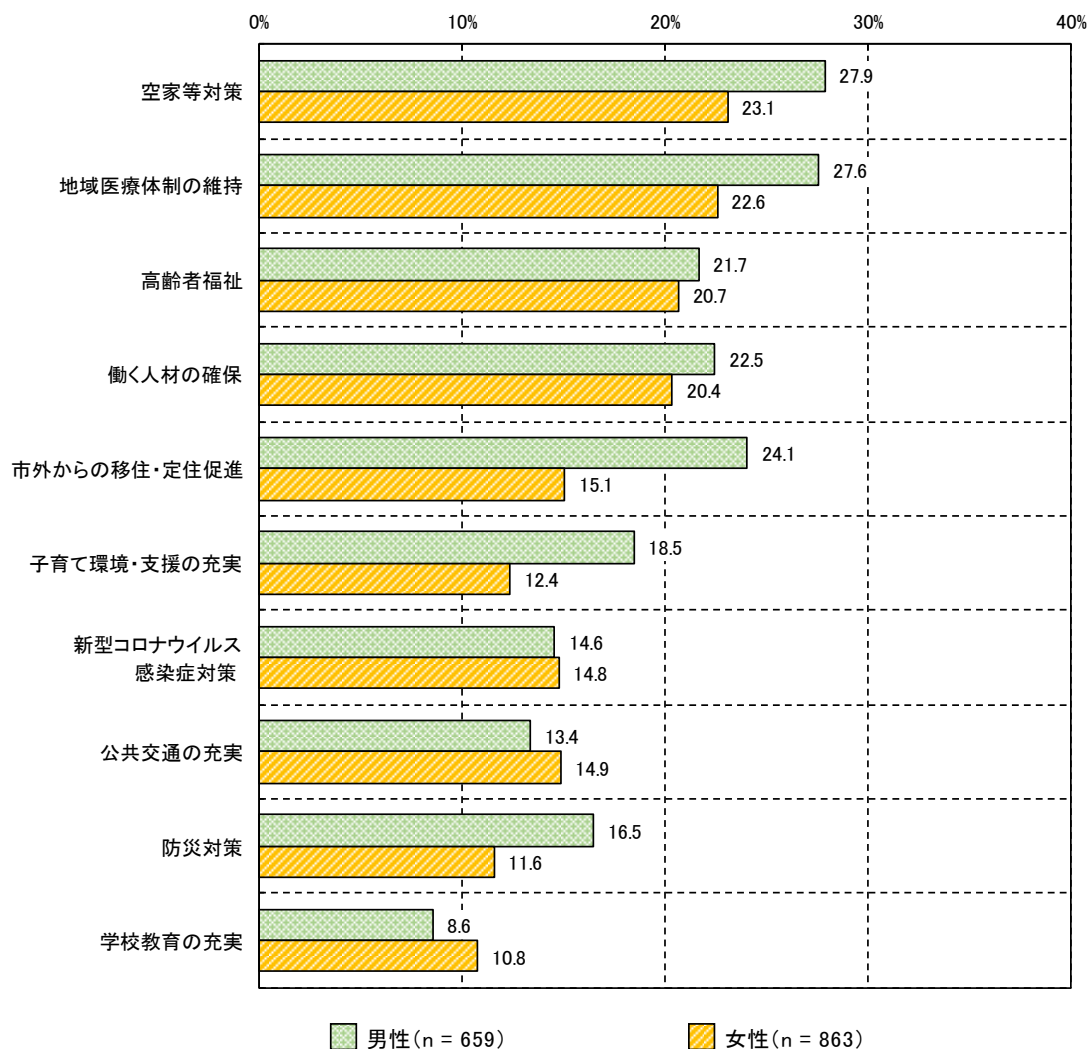
全体（図 10-3-1）でみると、「空家等対策」が 25.3%と最も高く、次いで「地域医療体制の維持」（24.9%）、「高齢者福祉」「働く人材の確保」（21.3%）の順となっている。

図 10-3-1 重点的に進めるべきだと思う分野



性別（図 10-3-2）でみると、男女ともに「空家等対策」が最も高く、男性が 27.9%、女性が 23.1%となっており、男性が女性より 4.8 ポイント高くなっている。次いで、男女ともに「地域医療体制の維持」の割合が高くなっている。「市外からの移住・定住促進」では男性が女性より 9.0 ポイント高くなっている。

図 10-3-2 【性別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



年代別（図 10-3-3）でみると、16～19 歳は「高齢者福祉」「公共交通の充実」が 21.6%と最も高く、20 歳代は「高齢者福祉」「子育て環境・支援の充実」が 30.6%、30 歳代は「子育て環境・支援の充実」が 32.0%と最も高くなっている。また、40 歳代、50 歳代、60 歳代は「地域医療体制の維持」が、70 歳以上では「空家等対策」が最も高くなっている。

図 10-3-3 【年代別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)

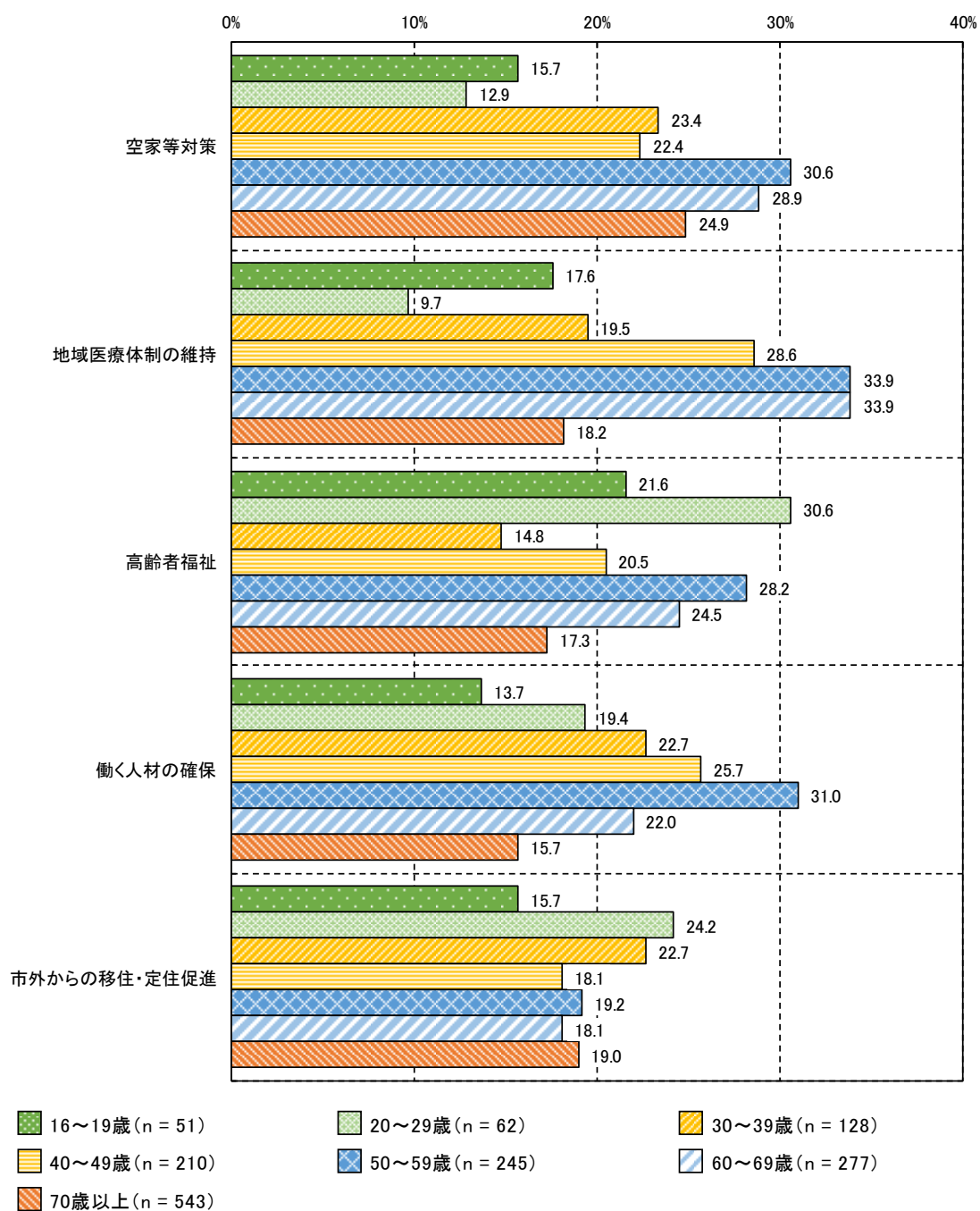
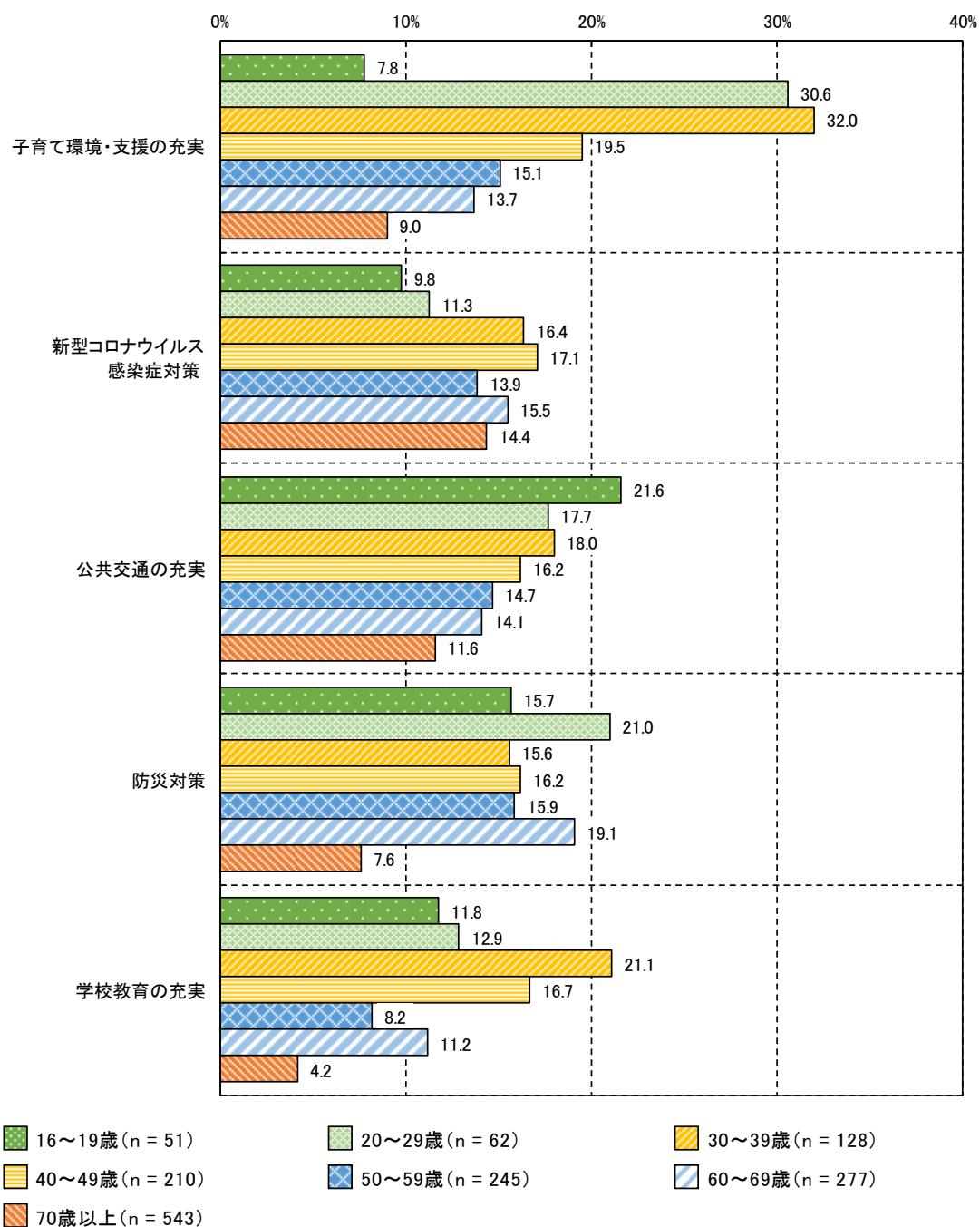
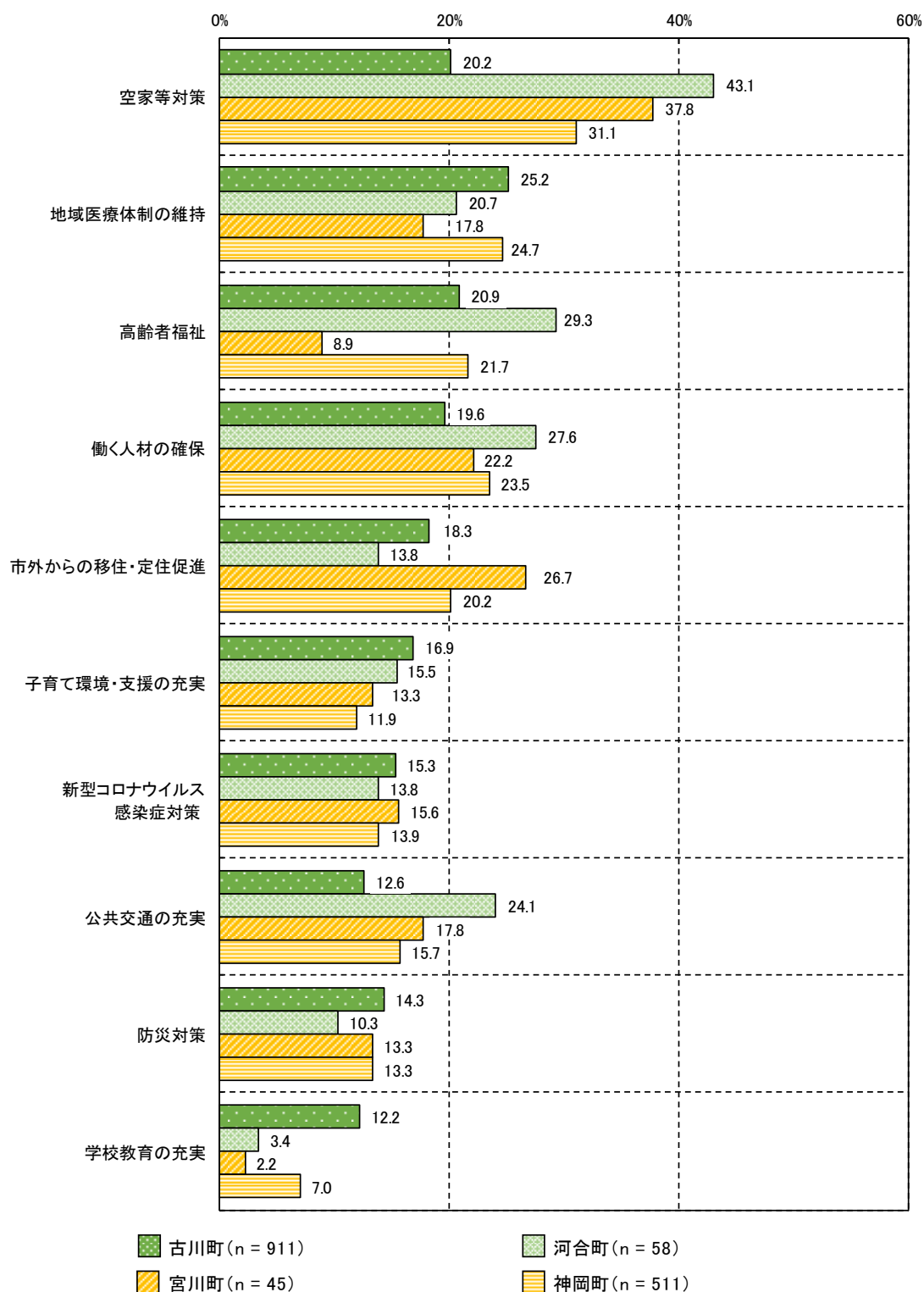


図 10-3-3 【年代別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策) (続き)



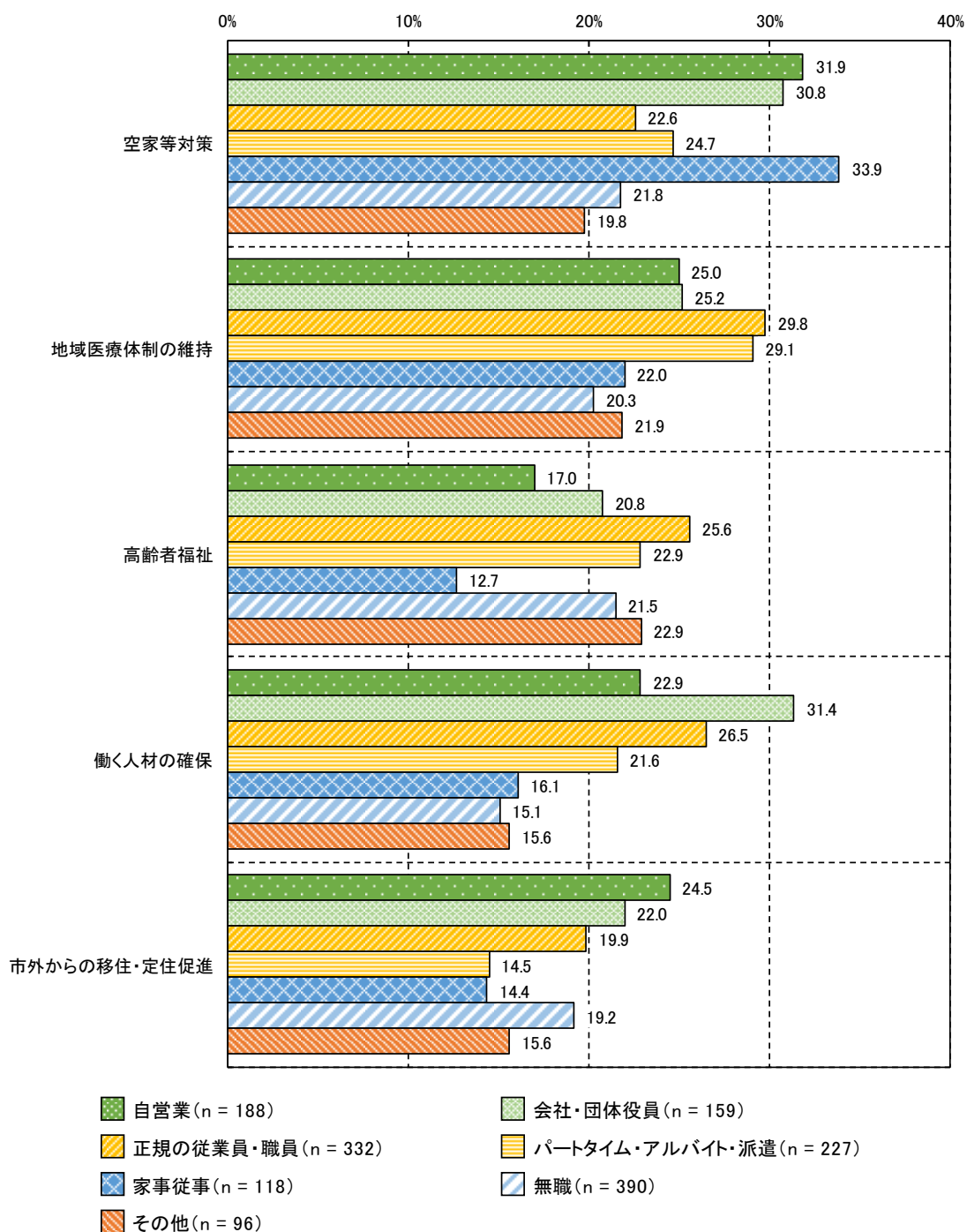
居住地別（図 10-3-4）でみると、古川町を除くいずれの居住地においても「空家等対策」が最も高く、そのうち河合町が 43.1%と最も高くなっている。古川町では「地域医療体制の維持」が 25.2%と最も高くなっている。

図 10-3-4 【居住地別】 重点的に進めるべきだと思う分野（上位 10 施策）



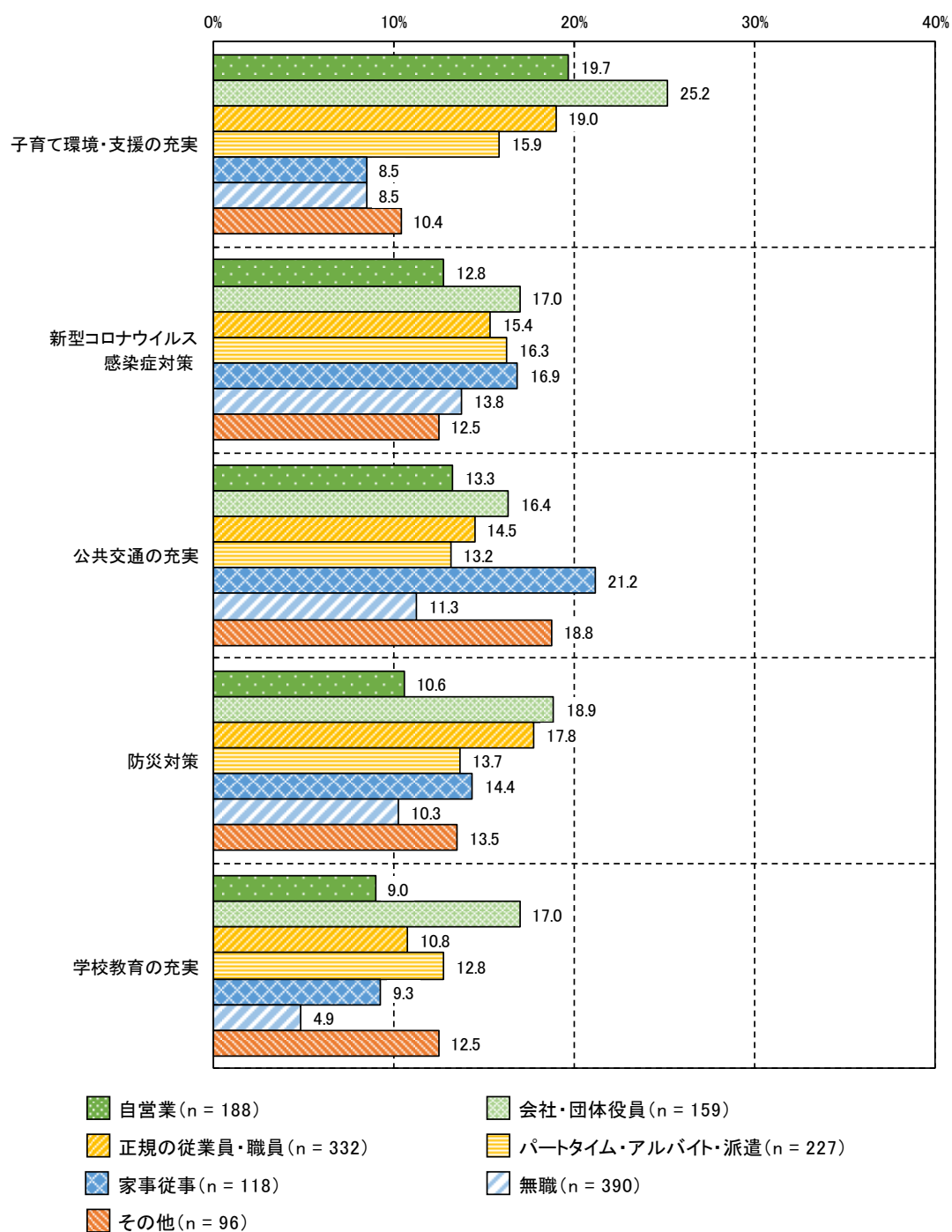
職業別（図 10-3-5）でみると、自営業、家事従事、無職は「空家等対策」が最も高く、正規の従業員・職員、パートタイマーアルバイト・派遣は「地域医療体制の維持」が最も高くなっている。「働く人材の確保」では会社・団体役員が 31.4%と最も高くなっている。

図 10-3-5 【職業別】 重点的に進めるべきだと思う分野（上位 10 施策）



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-3-5 【職業別】 重点的に進めるべきだと思う分野（上位 10 施策）（続き）



※ その他には、自由業、学生を含む。

問11 自由意見

問11 飛騨市の市政について、ご意見やご要望がありましたらご自由にご記入ください。

内容	件数
【市政全般】	90
・ 市長（市政）への評価と期待	54
・ 市政に関する要望	16
・ 税金の減税や使い道の見直し	7
・ 議員定数の見直し（削減）	4
・ 市議会議員の活動への要望	2
・ 市政について関心がない・よくわからない	7

【新型コロナウイルス感染症対策等】	15
・ 新型コロナウイルス感染症対策への評価と期待	7
・ 密を避ける制限や対策の見直し	3
・ 経済や生活への不安	3
・ 飛騨市でのPCR検査実施	2

【人口・移住・定住】	36
・ 人口増加への対策と支援	14
・ 人口減少と未婚者の増加への不安	4
・ 若者が定住できる対策と支援	16
・ 移住者の評価	1
・ 定住者の不満	1

【都市基盤（道路・河川・水道等）・公共交通】	51
・ 道路・歩道の整備	8
・ 道路工事への不満	3
・ 道路整備への評価	1
・ 河川の整備	1
・ 公共交通の充実	18
・ 路線バスの存続	1
・ ゴミ袋の値段への不満	5
・ ゴミ処理費用への不満	3
・ 資源ごみの捨て方への不満	2

・ ゴミ持ち込み、引き取りに関する評価	2
・ 市営の共同墓地建設への要望	1
・ 一般廃棄物・産業廃棄物併用の管理型最終処分場の設置	1
・ 高山市のようなサービスの充実	3
・ 融雪剤の量への不満	1
・ 上水道・下水道の料金への不満	1

【就業・企業誘致・産業振興・雇用】	29
・ 優良企業や大規模工場の誘致	12
・ 若者への就労支援	4
・ 高齢者への就労支援	2
・ 農業振興	3
・ 特産品の創出	2
・ 人材発掘と自然産業等のPR	1
・ 経済重視の政策	1
・ 非正規職員等への処遇改善強化	1
・ 老人福祉施設等の人手不足解消	1
・ 流葉スキー場発展への協力	1
・ 地元企業優遇への要望	1

【観光・イベント・レジャー・商業施設】	19
・ 観光施策の推進、観光資源のPR	3
・ 北ノ俣岳登山道の整備	1
・ 婚活イベント等の実施	1
・ 駅前や観光地での商業施設の充実	9
・ スーパー銭湯の誘致	2
・ 地域による商業施設の偏り	2
・ 道の駅の活性化	1

【生活環境・住環境・景観保全】	23
・ 住みやすい環境づくり	6
・ 生活環境への不満と不安	3
・ 空き家対策	5
・ 市営住宅周辺の点検	1
・ 住居の集中化（コンパクト化）	1
・ 害虫・害獣駆除	2
・ 環境整備と維持	4
・ バイパス沿いの景観整備	1

【防災・防犯・交通安全】	13
・ 土砂災害・水害対策への要望	4
・ 災害時の情報提供等	4
・ 避難場所に対する不安	2
・ 各地域の防災士増員	1
・ 交通安全の充実	1
・ 住宅地での取り締まり強化	1

【公共施設・公園の整備】	8
・ 公共施設・用地の整備	1
・ 公共施設の利便性	1
・ 公園の管理・整備	3
・ ウォーキングやドッグラン等の施設の充実	3

【住民自治・市民参画・地域活動】	9
・ 祭りへの参加人数の減少	4
・ 回覧板の廃止・見直し、町内会配布物の見直し	4
・ 町内会の負担軽減	1

【モラル・マナー】	4
・ 町内のコミュニケーション不足（挨拶無視等）	1
・ 私用地への不法侵入	1
・ 違法駐車	1
・ 自宅でのゴミ焼き	1

【医療・介護・福祉】	30
・ 医療施設や医療体制の充実	9
・ 介護施設や老人介護の充実	10
・ 福祉への取り組みに対する評価	4
・ 介護・福祉への不満	3
・ 老後の心配	2
・ 若い介護士の増員	1
・ 不妊治療への支援	1

【子育て・教育】	22
・ 子育て支援への評価	2
・ 子育て支援充実への要望	7
・ 保育園への要望	1
・ 小中学校への要望	2
・ 高校への要望	1
・ 大学の誘致	3
・ 学校教育への要望	5
・ 学校教育への評価	1

【学習・文化芸術・スポーツ】	4
・ スポーツ施設の充実	2
・ 屋内施設の設備の充実	1
・ 老後のサークル活動の充実	1

【情報通信・情報公開・市報】	22
・ 防災行政無線放送に対する要望	7
・ 情報インフラの整備（Wi-Fi 整備等）	4
・ 情報の入手方法	3
・ 情報公開に対する評価	2
・ 広報に対する批判	2
・ ケーブルテレビの内容の充実	2
・ AM・FMラジオが受信しにくい	2

【職員の対応・意識等】	19
・ 職員への評価と期待	9
・ 職員への苦情	4
・ 職員の評価制度導入	1
・ 職員の働き方改革	1
・ 職員への新型コロナウイルス感染症対策の徹底	1
・ 各課の情報共有	1
・ オンライン化の推進	1
・ パート公務員の時給を上げる	1

【その他】	21
・ 特になし	7
・ よくわからない	8
・ 世論調査への評価	3
・ 世論調査への批判	1
・ 世論調査への提案	1
・ 生きがいについて	1

Ⅲ 資料

3. 1 単純集計結果

令和2年度 飛騨市 市政世論調査

単純集計結果

令和2年9月実施

飛騨市

目 次

I	調査概要.....	1
1. 1	調査の目的.....	1
1. 2	調査項目.....	1
1. 3	調査の設計.....	1
1. 5	回収結果.....	1
1. 6	標本誤差.....	2
1. 7	報告書の見方.....	2
1. 8	対象者の属性.....	3
II	調査結果.....	7
2. 1	暮らしについて.....	7
問1	暮らしの前年比較.....	7
問1-2	暮らしが苦しくなったと感じる理由.....	8
問2	暮らしの満足度.....	9
問3	生活面での不安.....	10
問4	今後の暮らしの中で重視していきたいこと.....	11
問5	生活に必要な情報の入手媒体.....	12
問6	現在住んでいる地域は住みやすいか.....	13
問6-2	住んでいる地域が住みやすいと感じる点.....	14
問6-3	住んでいる地域が住みにくいと感じる点.....	15
問7	今後も飛騨市に住み続けたいか.....	16
2. 2	市の取組み全般について.....	17
問8	施策や事業についての情報の入手方法.....	17
問9	市事業への関心の有無.....	18
問9-2	市事業に関心がない理由.....	19
問10	市の取り組みで（１）よくやっていると思う分野 （２）努力が足りないと思う分野 （３）今後、市が重点的に進めるべきだと思う分野.....	20

I 調査概要

1. 1 調査の目的

飛騨市民の意識、興味、関心、満足度などを調査し、全体把握することにより、政策の足らざる分野、見直しの必要な分野などを探り、政策立案の基礎資料とする。

1. 2 調査項目

- (1) くらしについて
- (2) 市の取組み全般について

1. 3 調査の設計

- (1) 調査地域 飛騨市全域
- (2) 調査対象 飛騨市内在住の満16歳以上の男女個人(約20,000人)
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 令和2年9月16日～9月31日
- (7) 調査実施機関 株式会社 中部タイム・エージェント

1. 5 回収結果

標本数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B/A)	有効回答率 (C/A)
2,000	1,563	1,562	78.2%	78.1%

1. 6 標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果をみる場合、一定の幅を持たせてみる必要がある。その幅を標本誤差といい、以下の式で表される。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad (\text{ただし、} P : \text{回答比率} \quad n : \text{回答者数})$$

すなわち、標本誤差の幅は①回答者数（ n ）及び②回答比率（ P ）によって異なる。上式を用いた各回答者数、回答比率における標本誤差を以下の表に示す。

		P (回答比率 %)									
		5 又は 95	10 又は 90	15 又は 85	20 又は 80	25 又は 75	30 又は 70	35 又は 65	40 又は 60	45 又は 55	50
総数	1,562	1.1	1.5	1.8	2.0	2.1	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5

(注) 1.層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。

2.この表の見方は以下のとおりである。

「ある設問の回答者数が 1,562 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.5%である。」

1. 7 報告書の見方

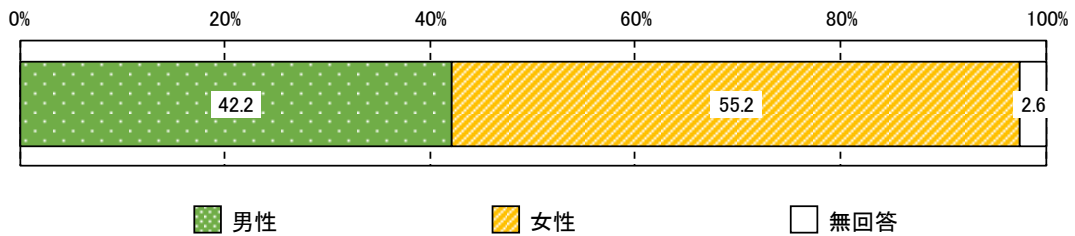
- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「 n 」(件数)として掲載した。したがって比率は、 n を 100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「 N 」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

1. 8 対象者の属性

F-1 性別

図 F-1 性別

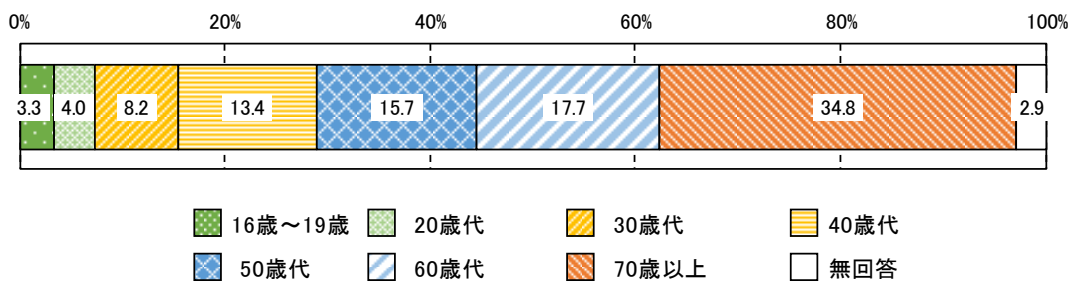
回答者数 (n = 1,562)



F-2 年代

図 F-2 年代

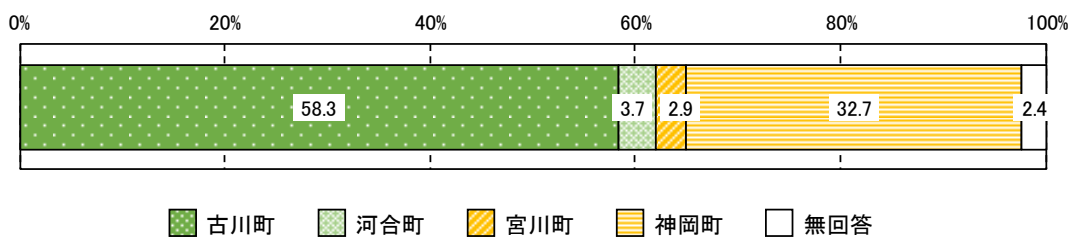
回答者数 (n = 1,562)



F-3 居住地

図 F-3 居住地

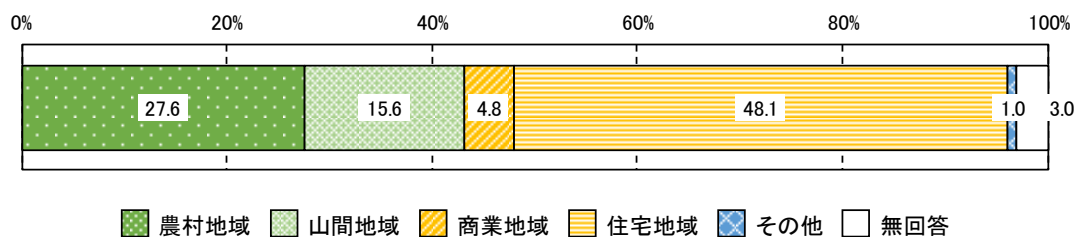
回答者数 (n = 1,562)



F-4 居住地周囲の環境

図 F-4 居住地周囲の環境

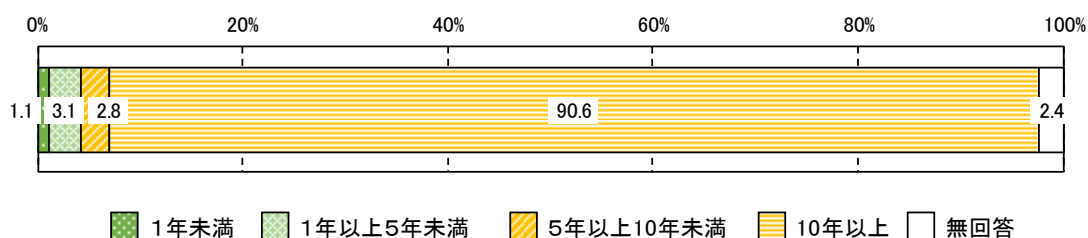
回答者数 (n = 1,562)



F-5 居住年数

図 F-5 居住年数

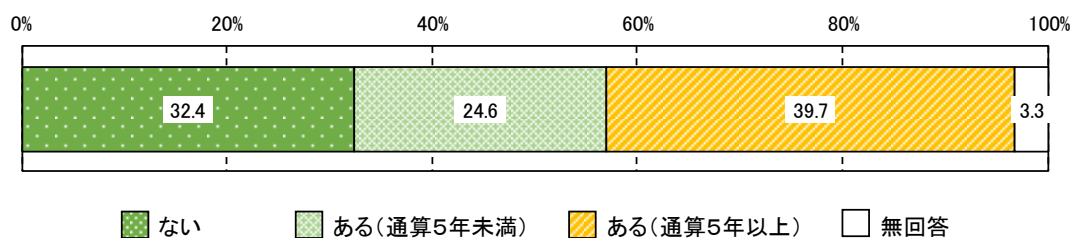
回答者数 (n = 1,562)



F-6 市外居住経験の有無

図 F-6 市外居住経験の有無

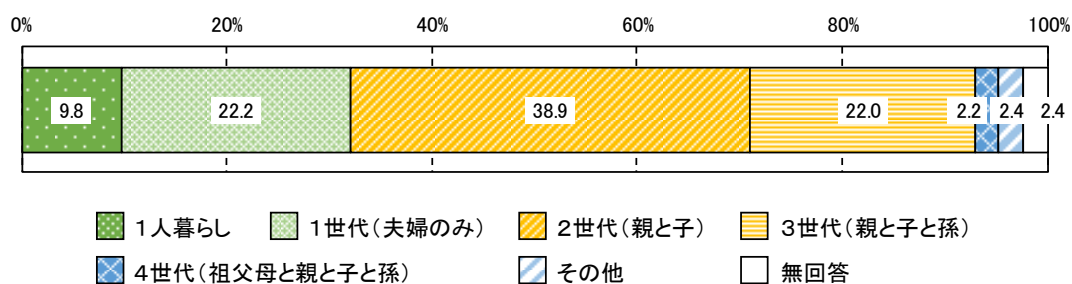
回答者数 (n = 1,562)



F-7 家族形態

図 F-7 家族形態

回答者数 (n = 1,562)

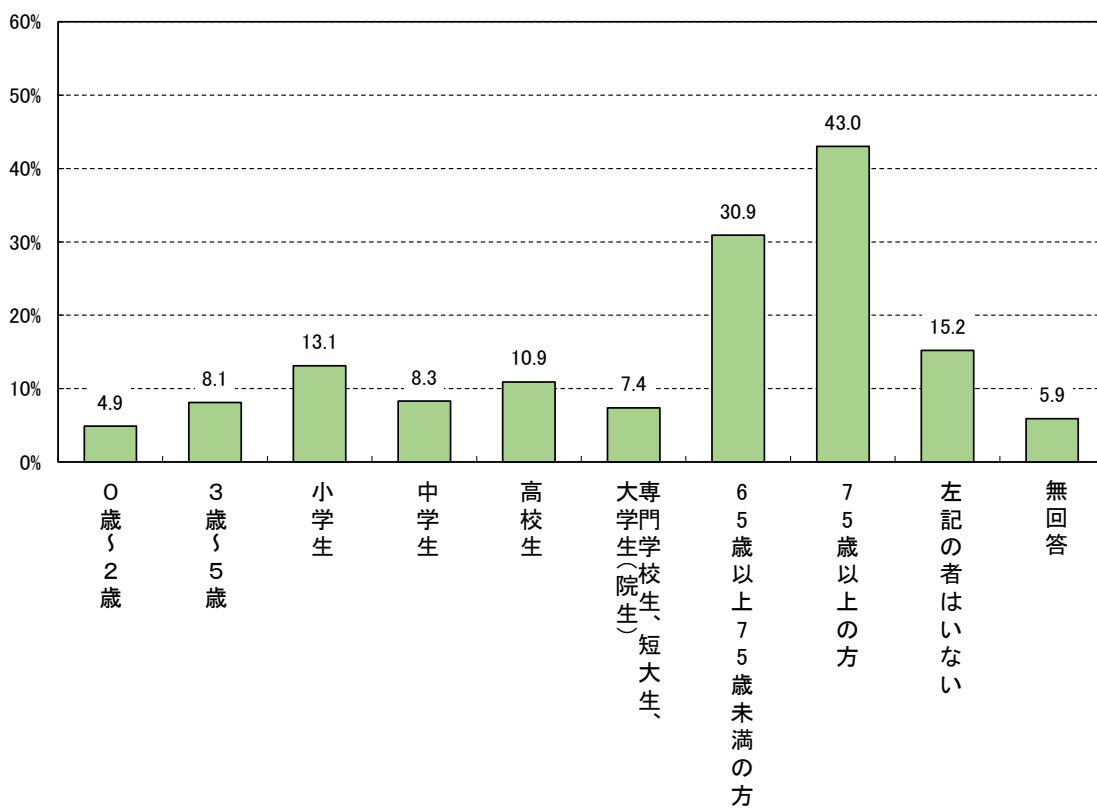


F-8 家族構成

図 F-8 家族構成

回答者数 (n = 1,562)

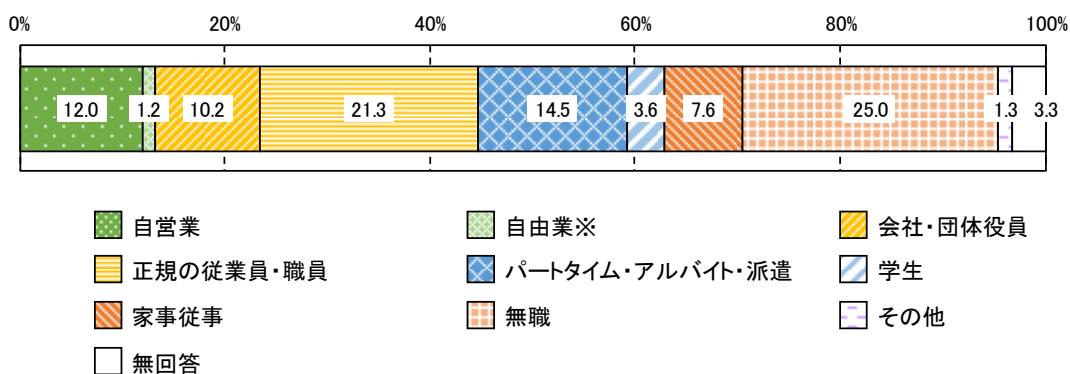
総回答数 (N = 2,306)



F-9 職業

図 F-9 職業

回答者数 (n = 1,562)

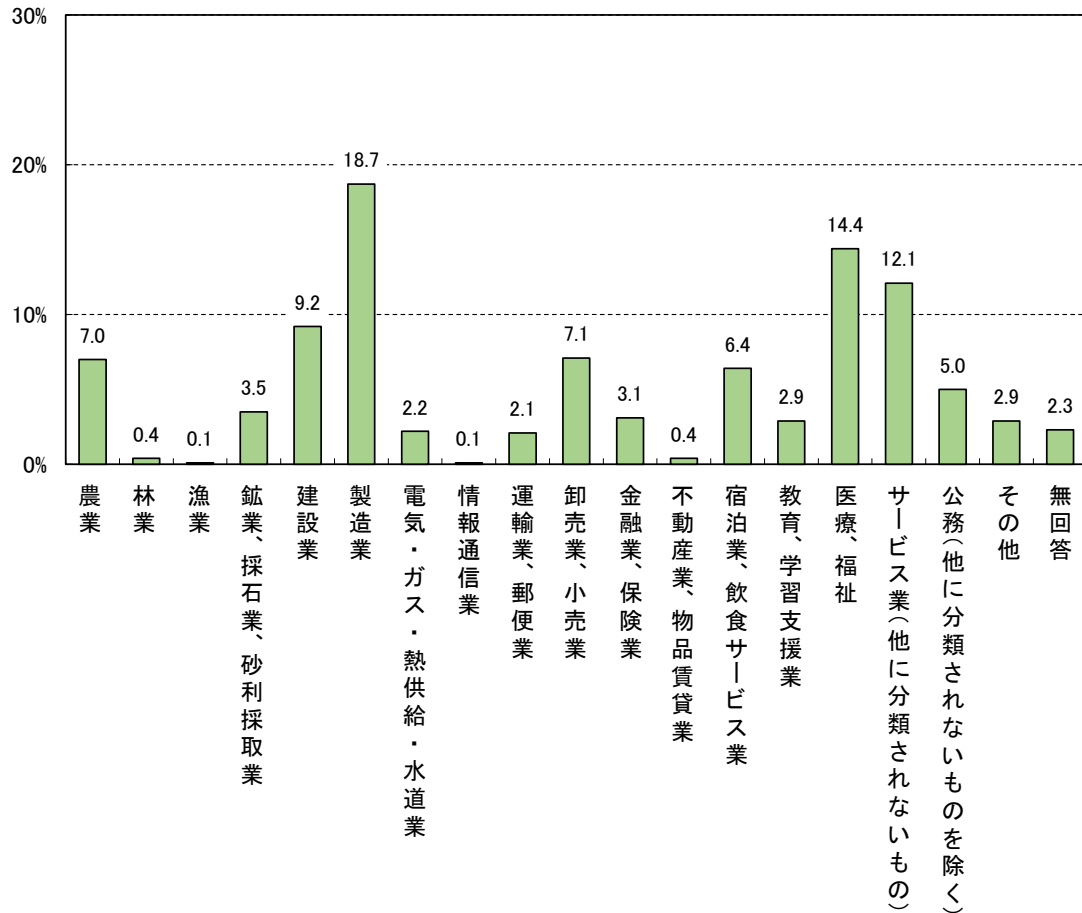


※ 自由業: 一定の雇用関係によらず、勤務時間その他の制約を受けない職業。作家、弁護士、医師、会計士、税理士、芸術家など

F-10 業種

図 F-10 業種

回答者数 (n = 924)※

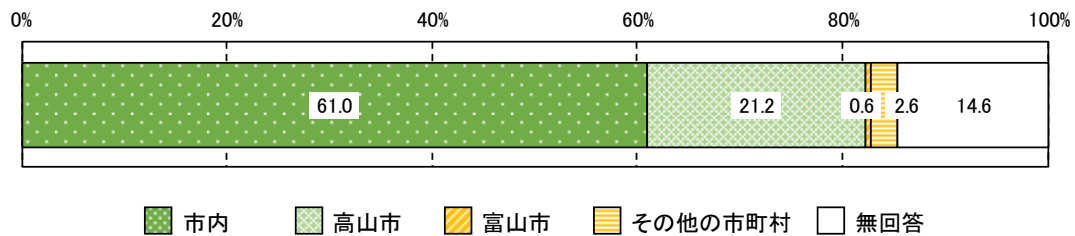


※ 「F9 職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣と答えた方のみ

F-11 通勤、通学先

図 F-11 通勤、通学先

回答者数 (n = 979)※



※ 「F9 職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、学生と答えた方のみ

Ⅱ 調査結果

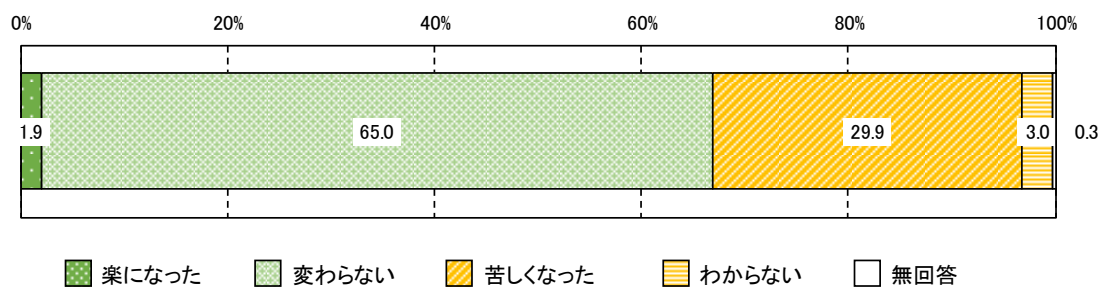
2. 1 暮らしについて

問1 暮らしの前年比較

問1 あなたやあなたの家庭の暮らし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうですか。
（1つだけ）

図1 暮らしの前年比較

回答者数(n = 1,562)



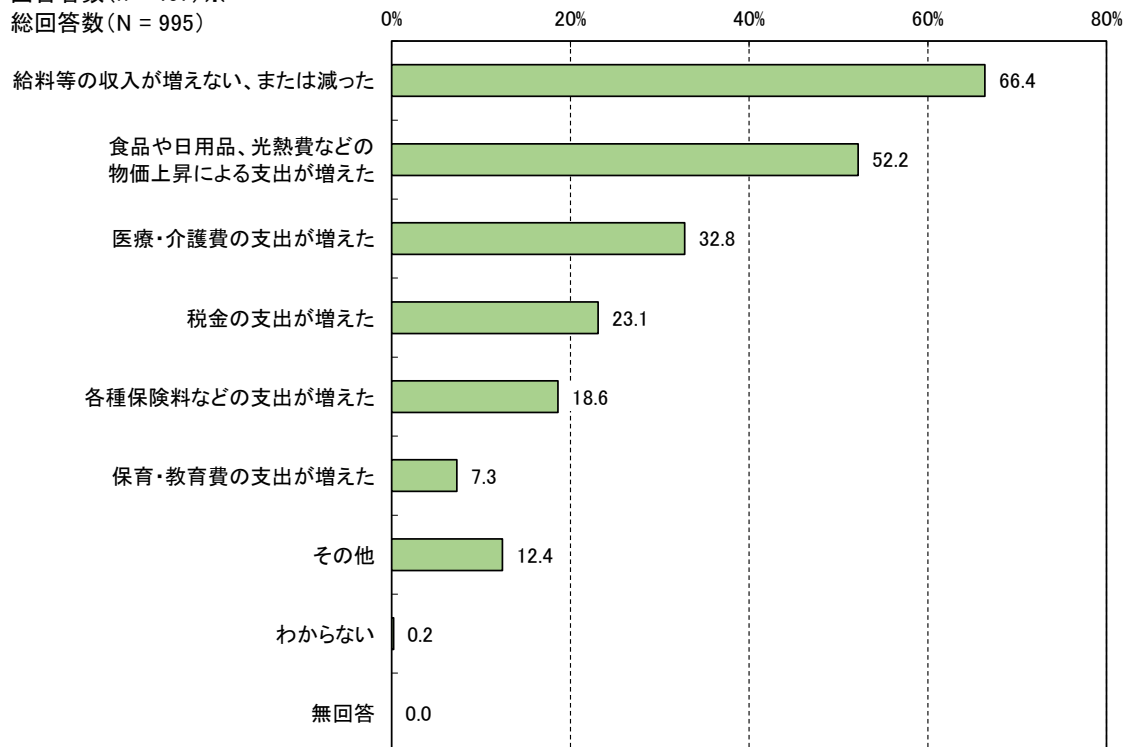
問1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由

問1-2 「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、暮らしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。
(3つまで)

図1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由

回答者数(n = 467)※
総回答数(N = 995)



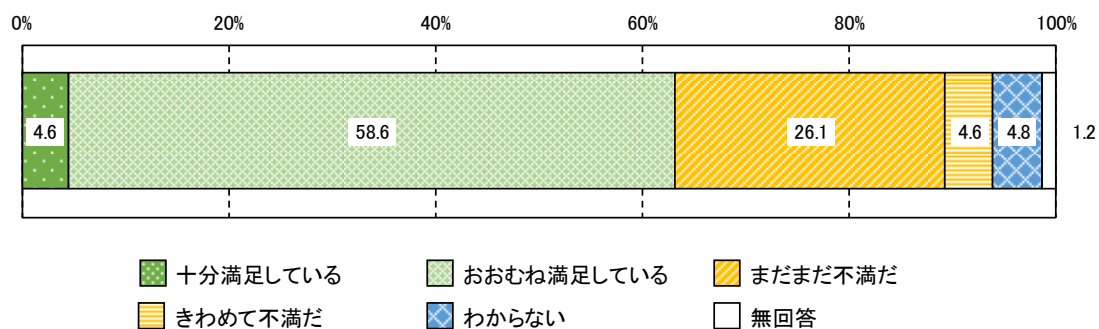
※ 問1で「苦しくなった」と答えた方のみ

問2 暮らしの満足度

問2 あなたは、現在の暮らし全般（生活環境など）についてどう思いますか。（1つだけ）

図2 暮らしの満足度

回答者数 (n = 1,562)



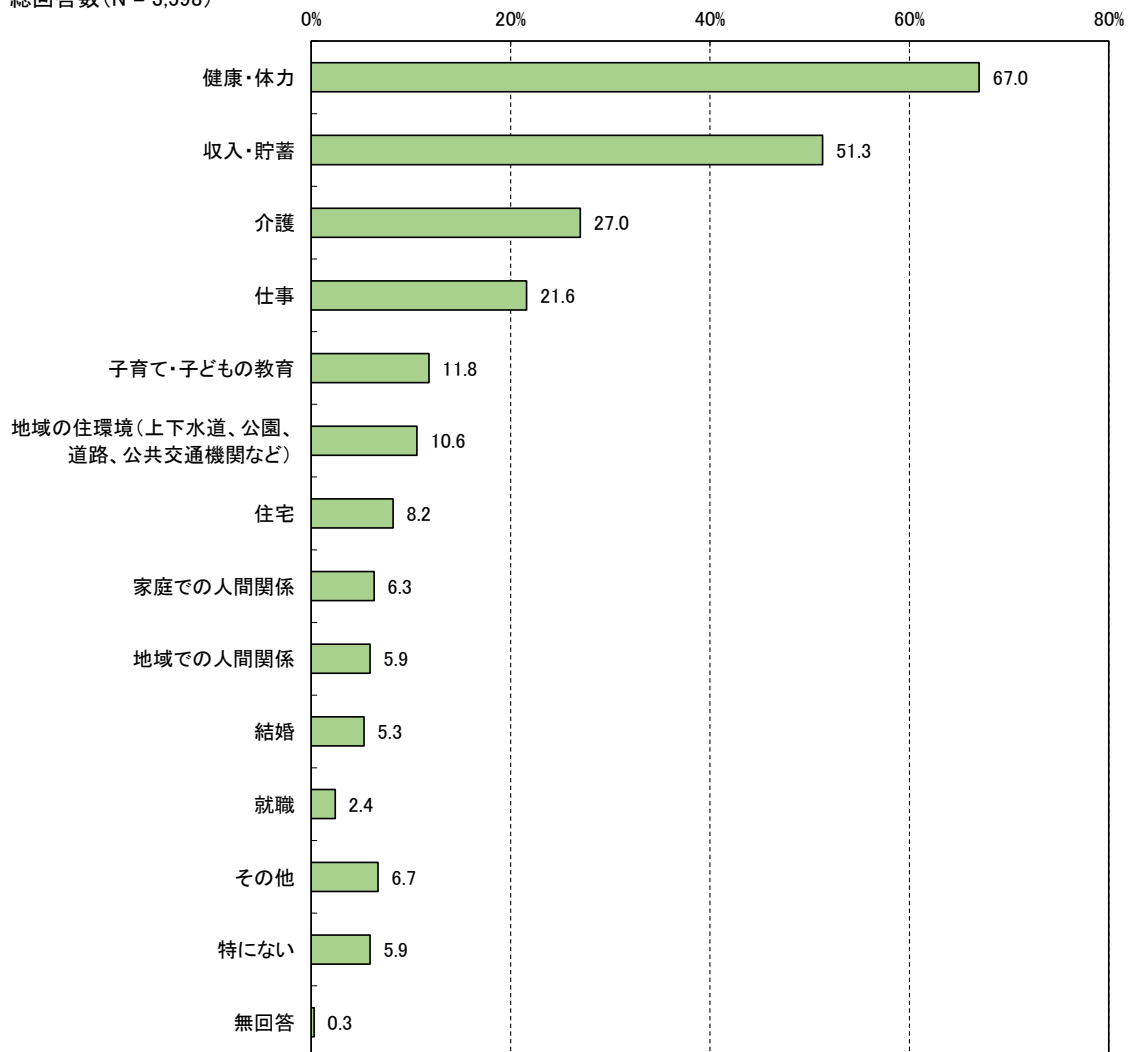
問3 生活面での不安

問3 あなたは、日頃の暮らしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(3つまで)

図3 生活面での不安

回答者数(n = 1,562)

総回答数(N = 3,598)



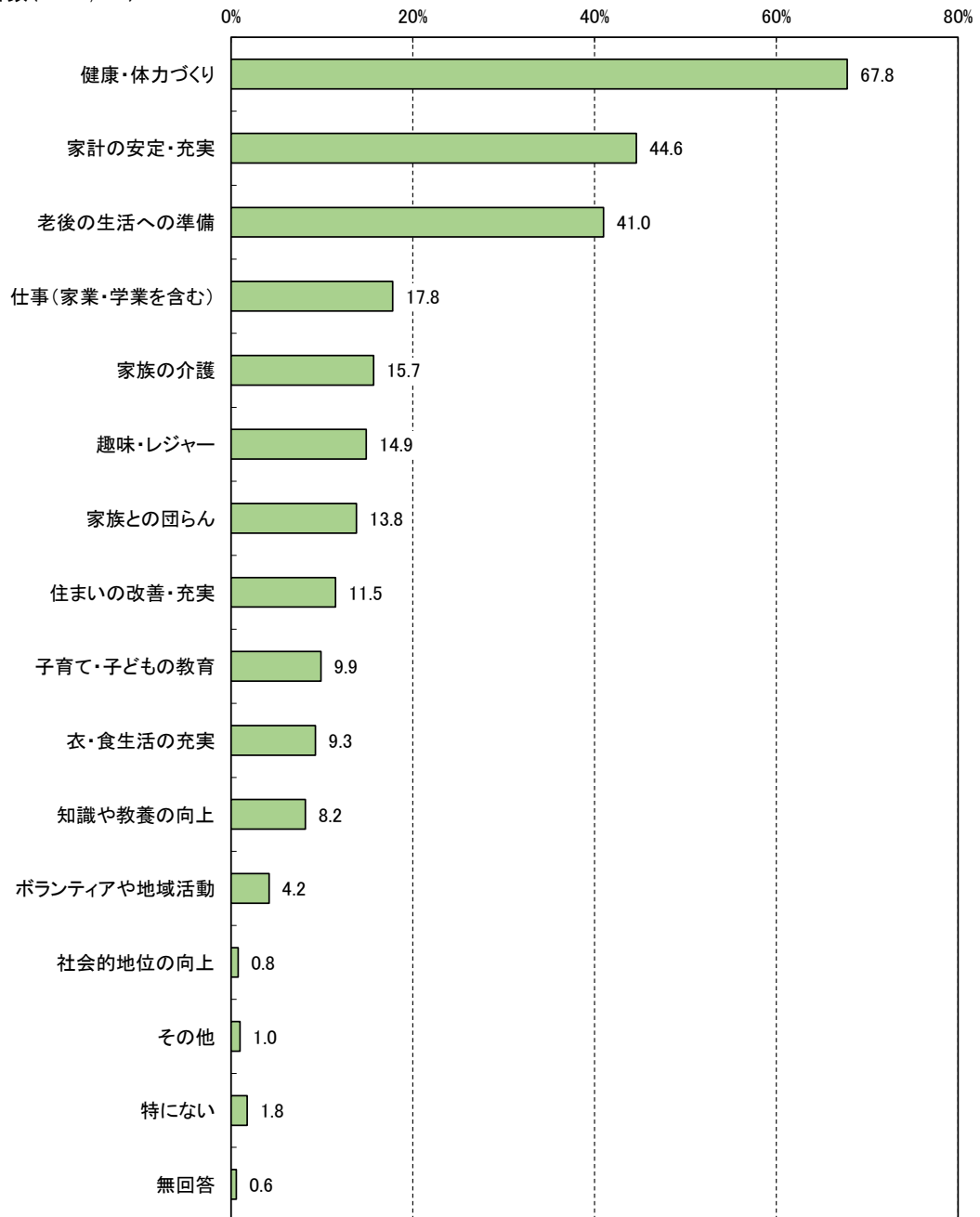
問4 今後の暮らしの中で重視していきたいこと

問4 あなたが、今後の暮らしの中で重視していきたいと思うことは何ですか。(3つまで)

図4 今後の暮らしの中で重視していきたいこと

回答者数(n = 1,562)

総回答数(N = 4,105)



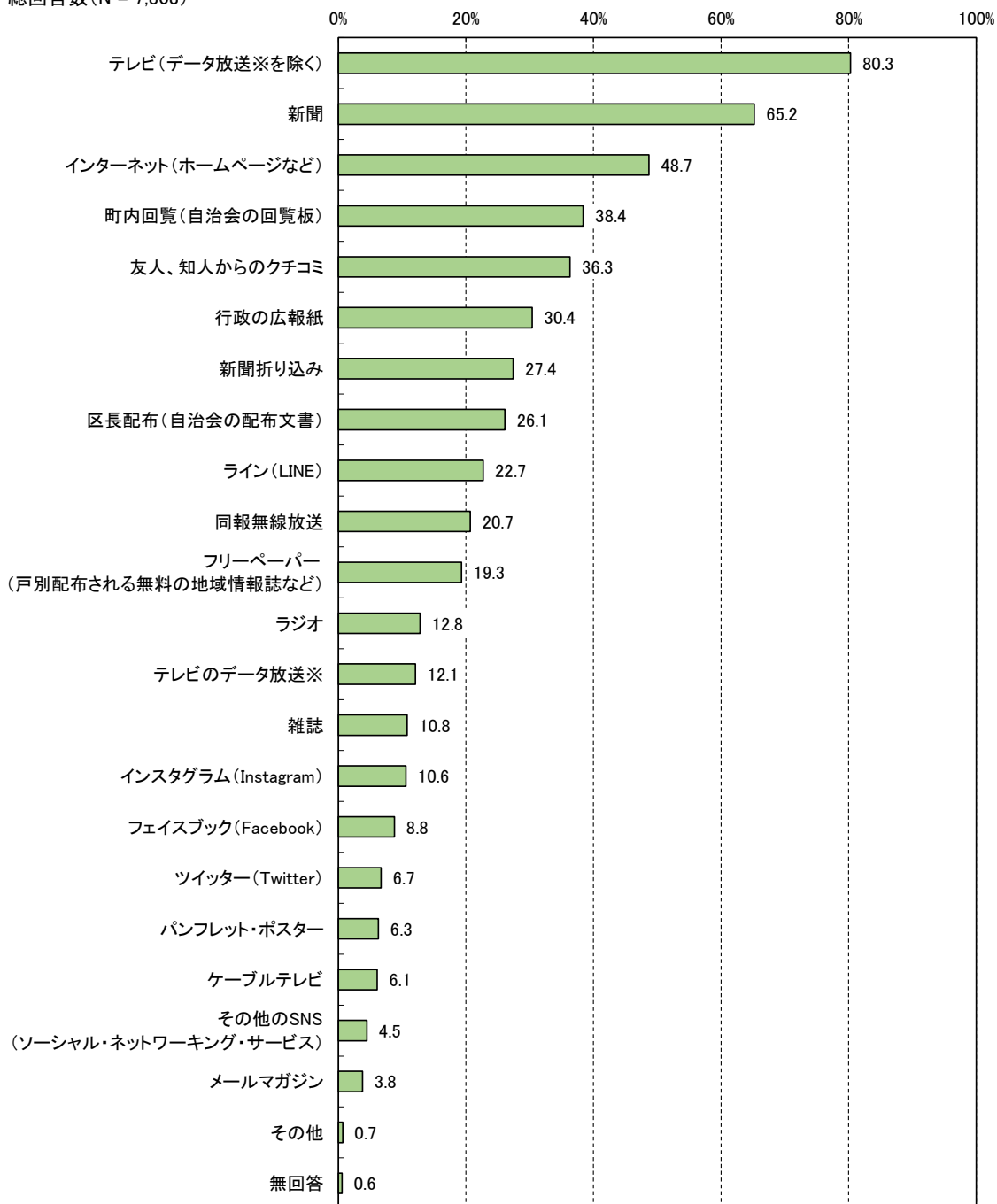
問5 生活に必要な情報の入手媒体

問5 あなたは、生活に必要な情報を何から得ていますか。(いくつでも)

図5 生活に必要な情報の入手媒体

回答者数(n = 1,562)

総回答数(N = 7,803)



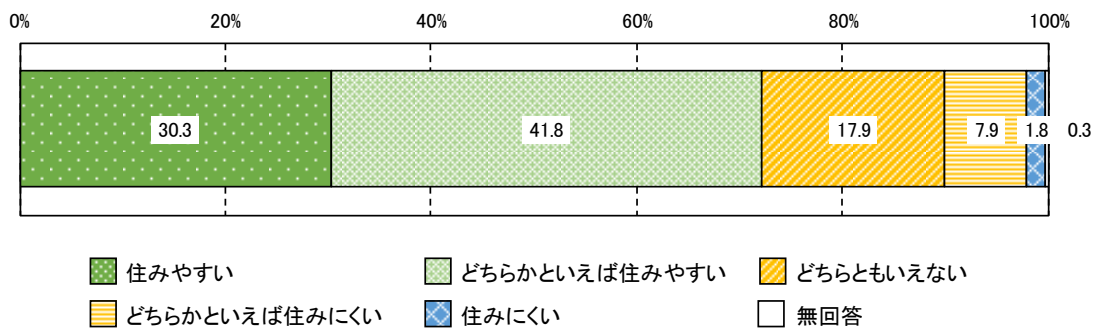
※ データ放送: リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

問6 現在住んでいる地域は住みやすいか

問6 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。（1つだけ）

図6 現在住んでいる地域は住みやすいか

回答者数(n = 1,562)



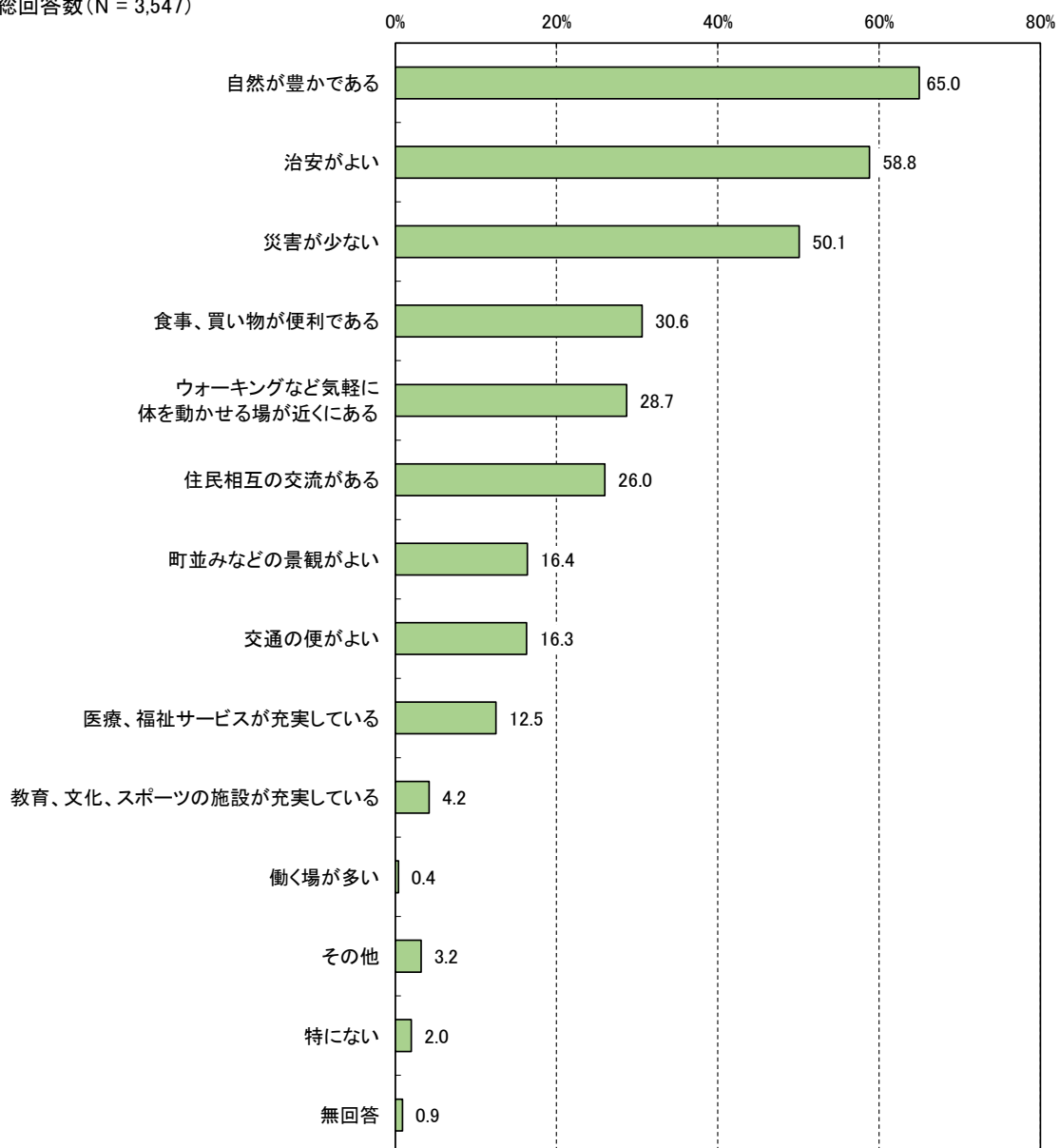
問6-2 住んでいる地域が住みやすいと感じる点

問6-2 「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方にお尋ねします。
 あなたが、現在お住まいの地域が住みやすいと感じるのは、特にどのような点ですか。(いくつでも)

図 6-2 住んでいる地域が住みやすいと感じる点

回答者数(n = 1,126)※

総回答数(N = 3,547)



※ 問6で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみ

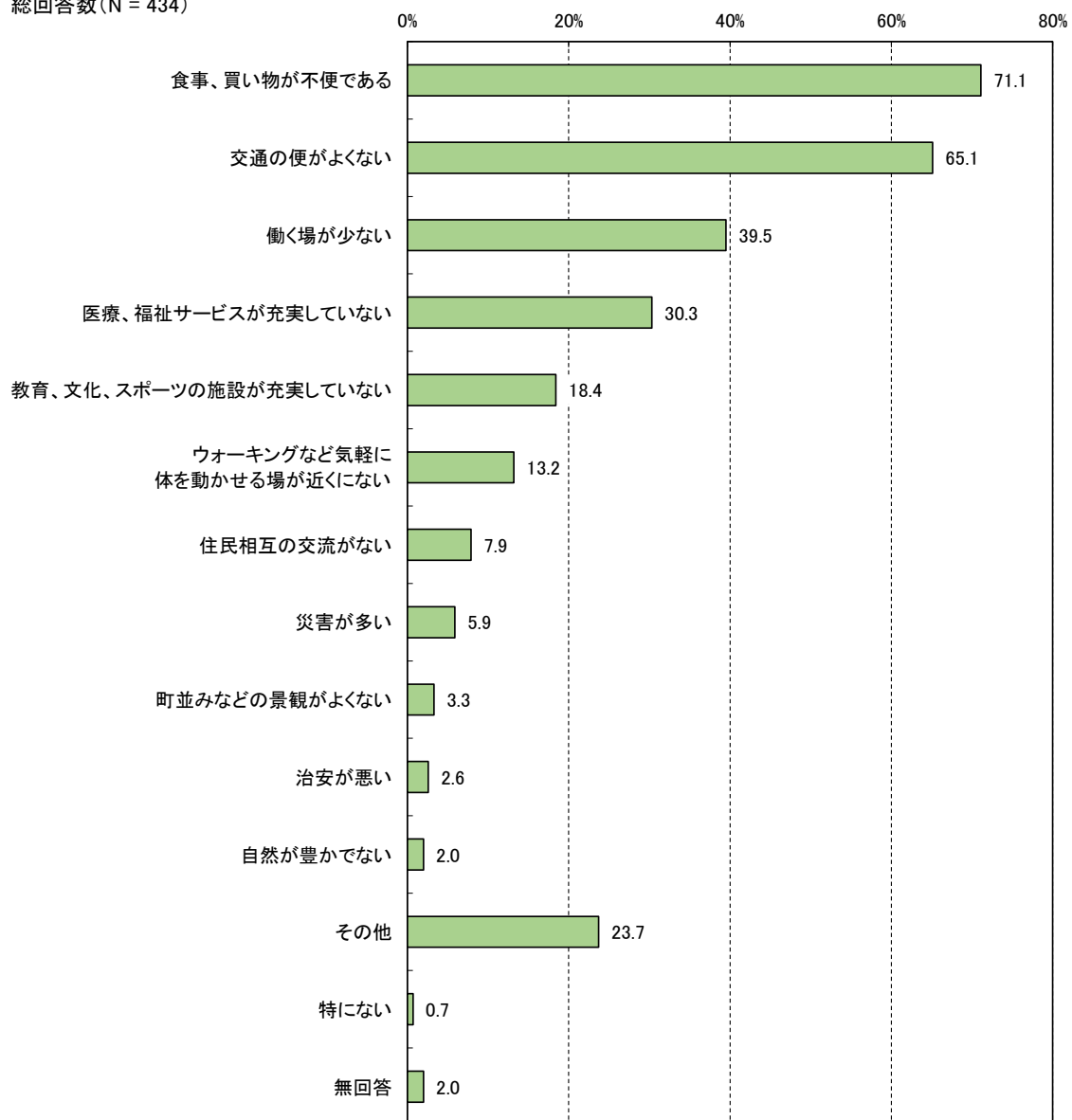
問6-3 住んでいる地域が住みにくいと感じる点

問6-3 「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方にお尋ねします。
あなたが、現在お住まいの地域が住みにくいと感じるのは、特にどのような点ですか。（いくつでも）

図 6-3 住んでいる地域が住みにくいと感じる点

回答者数 (n = 152) ※

総回答数 (N = 434)



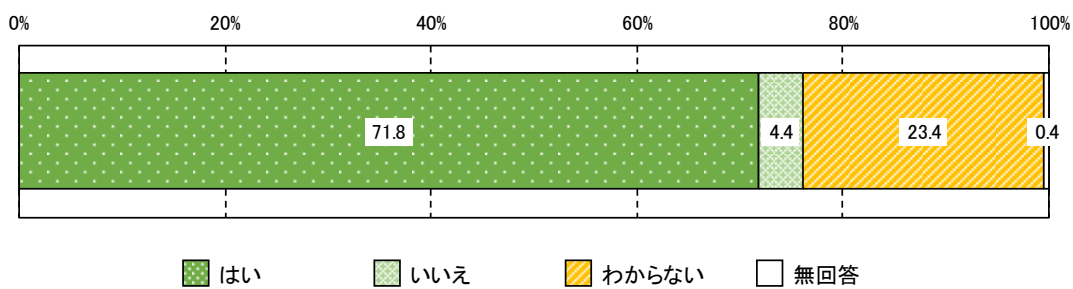
※ 問6で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方のみ

問7 今後も飛騨市に住みたいか

問7 あなたは、今後も飛騨市に住みたいと思いますか。（1つだけ）

図 7-1 今後も飛騨市に住みたいか

回答者数 (n = 1,562)



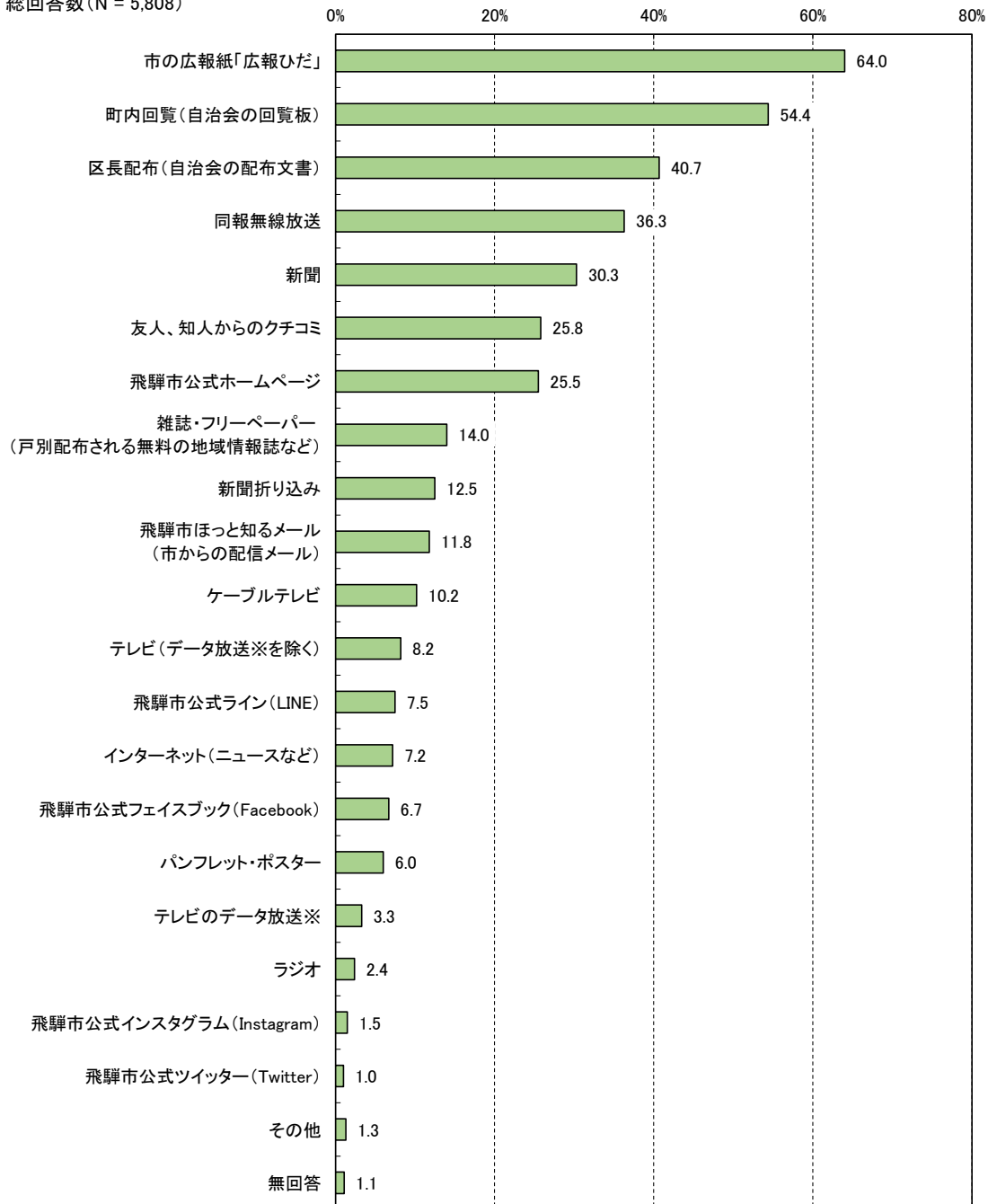
2. 2 市の取組み全般について

問8 施策や事業についての情報の入手方法

問8 あなたは、飛騨市（行政）の施策や事業を、何によって知ることが多いですか。
(いくつでも)

図8 施策や事業についての情報の入手方法

回答者数(n = 1,562)
総回答数(N = 5,808)



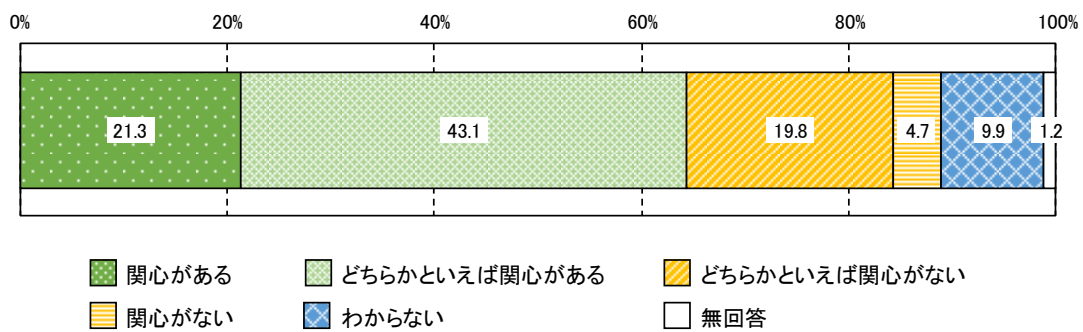
※ データ放送: リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

問9 市事業への関心の有無

問9 あなたは、飛騨市（行政）の事業やその進め方について、関心をお持ちですか。
（1つだけ）

図9 市事業への関心の有無

回答者数(n = 1,562)

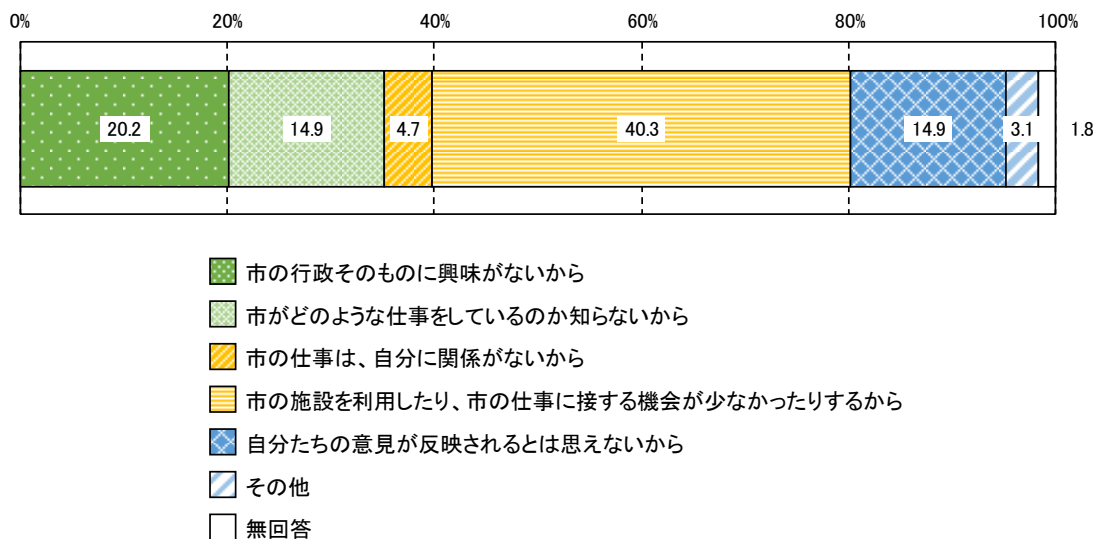


問9－2 市事業に関心がない理由

問9－2 「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方にお尋ねします。
あなたが、飛騨市（行政）の事業やその進め方に関心がないのは、どのような理由からですか。（1つだけ）

図 9-2 市事業に関心がない理由

回答者数(n = 1,562)



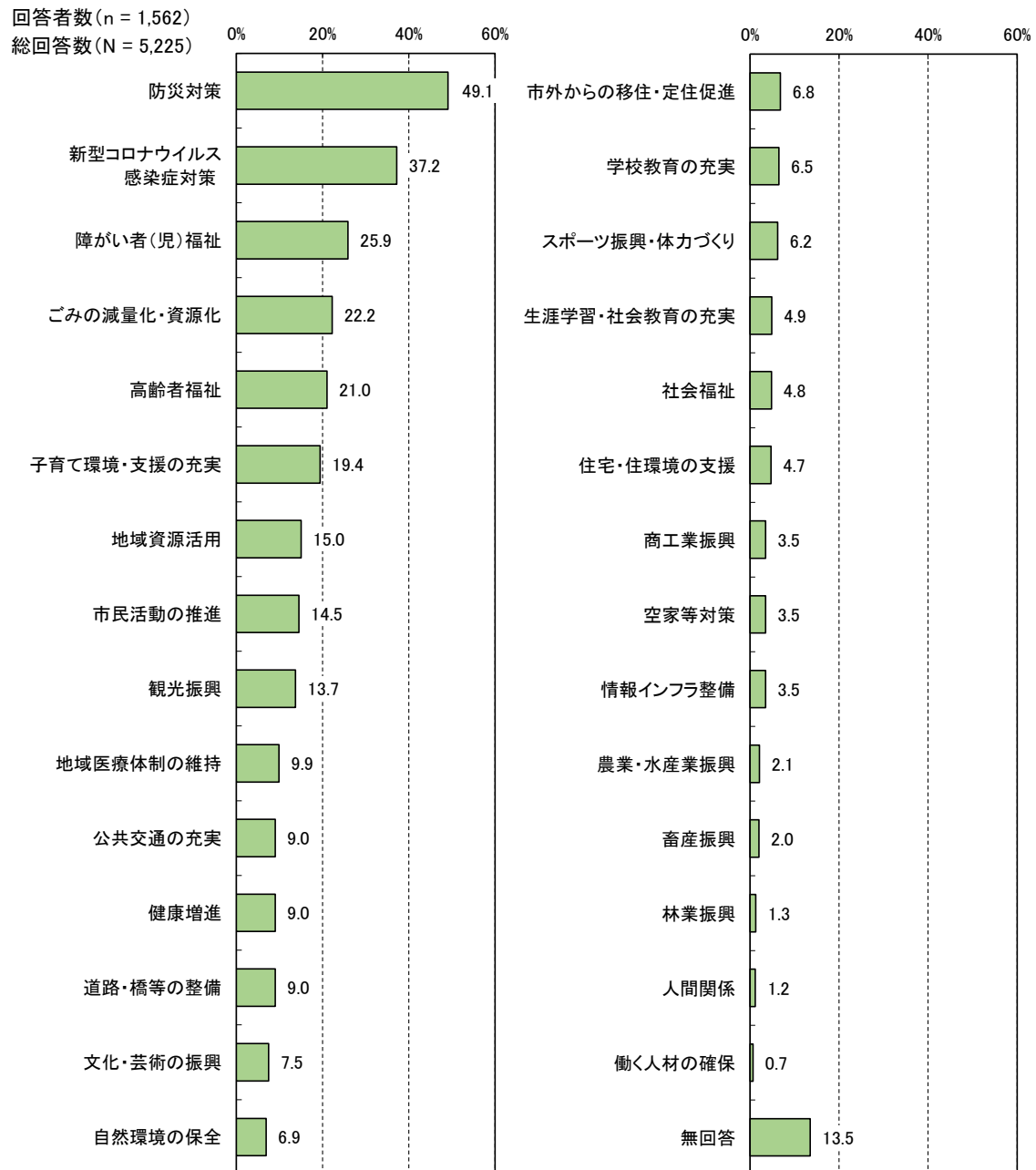
※ 問9で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方のみ

問10 市の取り組みで（１）よくやっていると思う分野、（２）努力が足りないと思う分野、（３）今後、市が重点的に進めるべきだと思う分野

問10 あなたが、市の取り組みについてよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野、今後、市が重点的に進めるべきだと思う分野は、どの分野ですか。
（それぞれ5つまで）

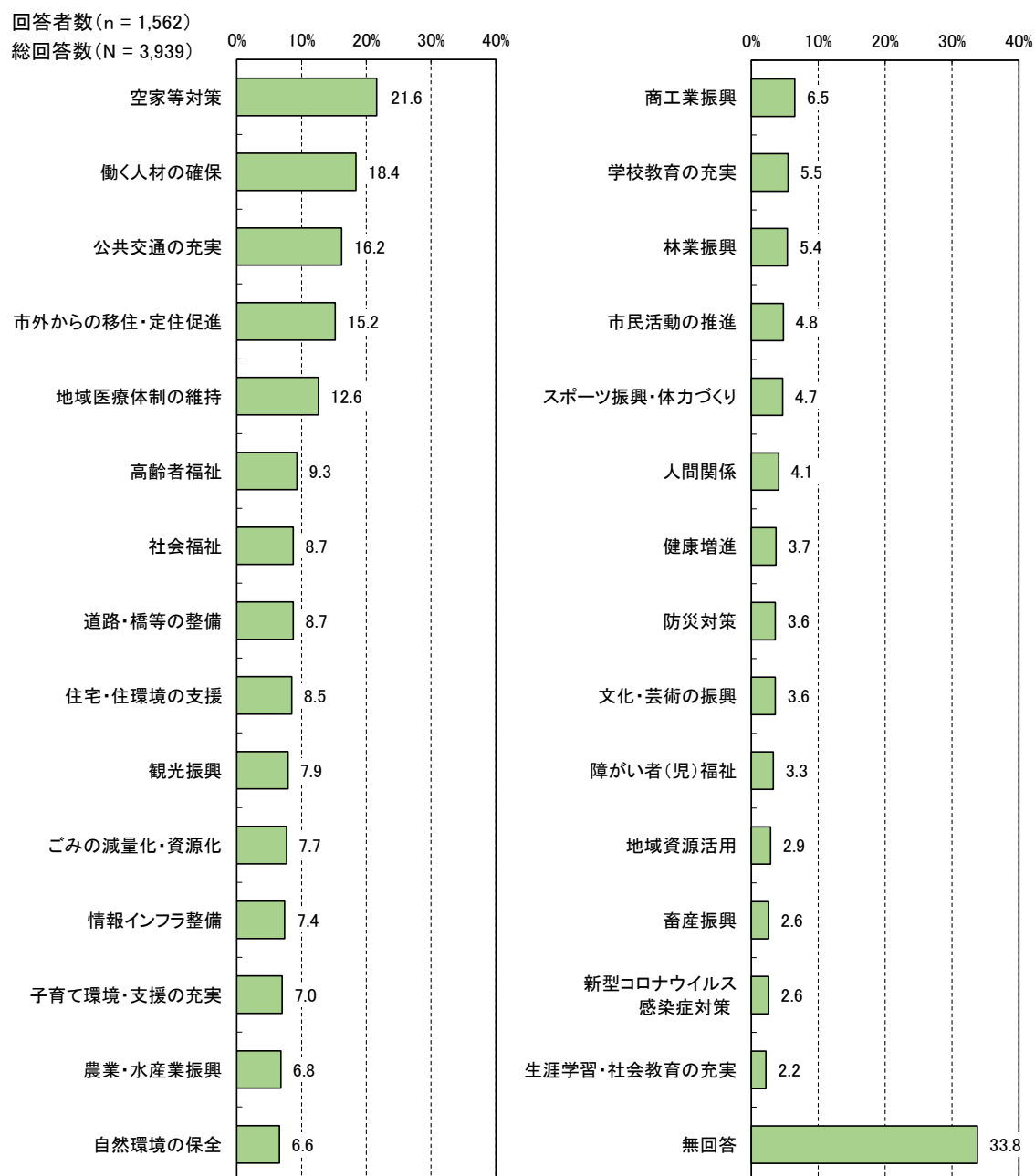
（１）市の取り組みでよくやっていると思う分野

図 10-1 市の取り組みでよくやっていると思う分野



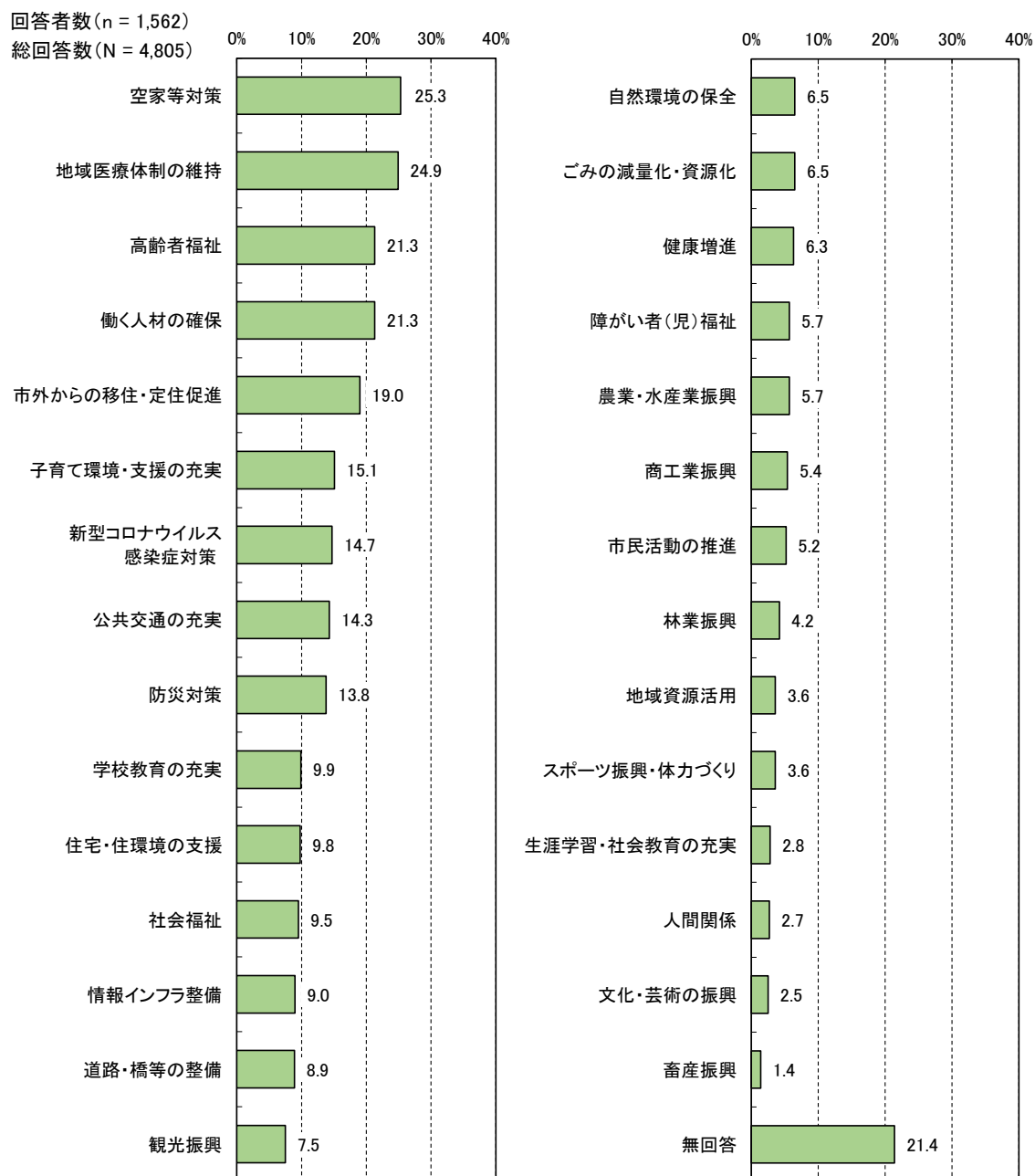
（２）市の取り組みで努力が足りないと思う分野

図 10-2 市の取り組みで努力が足りないと思う分野



（３）市の取り組みで重点的に進めるべきだと思う分野】

図 10-3 市の取り組みで重点的に進めるべきだと思う分野



令和2年度 飛驒市 市政世論調査
調 査 票

- 1 楽になった
- 2 変わらない
- 3 苦しくなった
- 4 わからない

1 給料等の収入が増えない、または減った
2 食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた
3 医療・介護費の支出が増えた
4 保育・教育費の支出が増えた
5 税金の支出が増えた
6 各種保険料などの支出が増えた
7 その他 ()
8 わからない

- 1 十分満足している
- 2 おおむね満足している
- 3 まだまだ不満だ
- 4 きわめて不満だ
- 5 わからない

1	健康・体力	2	収入・貯蓄
3	仕事	4	就職
5	結婚	6	子育て・子どもの教育
7	介護	8	家庭での人間関係
9	地域での人間関係	10	住宅
11	地域の住環境（上下水道、公園、道路、公共交通機関など）		
12	その他（ ）		
13	特にない		

問4 あなたが、今後の暮らしの中で重視していきたいと思うことは何ですか。

次の中から3つまで○をつけてください。

- | | | | |
|----|--|----|------------|
| 1 | 健康・体力づくり | 2 | 家計の安定・充実 |
| 3 | 知識や教養の向上 | 4 | 社会的地位の向上 |
| 5 | 仕事（家業・学業を含む） | 6 | 趣味・レジャー |
| 7 | ボランティアや地域活動 | 8 | 家族との団らん |
| 9 | 家族の介護 | 10 | 子育て・子どもの教育 |
| 11 | 衣・食生活の充実 | 12 | 住まいの改善・充実 |
| 13 | 老後の生活への準備 | | |
| 14 | その他（ ） | | |
| 15 | 特にない | | |

問5 あなたは、生活に必要な情報を何から得ていますか。

次の中からいくつでも○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| ※データ放送：リモコンで視聴可能なニュースなどの情報 |
|----------------------------|

 - 1 テレビ（データ放送※を除く）
 - 2 ケーブルテレビ
 - 3 テレビのデータ放送※
 - 4 ラジオ
 - 5 インターネット（ホームページなど）
 - 6 メールマガジン
 - 7 ライン（LINE）
 - 8 フェイスブック（FaceBook）
 - 9 ツイッター（Twitter）
 - 10 インスタグラム（Instagram）
 - 11 その他のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）
 - 12 新聞
 - 13 新聞折り込み
 - 14 雑誌
 - 15 フリーペーパー（戸別配布される無料の地域情報誌など）
 - 16 区長配布（自治会の配布文書）
 - 17 町内回覧（自治会の回覧板）
 - 18 行政の広報紙
 - 19 同報無線放送
 - 20 パンフレット、ポスター
 - 21 友人、知人からのクチコミ
 - 22 その他（ ）

※データ放送：リモコンの「d ボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

問6 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。

次の中から1つだけ○をつけてください。

- 1 住みやすい
- 2 どちらかといえば住みやすい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば住みにくい
- 5 住みにくい

問6-2 「1 住みやすい」「2 どちらかといえば住みやすい」に○をつけた方にお尋ねします。

あなたが、現在お住まいの地域が住みやすいと感じるのは、特にどのような点ですか。

次の中からいくつでも○をつけてください。

- 1 自然が豊かである
- 2 町並みなどの景観がよい
- 3 ウォーキングなど気軽に体を動かせる場が近くにある
- 4 食事、買い物が便利である
- 5 交通の便がよい
- 6 働く場が多い
- 7 教育、文化、スポーツの施設が充実している
- 8 医療、福祉サービスが充実している
- 9 住民相互の交流がある
- 10 治安がよい
- 11 災害が少ない
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

問6-3 「4 どちらかといえば住みにくい」「5 住みにくい」に○をつけた方にお尋ねします。

あなたが、現在お住まいの地域が住みにくいと感じるのは、特にどのような点ですか。

次の中からいくつでも○をつけてください。

- 1 自然が豊かでない
- 2 町並みなどの景観がよいくない
- 3 ウォーキングなど気軽に体を動かせる場が近くにない
- 4 食事、買い物が不便である
- 5 交通の便がよいくない
- 6 働く場が少ない
- 7 教育、文化、スポーツの施設が充実していない
- 8 医療、福祉サービスが充実していない
- 9 住民相互の交流がない
- 10 治安が悪い
- 11 災害が多い
- 12 その他（ ）
- 13 特になし

問7 あなたは、今後も飛騨市に住み続けたいと思いますか。

次の中から1つだけ○をつけてください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

次の中からいくつでも○をつけてください。

- ※データ放送：リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

次の中から1つだけ○をつけてください。

- あなたが、飛騨市（行政）の事業やその進め方に関心がないのは、どのような理由からですか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- 1 市の行政そのものに興味がないから
- 2 市がどのような仕事をしているのか知らないから
- 3 市の仕事は、自分に関係がないから
- 4 市の施設を利用したり、市の仕事に接する機会が少なかったりするから
- 5 自分たちの意見が反映されるとは思えないから
- 6 その他（ ）

問10 次の表にある1から29の分野に関する市の取り組みについて、(1)市がよくやっていると思う分野、(2)市の努力が足りないと思う分野、(3)今後、市が重点的に進めるべきだと思う分野に、それぞれ5つまで○をつけてください。

分 野	(1)よくや っていると思う分野 (5つまで○)	(2)努力が足り ないと思う分野 (5つまで○)	(3)重点的に進め るべきだと思う 分野 (5つまで○)
1 防災対策(災害, 防犯, 交通安全, 消防など)			
2 公共交通の充実			
3 空家等対策			
4 市民活動の推進(まちづくり活動など)			
5 市外からの移住・定住促進			
6 地域資源活用(薬草, えごま, 歴史資源など)			
7 子育て環境・支援の充実			
8 障がい者(児)福祉			
9 社会福祉(困窮者支援, 結婚支援など)			
10 高齢者福祉(介護, 生きがい, 独居支援など)			
11 地域医療体制の維持			
12 健康増進			
13 人権関係(LGBT, 男女共同参画など)			
14 自然環境の保全(不法投棄, 自然Ecoギア, 下水道など)			
15 ごみの減量化・資源化			
16 働く人材の確保			
17 農業・水産業振興			
18 畜産振興			
19 林業振興			
20 商工業振興			
21 観光振興			
22 道路・橋等の整備			
23 情報インフラ整備(ネット環境, ケーブルTV など)			
24 住宅・住環境の支援			
25 学校教育の充実			
26 生涯学習・社会教育の充実			
27 スポーツ振興・体力づくり			
28 文化・芸術の振興			
29 新型コロナウイルス感染症対策			

問11 飛騨市の市政について、ご意見やご要望がありましたらご自由にご記入ください。

ありがとうございました。最後に、回答を統計的に分析するため、あなたご自身の
ことについて次ページ以降にご記入をお願いします。

(注) 以下でお答えいただいた内容はすべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されるこ
とはありません。

■■■ フェイスシート ■■■

F 1 あなたの性別の番号に○をつけてください。

- 1 男性 2 女性

F 2 あなたの年齢を記入してください。(回答日現在)

満	歳
---	---

F 3 あなたがお住まいの町名を記入してください。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 古川町 2 河合町 3 宮川町 4 神岡町

F 4 あなたのお住まいの地域は、次のどれにあたりますか。

あなたの感覚として、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 農村地域(周りに田畑がある市街地郊外など)
2 山間地域
3 商業地域
4 住宅地域
5 その他 ()

F 5 あなたは、飛騨市に通算して何年住んでいますか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上

F 6 あなたは、市外に住んだことがありますか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 ない 2 ある(通算5年未満) 3 ある(通算5年以上)

F 7 今、実際に一緒に暮らしているご家族は、どのような形態ですか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 1人暮らし
2 1世代(夫婦のみ)
3 2世代(親と子)
4 3世代(親と子と孫)
5 4世代(祖父母と親と子と孫)
6 その他 ()

F 8 あなたのご家族には、次のような方がいらっしゃいますか。

あなたも含めていくつでも○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------|---|-------------------|
| 1 | 0歳～2歳 | 6 | 専門学校生、短大生、大学生（院生） |
| 2 | 3歳～5歳 | 7 | 65歳以上75歳未満の方 |
| 3 | 小学生 | 8 | 75歳以上の方 |
| 4 | 中学生 | 9 | 上記の者はいない |
| 5 | 高校生 | | |

F 9 あなたの職業について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 自営業
- 2 自由業※
- 3 会社・団体役員
- 4 正規の従業員・職員
- 5 パートタイム・アルバイト・派遣
- 6 学生
- 7 家事従事
- 8 無職
- 9 その他（

※自由業：一定の雇用関係によらず、勤務時間その他の制約を受けない職業。作家、弁護士、医師、会計士、税理士、芸術家など。

→ (F9 で、1、2、3、4、5とお答えの方にお尋ねします。)

F10 その業種について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 農業 | 10 卸売業、小売業 |
| 2 林業 | 11 金融業、保険業 |
| 3 漁業 | 12 不動産業、物品賃貸業 |
| 4 鉱業、採石業、砂利採取業 | 13 宿泊業、飲食サービス業 |
| 5 建設業 | 14 教育、学習支援業 |
| 6 製造業 | 15 医療、福祉 |
| 7 電気・ガス・熱供給・水道業 | 16 サービス業（他に分類されないもの） |
| 8 情報通信業 | 17 公務（他に分類されないものを除く） |
| 9 運輸業、郵便業 | 18 その他（ ） |

→ (F9 で、1、2、3、4、5、6とお答えの方にお尋ねします。)

F11 あなたのお勤め先、通学先について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 1 市内
2 高山市
3 富山市
4 その他の市町村（ ）

以上で調査は終了です。同封の返信用封筒に入れ、調査票をご返送ください。ご協力いただきまして、ありがとうございました。